

# はじめにお読みください

## 本機に付属のマニュアルについて

本機には、『取扱説明書』(本書)と、『ソフトウェア活用ブック』の2冊のマニュアルが付属されています。

各マニュアルの記載内容は以下のとおりです。

### ● 取扱説明書 (本書)



本機を使用するための準備から、ノートパソコンの使いかたまで、詳しく記載されています。また、本機をお使いいただく上での安全上のご注意や、トラブルシューティングなどの情報も記載されています。

本機に付属されているソフトウェアの使いかたについては、『ソフトウェア活用ブック』を参照する場合があります。

### ● ソフトウェア活用ブック



ASUS製のノートパソコンに搭載されているソフトウェアの使いかたについて詳しく記載されています。インストールされているソフトウェアは機種により異なりますのでご注意ください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準 備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## 本書の表記について

### □ 注意事項等について

本書内の注意事項等は、内容の重要度により、以下のように区別して記載されています。

### 警告

**本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するための情報です。**

### **重要 !**

本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するために必ず行わなければならない事項です。

### **ご注意**

作業を完了するために必要な情報です。

### **ヒント**

作業の参考になる情報です。

### □ イラストについて

本書内で使われているイラストは実際のものとは異なる場合があります。

### □ 画面について

本書内で使われている画面デザインは、Windows Vista の種類や、お客様の表示設定の変更により、実際のものとは異なる場合があります。

## ASUSのWebサイトについて

ASUSのWebサイトに接続すれば、さまざまな役立つ情報を閲覧することができます。

### □ 困ったときは

#### ● サポートサービス

<http://support.asus.com/>



困ったときはまずこのページをご覧ください。トラブルや疑問をスムーズに解決します。ドライバやユーティリティのダウンロードもこのページから行えます。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

□ 旅行中や出張中なら

● グローバルサービス

<http://support.asus.com/service/service.aspx>



旅行中や出張中にトラブルが起きても、世界各国の拠点でサポートを受けられるのでとても安心です。各拠点の情報について詳しくは、Web サイトをご覧ください。

□ 世界中のユーザーと情報交換したい！

● ユーザー登録

<http://member.asus.com/>



世界中の ASUS ユーザーと情報の共有、交換ができます。また、登録ユーザーはサポートなどの受付がスムーズに進みます。お買い上げ後、本機を使う準備のときにユーザー登録されることをおすすめします。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【準】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

□ ASUS 製品のことなら

● 製品情報

<http://www.asus.co.jp/>



ASUS のポータルサイトです。最新のニュースや各種情報の閲覧、また、ASUS 製品の詳細を確認できます。

# 目次

<b>はじめにお読みください</b> .....	<b>1</b>
本機に付属のマニュアルについて.....	1
本書の表記について.....	2
ASUS の Web サイトについて.....	3
<b>安全規制</b> .....	<b>15</b>
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>18</b>
<b>本体各部の名称</b> .....	<b>28</b>
上面.....	28
底面.....	32
前面.....	34
後面.....	36
右側面.....	37
左側面.....	39

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## 【準備1】パソコンの準備 ..... 40

### 箱を開けて本体と付属品を取り出す ..... 40

- 本体から保護材を取り外す ..... 41
- 付属品を取り出す ..... 41

### 本体と付属品を確認する ..... 42

### 本体の設置場所を決める ..... 42

- 設置に適さない場所について ..... 43

### バッテリーパックを取り付ける ..... 44

### インターネット接続用の機器をつなぐ ..... 47

- ADSL / FTTH / CATV を利用する ..... 47
- 一般の電話回線に接続する ..... 49

### AC 電源アダプタを接続する ..... 50

### 電源を入れる ..... 52

## 【準備2】Windows の準備 ..... 54

### Windows を設定する ..... 54

- インストールされている Windows について ..... 61

### Windows を終了する ..... 61

- シャットダウン ..... 61
- 休止状態 ..... 63
- スリープ ..... 64

<b>【準備3】 ユーザー登録</b> .....	<b>65</b>
ASUS ユーザー登録について .....	65
ユーザー登録をする .....	66
<b>パソコンを使う</b> .....	<b>69</b>
キーボードを使う .....	69
<input type="checkbox"/> キーボードの各部の名称.....	69
<input type="checkbox"/> ホットキーを使う .....	71
<input type="checkbox"/> 日本語で文字入力を行う .....	73
タッチパッドを使う .....	74
<input type="checkbox"/> タッチパッドの各部の名称を無効にする .....	74
<input type="checkbox"/> タッチパッドの使いかた.....	75
<input type="checkbox"/> タッチパッドを無効にする.....	78
音を出す.....	80
<input type="checkbox"/> 音声入力／出力について .....	80
<input type="checkbox"/> 音量を調整する .....	81
CD と DVD を使う .....	83
<input type="checkbox"/> ディスクを入れる／取り出す .....	83
<input type="checkbox"/> 使用できるディスクについて.....	86
<input type="checkbox"/> ディスクの使用に関する注意について .....	87
メモ리카ードを使う .....	88
<input type="checkbox"/> メモ리카ードを入れる／取り出す .....	88
<input type="checkbox"/> 使用できるメモ리카ードについて.....	90
ExpressCard を使う .....	91
<input type="checkbox"/> ExpressCard を入れる／取り出す .....	91

<input type="checkbox"/> ExpressCard の使用に関する注意について .....	93
USB 機器を接続する .....	94
IEEE 1394 機器を接続する .....	95
Bluetooth 機能を使う .....	96
<input type="checkbox"/> Bluetooth 機能とは .....	96
<input type="checkbox"/> Bluetooth 機能で通信する .....	96
外部ディスプレイを接続する .....	97
<input type="checkbox"/> 本機の表示内容を外部ディスプレイに表示する .....	98
<input type="checkbox"/> マルチモニタにして使う .....	99
Web カメラを使う .....	102

## **セキュリティを設定する ..... 103**

セキュリティの重要性 .....	103
<input type="checkbox"/> コンピュータウイルスからパソコンを守る .....	103
<input type="checkbox"/> 不正アクセスからパソコンを守る .....	106
<input type="checkbox"/> 個人情報を守る .....	106
<input type="checkbox"/> 詐欺を見極める .....	107
<input type="checkbox"/> パソコンの無断使用を防ぐ .....	108
アンチウイルスソフトを導入する .....	109
<input type="checkbox"/> 「Norton Internet Security」について .....	109
<input type="checkbox"/> 「Norton Internet Security」の初期設定 .....	109
Windows パスワードを設定する .....	110
<input type="checkbox"/> Windows パスワードについて .....	110
<input type="checkbox"/> Windows パスワードの設定方法 .....	110

パワーオン・パスワードを設定する.....	117
□ パワーオン・パスワードについて.....	117
□ パワーオン・パスワードの設定方法.....	118
ハードディスク・パスワードを設定する .....	125
□ ハードディスク・パスワードについて .....	125
□ ハードディスク・パスワードの設定方法 .....	127
指紋認証を使用する .....	131
□ 指紋認証の操作方法 .....	131
TPM を使用する .....	133
□ TPM 使用時の注意について .....	133
□ TPM を有効にする .....	133
□ TPM を初期化／設定をする.....	134
SmartLogon を使用する.....	135
CopyProtect を使用する.....	135
<b>インターネットに接続する .....</b>	<b>136</b>
インターネットについて .....	136
インターネットを利用するには.....	137
□ プロバイダとの契約.....	137
□ インターネットの接続方法.....	138
□ インターネットに接続できないときは .....	141
インターネット接続における危険性.....	142

## 保守・メンテナンス ..... 143

### メモリを増設する ..... 143

- メモリ増設時の注意について ..... 143
- メモリモジュールを取り外す／取り付ける ..... 144
- メモリ容量を確認する ..... 148

### データをバックアップする ..... 150

- バックアップとは ..... 150
- バックアップする ..... 150
- バックアップしたデータを復元する ..... 154

### システムの復元をする ..... 157

- システムの復元とは ..... 157
- 復元ポイントを作成する ..... 157
- 復元ポイントの状態に戻す（Windows が起動する場合） ..... 160
- 復元ポイントの状態に戻す（Windows が起動しない場合） ..... 163

### Windows をお買い上げ時の状態に戻す（リカバリ） ..... 166

- リカバリとは ..... 166
- リカバリに関する注意について ..... 166
- リカバリ領域からリカバリする ..... 167
- 「Recovery DVD」からリカバリする ..... 168

### BIOS を設定する ..... 170

- 起動デバイスを設定する ..... 170
- セキュリティを設定する ..... 171

### お手入れについて ..... 172

- 本機のお手入れについて ..... 172
- 液晶ディスプレイのお手入れについて ..... 172
- バッテリーパックの取り外しについて ..... 173

□ ディスクのお手入れについて .....	174
廃棄時の注意について .....	175
<b>困ったときには.....</b>	<b>176</b>
トラブルシューティング .....	177
□ 電源に関する不具合 .....	177
□ パスワードに関する不具合 .....	179
□ ディスプレイに関する不具合 .....	180
□ 文字入力に関する不具合 .....	182
□ タッチパッドに関する不具合 .....	182
□ ハードディスクに関する不具合 .....	183
□ 光学ドライブに関する不具合 .....	184
お問い合わせ先 .....	185
□ ASUS サポート .....	185
□ ASUS テクニカルメールサポート .....	186
□ コールセンター .....	186
<b>使用上のご注意.....</b>	<b>190</b>
本機の取り扱いについてのご注意 .....	190
ACアダプタの取り扱いについてのご注意 .....	191
バッテリーの取り扱いについてのご注意 .....	191
液晶ディスプレイについてのご注意 .....	193
ハードディスクの取り扱いについてのご注意 .....	193

ハードディスクのバックアップについてのご注意 .....	194
無線機能の取り扱いについてのご注意.....	194
ディスクの取り扱いについてのご注意.....	196
CD 再生／録音についてのご注意.....	197
DualDisc の取り扱いについてのご注意.....	197
ドライブの地域番号書き換えについてのご注意 .....	197
各種メモリカードの取り扱いについてのご注意 .....	198
ExpressCard の取り扱いについてのご注意 .....	199
ソフトウェアと周辺機器の動作についてのご注意 .....	199
ソフトウェアの不正コピー禁止についてのご注意 .....	200
結露についてのご注意 .....	200
有寿命部品についてのご注意.....	200
<b>用語集.....</b>	<b>201</b>
<b>索引 .....</b>	<b>222</b>
<b>保証について.....</b>	<b>226</b>

# 安全規制

## □ 電波法に基づく認証について (無線 LAN 機能 / Bluetooth 機能搭載モデル)

本機内蔵の無線 LAN カード / Bluetooth カードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられる場合があります。

- 本機内蔵の無線 LAN カード / Bluetooth カードを分解 / 改造すること
- 本機内蔵の無線 LAN カード / Bluetooth カードに貼られている証明ラベルをはがすこと

## □ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱い

をしてください。

## □ 本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用するときは、他の国や地域のモードをお使いになると電気通信事業法 (技術基準) に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままお使いください。

## □ 無線の周波数について

本製品は 2.4GHz 帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っている場合があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下事項に注意してお使いください。

### ● 本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等 (以下「他の無線局」と略す) が運用されています。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【準】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

- 1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、コールセンターまでお問い合わせください。

#### □ 無線 LAN 機能について（無線 LAN 機能搭載モデル）

本機内蔵の無線 LAN 機能は WFA (Wi-Fi Alliance) で規定された「Wi-Fi (ワイファイ) 仕様」に適合していることが確認されています。

#### □ 無線 LAN 製品使用時のセキュリティについて（無線 LAN 機能搭載モデル）

無線 LAN ではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいは無線 LAN の仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

#### □ 電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

- 資源有効利用促進法では、JIS C 950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関する JIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されます。
- この規格に関する詳細情報は ASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

#### □ 著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほか

は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。
- この説明書の説明図や画面について  
この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。
- その他
- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
  - 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
  - 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
  - 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによっ

て生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。

- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれている場合があります。あらかじめご了承ください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

# 安全上のご注意

ASUS 製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は誤った使用方法により人身事故につながる場合があります。事故を未然に防ぐために、以下に記されている製品全般の注意事項をよくお読みになり、ご理解いただいた上で本機をお使いください。

## ● 異常が起きたときは

煙が出た、異常な音やにおいがした、内部に水や異物が入ったなどの異常が起きた場合は、まず電源を切り、電源ケーブルや接続ケーブルを抜いて、バッテリーを取り外してください。その後すぐにコールセンターまでお問い合わせいただくか、または、販売店に点検、修理をご依頼ください。

## ● 故障したら使わない

すぐにコールセンターまでお問い合わせいただくか、または、販売店に修理をご依頼ください。

## ● データはバックアップをとる

ハードディスクに記録されたデータは、バックアップをとって保存してください。本機の不具合などが原因でデータが消滅、破損した場合においても、記録内容の補修や補償は致しかねます。あらかじめご了承ください。

## □ 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、以下のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる場合があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりする場合があります。

### ● 注意を促す記号



注意



火災



感電

### ● 行為を禁止する記号



禁止



水ぬれ禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

### ● 行為を指示する記号



指示



電源プラグを抜く



火災



感電

以下の注意事項を守らないと火災や感電などにより死亡や大けがの原因となります。

- 指定の AC アダプタ以外は使用しない



禁止

火災や感電の原因となります。

- むやみに分解しない



分解禁止

- ・ 本体および付属品を、むやみに分解したり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- ・ メモリモジュールを交換するときは、「メモリを増設する」（143ページ）の手順に従って注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。むやみに触れると、火災や感電の原因となります。

- 内部に水や異物を入れない



水ぬれ禁止

本機の内部に水や異物が入ると火災や感電の原因となります。水や異物が入った場合は、すぐに電源を切ってください。また、電源ケーブルや接続ケーブルは抜いてください。

- 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない



禁止

本機を本書に記されている使用条件以外の環境に置くと、火災や感電の原因となります。

- ひざの上に置いたまま長時間使用しない



禁止

ひざの上に置いたまま長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

- 落雷が予想されるときは本機を使用しない



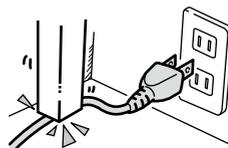
禁止

- 落雷により感電する場合があります。火災や感電、本機の故障を防ぐために、接続しているケーブルをすべて抜いてください。
- 雷が鳴っているときは、本機に触れないでください。

- 電源ケーブルを傷つけない



禁止



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持つ。
- 電源ケーブルを机や壁などの間にはさみ込まない。
- 電源ケーブルを加工しない。
- 電源ケーブルの上に重いものをのせない。
- 電源ケーブルを加熱しない。

- 内蔵モデムは一般電話回線以外に接続しない



禁止

本機の内蔵モデムを以下のような回線に接続すると、モデムに必要な以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。絶対に接続しないでください。

- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンの回線
- ビジネスホンの回線

- LAN コネクタに指定以外のケーブルや回線を接続しない



禁止

本機の LAN ポートに以下のようなケーブルや回線を接続すると、コネクタに必要な以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般の電話回線

- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンの回線
- ビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など



警告

以下の注意事項を守らないと、医療機器などを誤作動させるおそれがあり事故の原因となります。

- 本機を 5GHz 無線機能で使用する場合は、屋外では使用しない



禁止

5GHz (IEEE 802.11a) 無線機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

- 混雑した場所では無線機能を使用しない



禁止

満員電車の中など、近くに心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波がペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

はじめに  
お読みください

安全規則  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定する

インターネットに  
接続する

保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

- **心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内で使用しない**



禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

- **他の機器に電波障害などが発生した場合は、無線機能を使用しない**



禁止

電波が影響を及ぼして機器を誤作動させ、事故の原因となるおそれがあります。

- **医療用電気機器の近くでは無線機能を使用しない**



禁止

病院などの医療機関内では、電波が影響を及ぼして医療用電気機器などを誤作動させ、事故の原因となるおそれがあります。

- **航空機の離着陸時には、機内で本機を使用しない**



禁止

航空機内では、電波が影響を及ぼして機器を誤作動させ、事故の原

因となるおそれがあります。

航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社の使用条件などをご確認ください。



以下の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

- **キーボードやタッチパネルなどを長時間継続して使わない**



禁止

キーボードやタッチパネルを使用中に体調に異変（腕や手首の痛みなど）を感じたときは、すぐに本機の使用をやめ、十分に休息してください。十分に休息しても体調が戻らないときは医師の診察を受けてください。

- **本機の画面を長時間継続して見ない**



禁止

画面を長時間見続けて体調に異変（疲れ目や視力の低下など）を感じたときは、すぐに本機の使用をやめ、十分に休息してください。十分に休息しても体調が戻らないときは医師の診察を受けてください。

- **大音量で長時間継続して聞かない**



禁止

大音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える場合があります。特にヘッドホンで聞くとときはご注意ください。

呼びかけに対応できる程度の音量で聞くことをおすすめします。



以下の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりする場合があります。

- **安定した場所に置く**



禁止

ガタガタするテーブルの上や傾いた台の上などに置かないでください。また、通常は横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちるなどしてけがの原因となる場合があります。

- **直射日光のあたる場所や熱器具の近くに置かない**



禁止

上記のような場所で使用したり、保管したりすると、内部温度が上昇し、火災の原因になる場合があります。

- **本機に強い衝撃を与えない**



禁止

故障の原因となる場合があります。

- **本機の上に重いものを載せない**



禁止

本機の上ののったり、重いものを載せて負荷をかけると、落下したり、壊れたりして、けがの原因となる場合があります。

- **液晶ディスプレイを強く押さない**



禁止

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となる場合があります。

- 指定されたケーブルを使う



注意

本書に記されている電源ケーブルや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となる場合があります。

- コネクタはきちんと接続する



注意

- コネクタはまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となる場合があります。
- コネクタの内部に金属片などを入れないでください。ピンとピンがショートして、火災の原因となる場合があります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良を防ぐことができます。

- 本機にケーブルなどを接続するときは電源を切る



注意

本機に各種ケーブルを接続するときは、本機や周辺機器の電源をすべて切り、電源ケーブルを壁のコンセントから抜いてください。感電の原因となる場合があります。

- 移動時は、ケーブルを抜く



注意

電源ケーブルや接続ケーブルを接続したまま本機を移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、本機や接続機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となる場合があります。

- お手入れのときは、電源を切って電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

電源ケーブルを壁のコンセントに接続したままお手入れをすると、感電の原因となる場合があります。

- 長時間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ぬれた手で電源プラグをさわらない



ぬれ手禁止

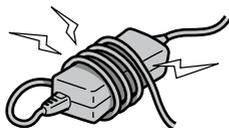


ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となる場合があります。

- ケーブルを AC アダプタに巻き付けない



禁止



電源ケーブルや接続ケーブルを AC アダプタに巻き付けると、断線の原因となる場合があります。

- 通気孔をふさがない



禁止



通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）や布団の上に放置したり、布などでくるまないでください。

- 通電中の本機や AC アダプタに長時間ふれない



禁止

通電中の本機や AC アダプタに長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となる場合があります。

- 通電中の本機や AC アダプタを布などでおおわない



禁止

通電中の本機や AC アダプタを布や布団などでおおった状態にすると、ケースが変形したり、火災の原因となる場合があります。

はじめに  
お読みください

安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定する

インターネットに  
接続する

保守・  
メンテナンス

困ったときには  
その他の情報

- 通気孔からの排気に長時間あたらさない



禁止

動作状況によって通気孔から温風が排出される場合があります。この温風に長時間あたり続けると、低温やけどの原因となる場合があります。

## 電池についてのご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。



- 指定された充電方法で充電する。
- 火のそばや炎天下などで充電しない。放置しない。
- 本機に付属、または指定された別売りのバッテリーを使用する。
- 火の中に入れてない。ショートさせない。分解しない。
- 電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 金属類と一緒に保管しない。ショートする場合があります。

- バッテリーに衝撃を与えない。重いものを載せたり、圧力をかけない。故障の原因となります。
- 以下のようなバッテリーを使用した場合の安全性は保証できません。
  - 本機に付属、または指定された別売りのバッテリー以外のバッテリーを使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリーを使用した。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の診断を受けてください。



バッテリーを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 一般ごみに混ぜて捨てない。
- 地方自治体の条例などに従って捨てる。
- リサイクル協力店へ廃棄を依頼する。

## 本機の発熱についてのご注意

- **表面や AC アダプタ、バッテリーが熱くなる**ときは  
通常の動作によって発熱しますが、故障ではありません。なお、使用している周辺機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。
- **本機や AC アダプタが異常に熱くなる**ときは  
すぐに本機の電源を切ってください。AC アダプタと電源ケーブルを抜いてバッテリーを取り外し、コールセンターに修理をご依頼ください。

## 運搬についてのご注意

本機を持ち運ぶときは電源を切って、ディスプレイパネルを閉じてください。また、電源を切った後、すべての外部周辺機器を取り外してください。

### ご注意

本機表面の「ツヤ」は、正しく扱わないと失われていきます。本機表面をこすったりひっかいたりしないようにご注意ください。

- **付属のバッグについて**  
本機を汚れ、水、衝撃、傷などから保護するために、付属のバッグをお使いください。必ず電源を切ってから付属のバッグに入れてください。
- **航空機内での使用について**  
航空機内での使用については、各航空会社にご確認ください。多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。一般的に離着陸時の電子機器の使用は禁止されています。

### 重要！

空港のセキュリティ装置には以下のとおり3つのタイプがあります。

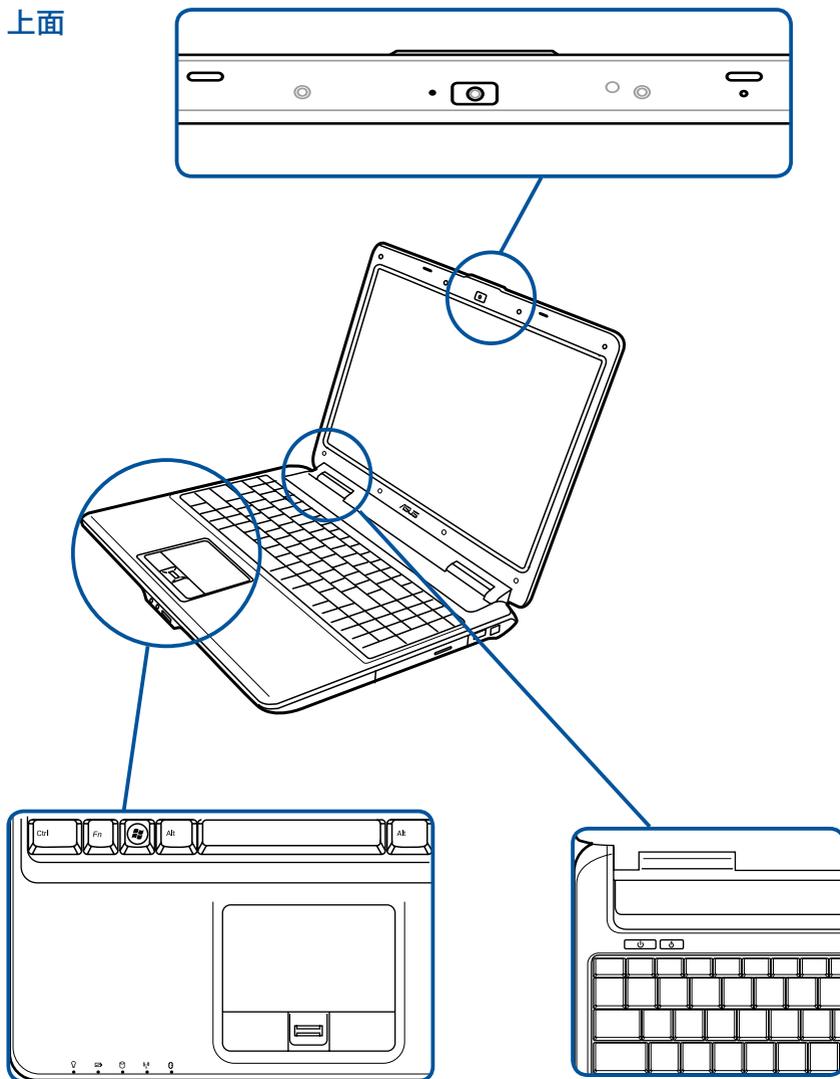
- X線装置（荷物用）
- 磁気センサ（セキュリティゲートを通過する人間用）
- 磁気ワンド（人間や小物用の短い棒）

本機やハードディスクをX線装置に通すことは問題ありませんが、磁気センサや磁気ワンドにはかからないようにご注意ください。

はじめに お読みください	安全規則 安全上のご注意	本体各部の名称	【準】	パソコンを使う	セキュリティを 設定する	インターネットに 接続する	保守・ メンテナンス	困ったときには	その他の情報
-----------------	-----------------	---------	-----	---------	-----------------	------------------	---------------	---------	--------

# 本体各部の名称

上面



① Web カメラ (102 ページ)

メッセージングソフトなどを利用したテレビ電話やビデオ会議などで手軽に使用することができます。画像の撮影、動画の録画をすることも可能です。カメラは 240 度回転させることができます。また、Web カメラ起動中は青色のランプが点灯します。

② 液晶ディスプレイ

アクティブマトリックス TFT 液晶を採用しており、CRT モニタと変わらないきれいな画像を表示することができます。また、画面のちらつきがないため、目への負担が小さくなります。

③ 内蔵型マイク

内蔵型モノラルマイクロホンは、ビデオ会議や簡単な録音などに使用することができます。

④ 電源ボタン

電源をオン / オフするときや、スリープモード / 休止モードを切り換えるときに押します。電源が入っているときに 4 秒以上押したままにすると、強制的にシャットダウンします。

⑤ ステータスインジケータ

つつつつつつつつ V

⑥ タッチパッド (とボタン) (74 ページ)

⑦ キーボード (69 ページ)

⑧ Num Lock インジケータ

Num Lock がアクティブになっているときに点灯します。Num Lock によって、文字キーの上部に数字が書いてあるキーをテンキーとして使用できるようになります。

⑨ Caps Lock インジケータ

Caps Lock がアクティブになっているときに点灯します。Caps Lock によって、大文字 (例 : A B C) を入力できるようになります。Caps Lock ランプが消灯しているときは、入力した文字は小文字 (例 : a b c)

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準 備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

になります。

#### ⑩ Scr Lock インジケータ

Scr Lock がアクティブになっているときに点灯します。ソフトウェアによって実行される機能が異なります。使用するソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。

#### ⑪ ドライブアクティビティインジケータ

ひとつまたは複数の記憶装置（ハードディスクなど）にアクセスしていることを示します。アクセス時間に比例してランプが点滅します。

#### ⑫ 電源ボタン

電源をオン / オフするときや、スリープモード / 休止モードを切り換えるときに押します。電源が入っているときに 4 秒以上押したままにすると、強制的にシャットダウンします。

#### ⑬ インターネットボタン

ブラウザ（インターネットエクスプローラ）を起動します。

#### ⑭ Splendid Video Intelligent Technology ボタン

「Splendid Video Intelligent Technology」を起動し、液晶ディスプレイの色彩モードを切り換えます。コントラスト、明るさ、色調、彩度を調節することができます。

#### ⑮ タッチパッド切り換えボタン

押すたびにタッチパッドのオン / オフを切り換えます。

#### ⑯ Power4Gear eXtreme ボタン

「Power4Gear eXtreme」を起動し、各低電力モードを切り換えます。選択したモードは、ボタンを押したときに画面に表示されます。詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

#### ⑰ Express Gate ボタン（Media Center ボタンとして兼用）

ノートパソコンが OFF のときにこのボタンを押すと、Express Gate が起動します。詳細はソフトウェアマニュアルの Express Gate の項目をご参照ください。

なお、Windows 環境でこのボタンを押すと、Windows Media Center が起動します。

18 タッチパッドボタン（右側）（74 ページ）

19 電源インジケータ

点灯時：電源オン

消灯時：電源オフ、または休止モード

点滅時：スリープモード

20 Bluetooth インジケータ

内蔵の Bluetooth 機能がアクティブになっているときに点灯します (Windows ソフトウェア設定が必要です)。

無線 LAN インジケータ

内蔵の WLAN 機能がアクティブになっているときに点灯します (Windows ソフトウェア設定が必要です)。

21 バッテリー充電インジケータ

点灯時：バッテリー充電中

消灯時：バッテリーが充電された状態、またはバッテリー残量がゼロの状態

点滅時：バッテリー残量が 10%以下で、電源アダプタが接続されていない状態

22 タッチパッドボタン（左側）（74 ページ）

指紋スキャナー（131 ページ）

タッチパッド（74 ページ）

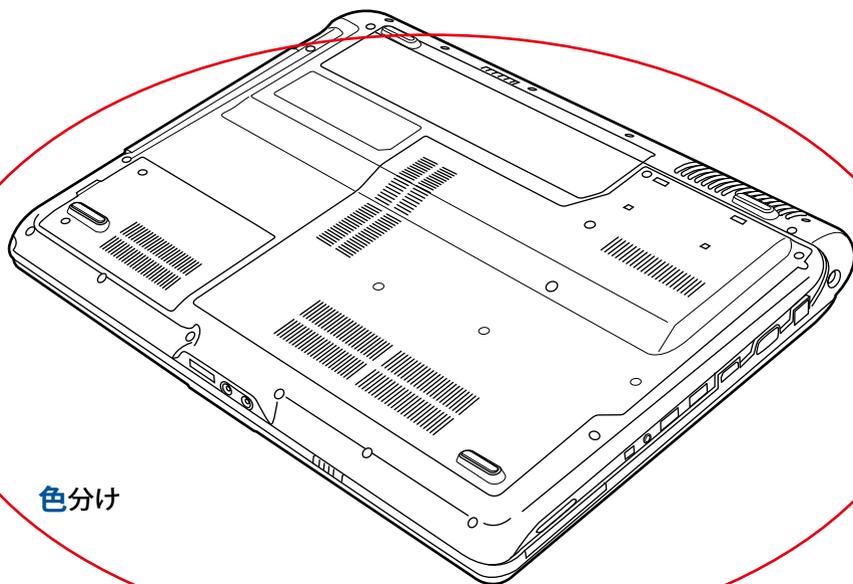
底面



警告

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

充電中や操作中は、本機の底面が高温になります。通気孔をふさぐおそれがありますのでソファやベッドのようなやわらかい場所に置いて使用しないでください。また、火傷の原因となりますので本機をひざ、または身体の他の部分にのせて使用しないでください。



## 色分け

### ① バッテリロック（バネ式）

バッテリーパックを取り付けると自動的にロックします。バッテリーパックを取り外すときは解除側（）にスライドさせたままの状態にします。

### ② バッテリパック（44,173 ページ）

AC アダプタを接続すると自動的に充電します。AC アダプタが取り外されているときは電力を供給します。バッテリーパックを装着していれば、さまざまな場所で本機を利用することができます。バッテリー駆動時間は本機の使用状況や仕様により異なります。バッテリーパックは分解しないでください。

### ③ バッテリロック (手動式)

バッテリーパックを取り外すとき、または取り付けるときに解除側

() にスライドさせてロックを解除します。バッテリーパックを取り付けた後は必ずバッテリーロックを元の位置に戻してバッテリーパックをロックします。

### ④ ハードディスクドライブ固定場所

ハードディスクドライブが固定されています。保証対象外となりますので部品交換などは行わないようにしてください。

## 重要 !

ハードディスクドライブをユーザーが取り外した場合、保証は無効です。

### ⑤ シャットダウンボタン (緊急時)

正しく電源を切れないときや、再起動できないときなどに、クリップの先端などでシャットダウンボタンを押すと、強制的にシャットダウンされます。

### ⑥ メモリモジュール (RAM) / CPU 固定場所

メモリ (RAM) が固定されています。メモリの増設を行うときにカバーを取り外します。メモリの増設方法について詳しくは、「メモリを増設する」(143 ページ) をご覧ください。

#### 無線 LAN 固定場所

無線ネットワークカードを取り付けて、ネットワークアクセスポイントや他の無線ネットワークデバイスに接続します。

## 重要 !

CPU をユーザーが取り外した場合、保証は無効です。

### ⑦ クーリングファン / 通気孔

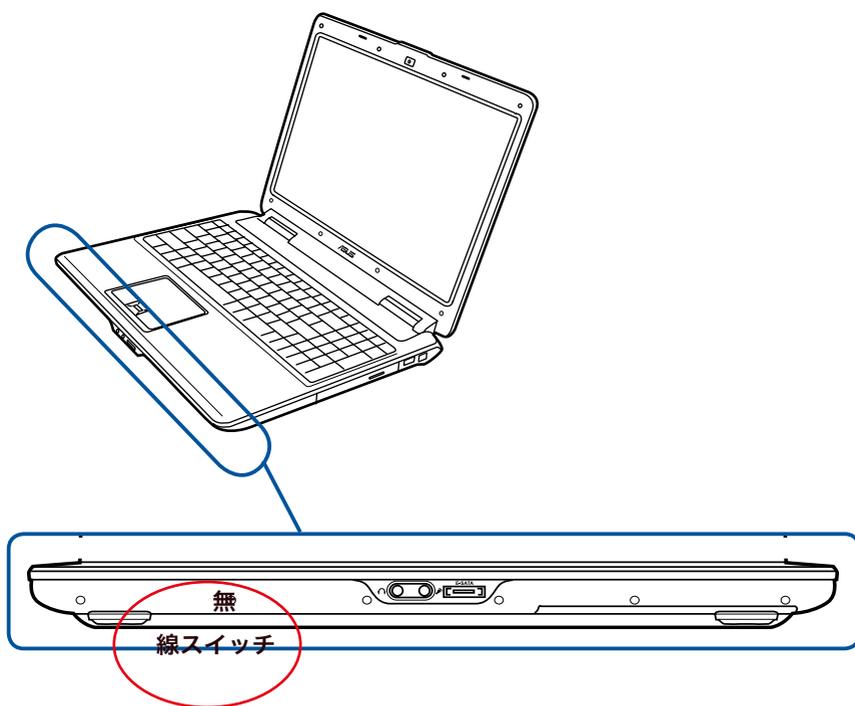
設定温度を超えるとファンが作動し、通気孔から熱を逃がします。

## 重要 !

紙、本、衣類、ケーブル、またはその他のもので通気孔をふさがないでください。オーバーヒートの原因となります。

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
[準 備]
パソコンを使う
バッテリーを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## 前面



### ① 無線スイッチ

内蔵無線 LAN と Bluetooth のオン / オフを切り換えます。オンにする  
と対応するインジケータが点灯します。

### ② OPEN ボタン

液晶ディスプレイを開くときに押します。

### ③ マイク入力ジャック

モノラルマイクジャック (1/8 インチ) です。外付けマイクの接続、ま

たはオーディオデバイスからの出力を入力する場合に使います。このジャックを使用すると内蔵型マイクは自動的に無効になります。ビデオ会議や簡単な録音などに使用することができます。

**④ S/PDIF 出力ジャック、ヘッドホン出力ジャック**

デジタルオーディオ出力ジャックです。S/PDIF (Sony/Philips Digital Interface) デバイスを接続できます。hi-fi ホームエンターテイメントシステムとしてご利用できます。

ステレオヘッドホンジャック (1/8 インチ) です。外付けスピーカーまたはヘッドホンを接続する場合に使います。このジャックを使用すると内蔵型スピーカーは自動的に無効になります。

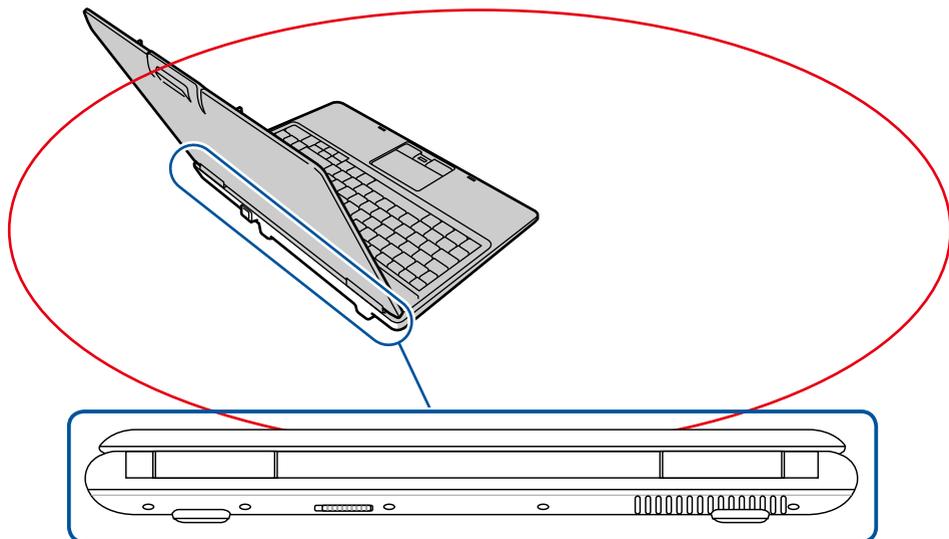
**⑤ USB (2.0) ポート×1 (94 ページ)**

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準 備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## ⑥ メモリカードリーダー (88 ページ)

数種類のフラッシュメモリカードの読み書きができる高速の内蔵メモリカードリーダーです。

### 後面



### ① 電源ジャック

付属の AC アダプタを接続します。

### ② クーリングファン／通気孔

設定温度を超えるとファンが作動し、通気孔から熱を逃がします。

### 重要！

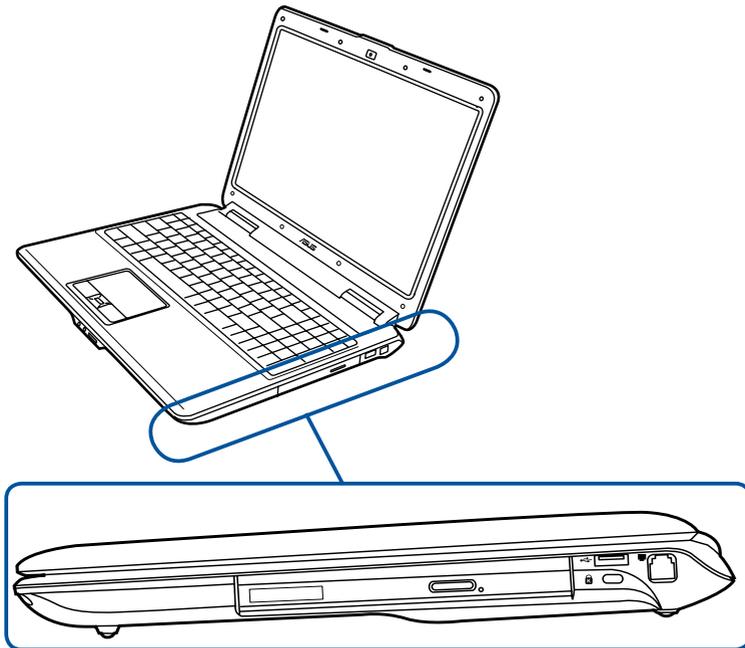
紙、本、衣類、ケーブル、またはその他のもので通気孔をふさがないでください。オーバーヒートの原因となります。

### ③ USB (2.0) ポート×2 (94 ページ)

④ バッテリパック (44, 173 ページ)

AC アダプタを接続すると自動的に充電します。AC アダプタが取り外されているときは電力を供給します。バッテリパックを装着していれば、さまざまな場所で本機を利用することができます。バッテリ駆動時間は本機の使用状況や仕様により異なります。バッテリパックは分解しないでください。

右側面



① ExpressCard スロット (91 ページ)

ExpressCard/34mm モジュール 1 枚に対応します。

② USB (2.0) ポート× 1 (94 ページ)

③ IEEE 1394 ポート (95 ページ)

はじめに	お読みください
安全規制	安全上の注意
本体各部の名称	
【準備】	
パソコンを使う	
セキュリティを 設定する	
インターネットに 接続する	
保守・ メンテナンス	
困ったときには	
その他の情報	

#### ④ 外部 SATA(External Serial ATA) ポート

本来コンピュータに内蔵するよう設計された Serial ATA デバイスをこのポートに接続することができます。現行の外部記憶装置用 USB 2.0、IEEE1394 と比較して6倍のバンド幅を実現。ホットプラグ機能に対応し、最長2メートルのケーブルが使用できます。

#### ⑤ HDMI ポート (99 ページ)

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は非圧縮型オールデジタルオーディオ / ビデオインターフェースです。セットトップボックスや DVD プレーヤー、A/V レシーバーなどのあらゆるオーディオ / ビデオソース、オーディオ、デジタルテレビ (DTV)、ビデオモニターに対応。標準型 / エンハンス / HD ビデオをサポートし、これらマルチチャンネルデジタルオーディオを1本のケーブルで転送します。全ての ATSC HDTV 規格の転送が可能で、8チャンネルデジタルオーディオもサポート。また、帯域が高いため今後の技術革新に対応可能です。

#### ⑥ ディスプレイ出力ポート (D-sub15 ピン) (99 ページ)

ディスプレイやプロジェクタなどの標準の VGA 互換デバイスを接続できます。

#### ⑦ モデムポート

標準の電話ケーブルをサポートしています。

### 重要 !

デジタル電話システム (ISDN) はサポートしていません。破損の原因になりますので、デジタル電話システム (ISDN) に接続しないでください。

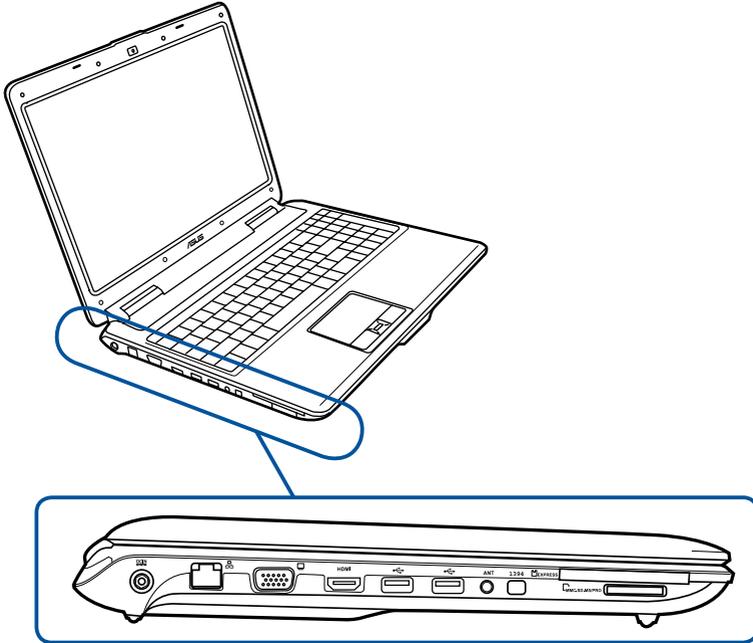
#### ⑧ LAN ポート

ローカルネットワークに接続するための標準イーサネットケーブルをサポートしています。

### 重要 !

本機の有線LANはLANケーブルが接続されていない状態ですと、通電されないため認識されません。LANケーブルが接続されて初めて通電が行われ、システム上に浮かび上がります。ケーブルを抜くと電流が遮断され、システムから見えなくなります。

左側面



① Kensington® ロックポート

Kensington® 製のノートパソコンセキュリティ製品を利用して、本機を固定することができます。これらのセキュリティ製品には通常メタルケーブルと鍵が含まれており、固定した場所から取り外せないようにできます。一部のセキュリティ製品にはモーションディテクタが組み込んであり、動かすとアラームが鳴るものもあります。

② 光学ドライブ (83 ページ)

③ 電子イジェクトボタン

光学ドライブにディスクを入れたり、ディスクを取り出したりするときに押します。ディスクトレイが出てきます。

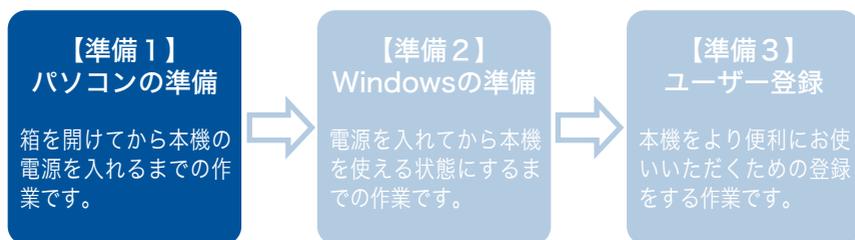
④ 光学ドライブ緊急イジェクトボタン

電子イジェクトが動作しない場合に使用します。電子イジェクトが正常に動作しているときは使用しないでください。

はじめに	お読みください
安全規制	安全上のご注意
本体各部の名称	
【準 備】	
パソコンを使う	
セキュリティを	設定する
インターネットに	接続する
保守・	メンテナンス
困ったときには	
その他の情報	

# 【準備1】パソコンの準備

【準備1】 → 【準備2】 → 【準備3】と作業を進め、本機を使うための準備をスムーズに完了させてください。



## 箱を開けて本体と付属品を取り出す

箱を開けて本体とすべての付属品を取り出し、安全な場所に置きます。

1. 段ボールの外箱を開ける。
2. 本体の入っている箱と、キャリングバッグを取り出して安全な場所に置く。
3. 本体の入っている箱を開ける。
4. 本体（保護材で保護されています）と、付属品（ダンボール箱にまとまっています）を取り出して、安全な場所に置く。

## □ 本体から保護材を取り外す

1. 本体を保護している保護材を取り外す。
2. 本体を保護袋から取り出して安全な場所に置く。
3. 本体前面の OPEN ボタンを押して、ディスプレイをゆっくり開く。  
OPEN ボタンの場所については、「本体各部の名称」－「前面」（34 ページ）をご確認ください。
4. 液晶画面部分を保護しているクリアシートと、キーボード部分を保護しているシートを取り外す。
5. ディスプレイを「カチッ」というまでゆっくり閉じる。

**ヒント**

- ・ 取り外したダンボールや保護シートは箱と一緒に保管してください。引越しや移動などで本機を梱包するときに使用します。

## □ 付属品を取り出す

1. 付属品がまとまっている段ボール箱から付属品をすべて取り出し、安全な場所に置く。
2. ビニールの袋に入っている付属品はすべて袋から取り出す。

**ヒント**

ビニールの袋は保管してください。引越しや移動などで付属品を再度梱包するときに使用します。

## 本体と付属品を確認する

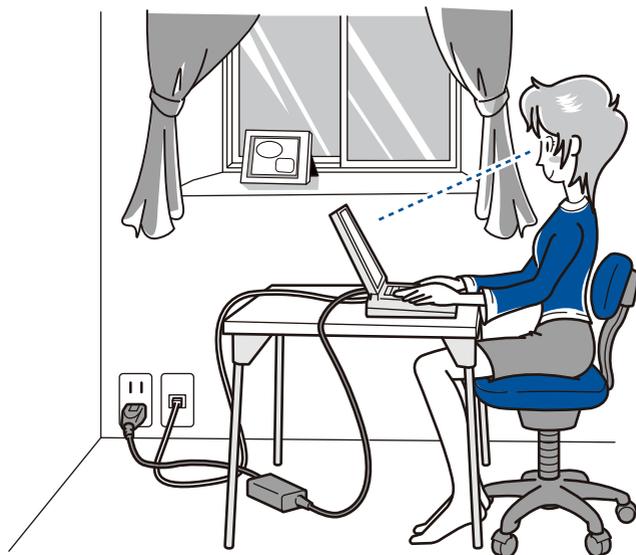
すべての付属品が揃っていることを確認します。付属品をご確認の際は、付属品の一覧が記載されている別紙をご覧ください。

付属品が足りないときや破損しているときは、販売店にご連絡ください。

---

## 本体の設置場所を決める

以下のイラストを参考に、本機をどこで使用するかを決めます。



- 窓のそばなど風通しの良い場所
- 電源コンセントに近い場所
- インターネット接続で電話回線を使用する場合は、モジュラジャックに近い場所
- 平らで広めのがたがたしないテーブルや机
- ディスプレイを見る視線が斜め下になり、両手に負担がかからない高さの椅子

## ご注意

- ・ ほこりの多い床には置かないでください。通気孔からほこりを吸い込んで故障の原因になる場合があります。
  - ・ 通気孔にものを置いたり、ふさいだりしないでください。
- 設置に適さない場所について
- 本機の故障や破損の原因になるため、下のような場所には設置しないでください。
- ・ 直射日光が当たる場所
  - ・ 風通しが悪い場所
  - ・ ほこりが多い場所
  - ・ 湿度が高い場所
  - ・ 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
  - ・ 磁気を発生するものや磁気を帯びているものが近くにある場所

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

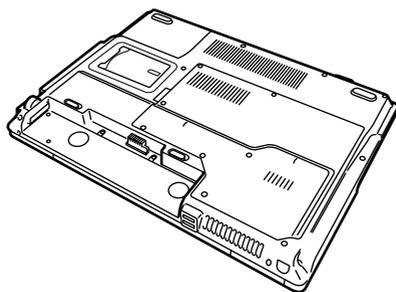
その他の情報

## バッテリーパックを取り付ける

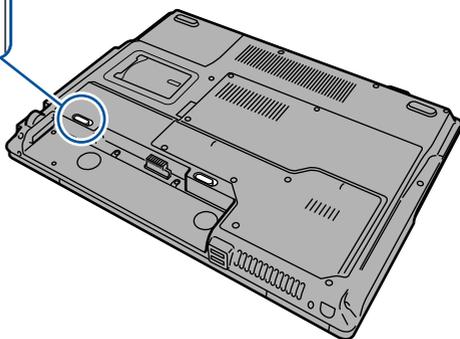
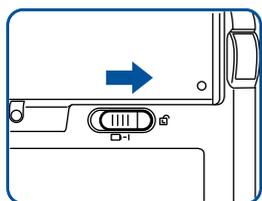
付属のバッテリーパックを取り付けて充電しておけば、停電時や AC 電源が外れてしまったときでも、作業中のデータを失うことはありません。

バッテリーパック取り扱い時の注意事項については、「バッテリーの取り扱いについてのご注意」(191 ページ) をご覧ください。

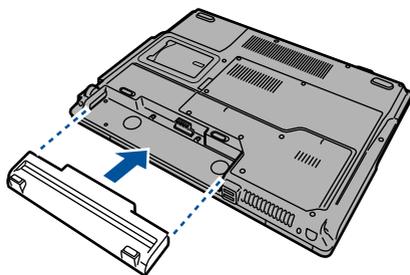
1. ディスプレイを閉じた状態の本機を、底面を上にして安全な場所に置く。



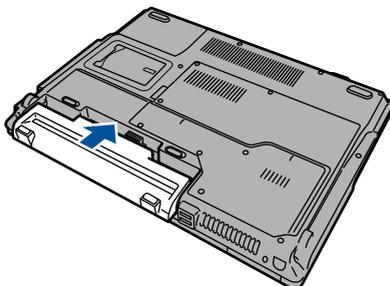
2. バッテリロック (手動式) を解除側 (🔓) にスライドさせる。



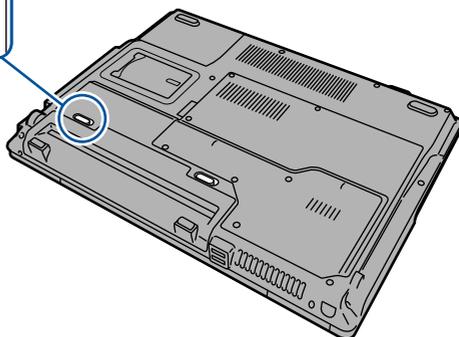
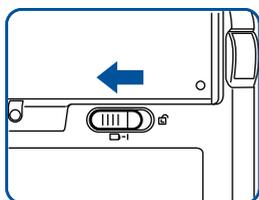
3. バッテリーパックの溝を本機のレール部分に合わせる。



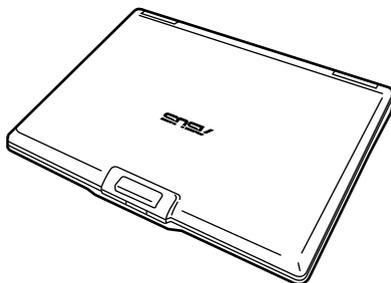
4. 「カチッ」と音がするまで水平にゆっくり押し込む。



5. バッテリーロック（手動式）を元の位置に戻して、バッテリーパックをロックする。



## 6. 本機の底面を下にして安全な場所に置く。



### ヒント

- ・ 液晶ディスプレイの明るさを暗くすると、バッテリーを長持ちさせることができます。
- ・ 低電力モード（休止状態、スリープ）を使うと、バッテリーを長持ちさせることができます。休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。
- ・ バッテリーパックの取り外しかたについては、「バッテリーパックの取り外しについて」（173 ページ）をご覧ください。

## インターネット接続用の機器をつなぐ

インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATV（ケーブルテレビ）などのインターネット接続サービスを利用する方法と、一般の電話回線に接続する方法があります。

インターネット接続サービスを利用する場合、本機とインターネット接続用の機器の接続は、LAN ケーブルを使用した有線 LAN 接続、または本機の無線 LAN 機能を利用した無線 LAN 接続が可能です。

### ご注意

- ・ インターネット接続サービスのサービス内容について詳しくは、利用するプロバイダ（接続業者）にご確認ください。
- ・ インターネット接続サービスを利用した接続方法について詳しくは、利用するプロバイダ（接続業者）にご確認ください。
- ・ 本機は ISDN 回線には対応していません。

### □ ADSL / FTTH / CATV を利用する

#### ● 有線接続の場合

別売りの LAN ケーブルを使って、本機とインターネット接続用の機器を接続します。本機右側面の LAN ポートに、LAN ケーブルのプラグのツメが「カチッ」と音がするまでまっすぐに差し込みます。

#### < ADSL の接続例 >

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

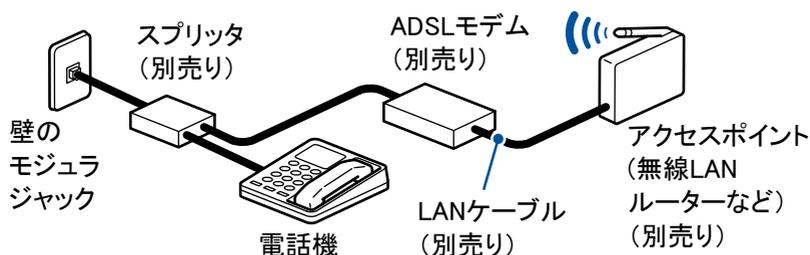
## ご注意

- LANポートに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット (Ethernet) 用などと表記されているものをお使いください。
- インターネット接続用の機器の接続方法について詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

### ●無線接続の場合

別売りのアクセスポイント（無線LANルーターなど）を設置します。LANケーブルは必要ありません。本機の無線LAN接続の設定について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

< ADSL の接続例 >



## ご注意

アクセスポイント（無線LANルーターなど）の接続方法について詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

## □ 一般の電話回線に接続する

付属の電話ケーブルを使って、本機と一般の電話回線を接続します。本機右側面のモデムポートに、電話ケーブルのプラグのツメが「カチッ」と音がするまでまっすぐに差し込みます。



モジュラジャックが2つある電話機をお使いの場合は、以下のように接続します。

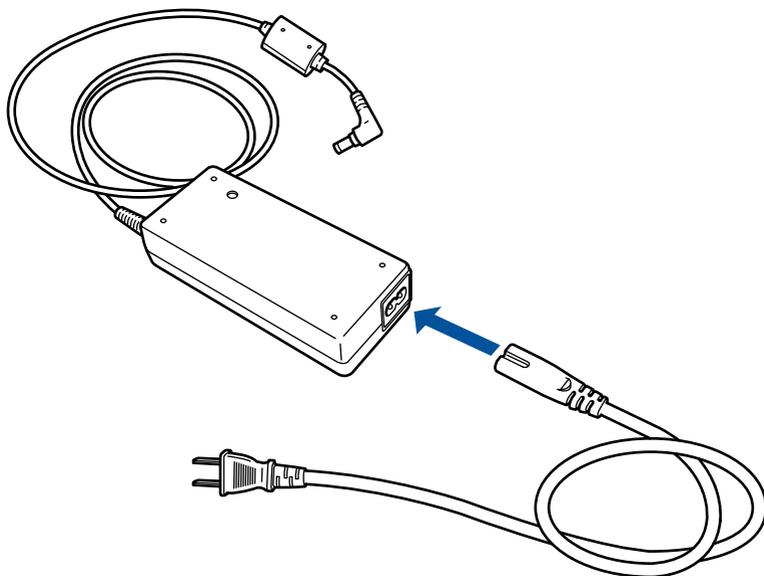
**ご注意**

- ISDN 回線には接続できません。一般回線以外に接続すると、故障や発火の原因となる場合があります。
- 接続する機器により、ここで説明している接続例とは異なる場合があります。
- 本機の LAN ポートに電話ケーブルを接続しないようご注意ください。
- 本機のモデムポートには電話ケーブル以外をつながないようにご注意ください。

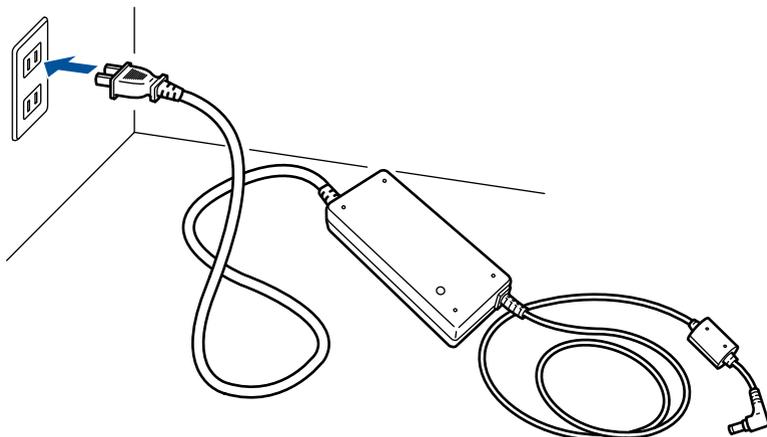
## AC 電源アダプタを接続する

付属の AC アダプタと電源ケーブルで、本機と壁のコンセントを接続します。AC アダプタ取り扱い時の注意事項については、「AC アダプタの取り扱いについてのご注意」（191 ページ）をご覧ください。

1. 電源ケーブルのプラグを AC アダプタに差し込む。

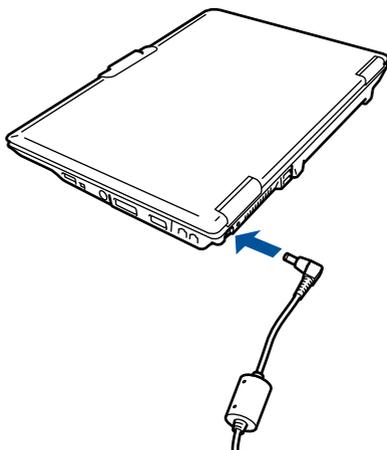


2. 電源ケーブルのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。



ACアダプタのランプが緑色に点灯します。

3. ACアダプタのプラグを、本機後面の電源ジャックに差し込む。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

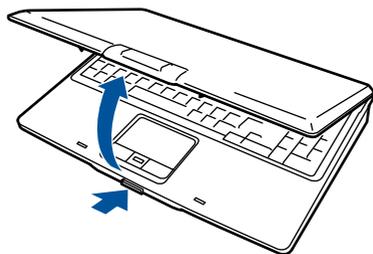
困ったときには

その他の情報

## 電源を入れる

本機の電源を入れます。

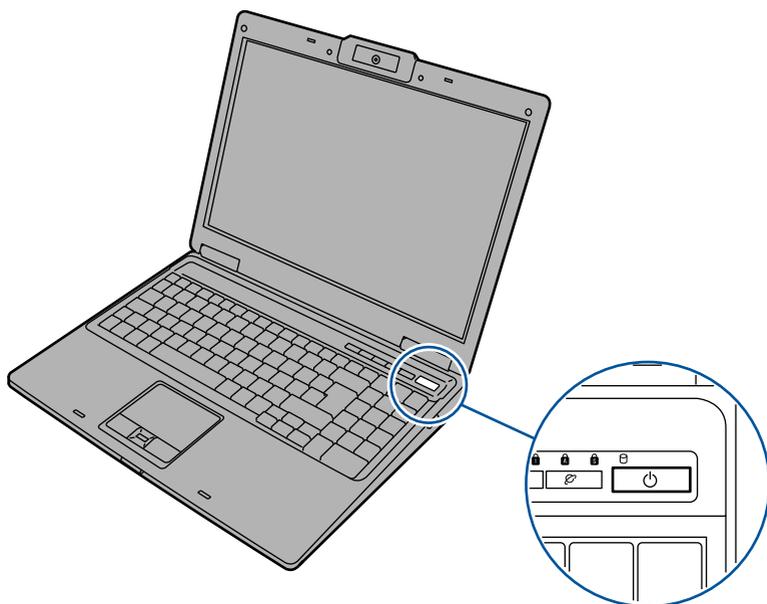
1. OPEN ボタンを押して、ディスプレイをゆっくり開く。



### ご注意

- Web カメラのレンズ部分に触らないようにご注意ください。
- ディスプレイを持って本機を持ち上げないでください。

2. 電源ボタン (⏻) を押す。



本機の電源が入り、しばらくしてから「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。「Windowsのセットアップ」画面は表示されるまで時間がかかる場合がありますが、電源を切らずにそのままお待ちください。



これでパソコンの準備は完了です。この画面が表示されたら「【準備2】Windowsの準備」(54ページ)へ進んでください。Windowsを設定し、本機を使える状態にします。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準備】

パソコンを使う

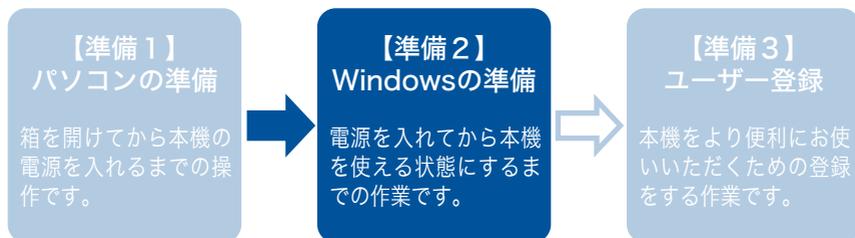
セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## 【準備2】Windowsの準備

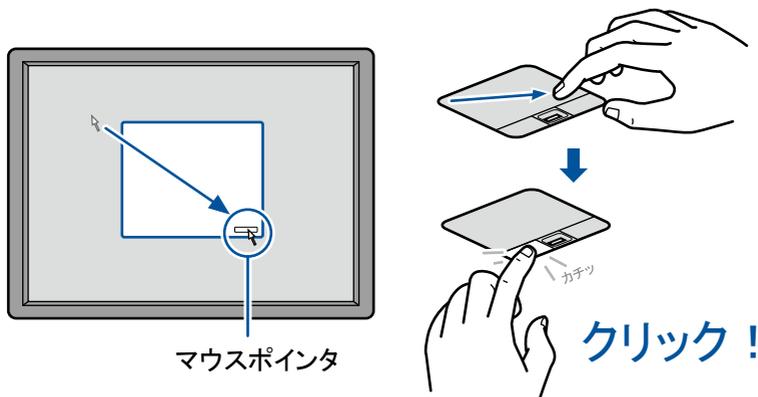
【準備1】 → 【準備2】 → 【準備3】と作業を進め、本機を使うための準備をスムーズに完了させてください。



### Windowsを設定する

【準備1】からの続きです。「Windowsのセットアップ」画面からWindowsの設定を開始します。

設定の操作時は、タッチパッドとタッチパッドボタンを使用します。タッチパッドの上で指を動かして矢印のマーク（マウスポインタ）を目的の位置まで移動させ、左側のタッチパッドボタンを押します（クリックする）。



タッチパッドとタッチパッドボタンの使いかたについては、「タッチパッドを使う」（74ページ）をご覧ください。

**ご注意**

- Windows の設定前に周辺機器（マウスやケーブルなど）を接続しないでください。
- Windows の設定中は絶対に電源を切らないでください。画面に変化がない場合でも設定は継続しています。

**1.** [次へ] をクリックする。**ご注意**

この画面の設定は変更しないでください。設定を変更すると、正常に動作しなくなる場合があります。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## 2. 「ライセンス条項」を確認する。

- ① [▼] [▲] をクリックして画面をスクロールさせ、条項をすべて読む。

Windows Vista を使用するにあたっての大切な規約ですので、全文お読みください。

- ② 内容に同意できる場合のみ [ライセンス条項に同意します] のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[次へ] をクリックする。



### ご注意

[ライセンス条項に同意します] にチェックマークを付けないと、Windows の準備作業は中止されます。

### ヒント

画面左上の  をクリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。

### 3. ユーザーアカウントの設定をする。



- ① [ユーザー名を入力してください] にお使いになる方の名前などを  
を入力する。
- ② パスワードを設定する場合は [パスワードを入力してください]  
にパスワードを入力する。  
パスワードを入力すると、確認用に [パスワードをもう一度入力して  
ください] が表示されます。同じパスワードを入力してください。
- ③ [パスワードのヒントを入力してください] にパスワードを忘れ  
てしまったときに、思い出するためのキーワードとなる言葉を入力  
する。  
パスワードのヒントは入力を省略することができます。
- ④ このアカウントで使用する画像をクリックして選ぶ。
- ⑤ [次へ] をクリックする。

#### ヒント

- ・ ユーザー名やパスワードは Windows の準備が完了した後で設定することもできます。
- ・ ユーザー名、パスワード、パスワードのヒントは、必ず半角英数字 (a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9) で入力してください。半角英数字以外の文字を使用すると、正常に動作しなくなる場合があります。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【準備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## 4. コンピュータ名とデスクトップの背景（壁紙）を設定する。



- ① 自動的に表示されているコンピュータ名を確認する。  
ここではコンピュータ名を変更しません。
- ② デスクトップの背景（壁紙）に設定する画像をクリックする。  
画像をクリックすると現在設定中の画面の背景も変更されます。
- ③ [次へ] をクリックする。

### ヒント

- ・ ユーザー名やパスワードはWindowsの準備が完了した後で設定することもできます。
- ・ ユーザー名、パスワード、パスワードのヒントは、必ず半角英数字（a～z、A～Z、0～9）で入力してください。半角英数字以外の文字を使用すると、正常に動作しなくなる場合があります。

### ヒント

デスクトップの背景は Windows の準備が完了した後で設定することもできます。

5. Windowsの保護機能の設定で、最上段の「推奨設定を使用します」をクリックする。



6. 日付と時刻を設定する。



- ① 「タイムゾーン」で「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選ばれていることを確認する。
- ② 「日付」を確認する。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

③ [時刻] を1時間進める。

お買い上げ時は台湾の標準時に設定されています。日本とは1時間の時差があるため、時計を1時間進めてください。時、分、秒の部分をクリックして反転表示させ、[▼] [▲] をクリックして時刻を調整します。

④ [次へ] をクリックする。

本機が既にネットワークに接続している場合は、パソコンを使用する場所を選ぶ画面が表示されます。

7. パソコンを使用する場所(使用する環境にちかいもの)を選ぶ。  
パソコンを使用する場所を選ぶ画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

8. [開始] をクリックする。



自動的にシステムの設定が開始されます。この設定には時間がかかる場合がありますが、設定が終了するまでそのままお待ちください。設定が終了すると、本機は自動的に再起動します。

これでWindowsの準備は完了です。再起動後にWindowsが使えるようになります。セットアップが完了すると、デスクトップに「Norton Internet Security」画面が自動的に表示されます。「Norton Internet Security」について詳しくは、「アンチウイルスソフトを導入する」（109ページ）をご覧ください。引き続き「【準備3】ユーザー登録」（65ページ）へ進んでください。

### ヒント

電源の切りかたについて詳しくは、「Windowsを終了する」（61ページ）をご覧ください。

#### □ インストールされているWindowsについて

Windows Vistaには、以下のエディションがあります。

- Windows Vista Ultimate
- Windows Vista Business
- Windows Vista Home Premium
- Windows Vista Home Basic

本機には、Windows Vista Home Premiumがインストールされています。

## Windowsを終了する

Windowsを終了または低電力状態にするには、以下の方法があります。本機をバッテリーで使用しているときに状況に合わせて使い分けると、バッテリーを長持ちさせることができます。

#### □ シャットダウン

Windowsを完全に終了し、本機の電源を切ります。シャットダウンは必ず以下の手順で行ってください。

1. （スタート）ボタンをクリックする。  
スタートメニューが表示されます。

## 2. [シャットダウン] をクリックする。



しばらくすると、本機の電源が自動的に切れます。ディスプレイを「カチッ」というまで静かに閉じてください。

上記の手順でシャットダウンできない場合は、電源ボタン (🔌) を 4 秒以上押し続けたままにするか、または本機底面のシャットダウンボタンを押して、強制的にシャットダウンさせます。ただし、強制的にシャットダウンさせると、本機の故障の原因になったり、作成中のファイルが使えなくなったりする場合があります。

### ヒント

ディスプレイを閉じるときは、お買い上げ時に敷かれていたキーボード部分を保護するシートをお使いになることをおすすめします。

## □ 休止状態

本機のメモリの内容をすべてハードディスクに保存し、本機を低電力状態にします。本機の電源が完全に切れている状態ではありませんが、消費電力は大幅に抑えられます。

再度電源ボタン (⏻) を押して本機の電源を入れると、「休止状態」にしたときのデスクトップの状態を復元します。作業中に長時間本機から離れる場合などにご利用ください。

### 1. (スタート) ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

### 2. - 「休止状態」をクリックする。



しばらくすると、本機の電源が自動的に切れます。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## □ スリープ

本機のメモリの内容を保持したまま、本機を低電力状態にします。メモリに電力を供給するため「休止状態」よりも消費電力は多くなります。

本機の使用を再開（電源ボタン（）、またはキーボードの任意のボタンを押下）すると、「スリープ」にしたときのデスクトップの状態をすばやく復元します。作業中にしばらくの間本機から離れる場合などにご利用ください。ただし、メモリの内容はハードディスクに保存されないため、電源障害（停電など）が発生したときはメモリ内の情報が失われる場合がありますのでご注意ください。

### 1. （スタート）ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

### 2. - [スリープ] をクリックする。



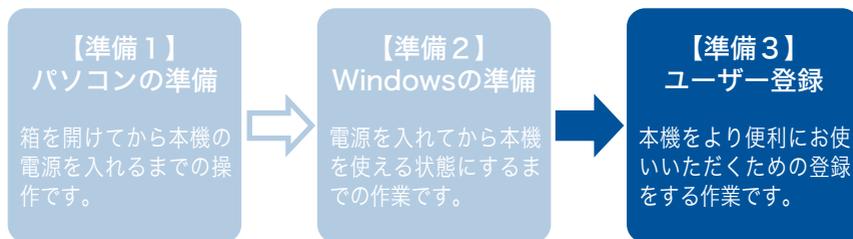
しばらくすると、本機のディスプレイが自動的に消えて本機が低電力状態になります。

## ヒント

キーボードの [Fn] キーを押しながら [F1] キーを押しても設定できます。

# 【準備3】ユーザー登録

【準備1】 → 【準備2】 → 【準備3】と作業を進め、本機を使うための準備をスムーズに完了させてください。



## ASUS ユーザー登録について

ASUS では、本機をより便利にお使いいただくために、ASUS ユーザー登録をおすすめしています。ASUS ユーザー登録を行うと、以下のようなサービスが受けられます。

### ● 情報交換

世界中の ASUS ユーザーと情報交換できます。役立つ情報がたくさん詰まったフォーラム（情報共有掲示板）を閲覧できます。もちろん、書き込みも可能です。

また、お買い上げいただいた製品情報を登録することで、技術的な難しい質問などをすることが可能になります。

### ● スムーズな受付対応

質問や修理などの各種受付を、スムーズにご案内することができます。

## ユーザー登録をする

### ご注意

ASUS ユーザー登録をするにはインターネットに接続している必要があります。インターネットに接続できていない場合は、「インターネットに接続する」(136 ページ) をご覧になり、接続を完了させてから、ユーザー登録を行ってください。

1.  (スタート) ボタン [インターネット] をクリックして、Internet Explorer を起動する。
2. ASUS ユーザー登録画面 (<http://member.asus.com/>) にアクセスする。  
ASUS メンバーエリアのページが表示されます。
3. [ASUS メンバーになる] をクリックする。



ASUS E メンバーシップ規約が表示されます。

4. 規約を全文読み、内容に同意できる場合のみ [同意します] をクリックする。



ユーザー情報を入力する画面が表示されます。

5. 以降は画面の指示に従って入力し、最後に [同意します] をクリックする。

登録したメールアドレス宛に確認のメールが届きます。

6. メールに記載されている「確認コード」を確認する。

7. メールに記載されている「確認ページ」にアクセスする。

8. メンバーアカウント(メールアドレス)と確認コードを入力し、[Go] をクリックする。

これでユーザー登録は完了です。

9. メンバーアカウント(メールアドレス)と登録したパスワードを入力してログインする。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## 10. [製品登録]をクリックし、製品のシリアルナンバー、ご購入日、お買い上げ店等の情報を入力する。

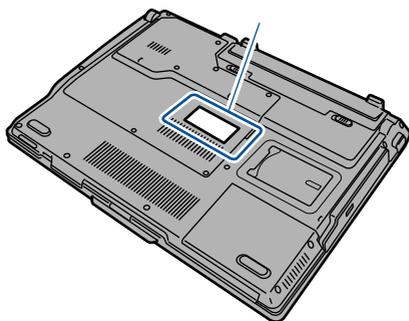
表示されている情報が正しいかどうかご確認ください。これで製品登録は完了です。

### ご注意

保証期間はここで入力された日より計算されます。正確でない購入日を入力された場合は、製品の工場出荷日を製品ご購入日とさせていただきます。あらかじめご了承ください。ただし、レシート等製品のご購入日を証明できるものがあればこの限りではありません。

### ヒント

シリアルナンバーは本機底面のシール、または外箱に貼られているシールに記載されています。



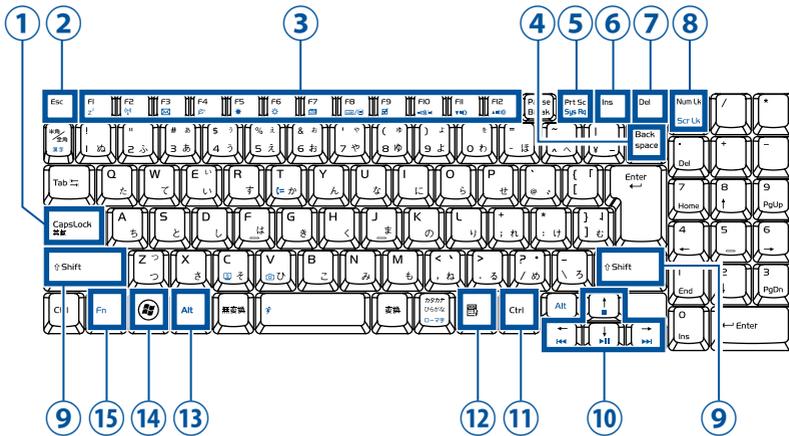
以上で本機をお使いいただくための準備はすべて完了しました。本機の使いかたについて詳しくは、本書のこの後のページを引き続きご覧ください。

本機を安心してお使いいただくために、「セキュリティを設定する」(103 ページ) で、各種セキュリティを設定することをおすすめします。

# パソコンを使う

## キーボードを使う

### □ キーボードの各部の名称



#### ① Caps Lock (キャップスロック) キー

[Shift] キーを押しながら [Caps Lock] キーを押すと Caps Lock インジケータが点灯し、機能が有効になります。Caps Lock インジケータが点灯しているときに文字キーを押すと、アルファベットの大きい文字を入力できます。

#### ② Esc (エスケープ) キー

設定を取り消したり、実行を中止したりします。

#### ③ F (ファンクション) キー

ソフトウェアによって割り当てられる機能が異なります。[Fn] キーと組み合わせて、特定の機能を実行することもできます。

#### ④ Backspace (バックスペース) キー

カーソルの左側の文字を消します。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## ⑤ Prt Scr (プリントスクリーン) キー

デスクトップ全体の表示内容を画像としてクリップボードに保存します。

## ⑥ Insert (インサート) キー

文字キーで文字を入力するときに、挿入するか、上書きするかを切り換えます。

## ⑦ Delete (デリート) キー

カーソルの右側の文字を消します。

## ⑧ Num Lk (ナムロック) /Scr Lk (スクロールロック) キー

### ● [Num Lk] キー

[Fn]キーを押しながら[Num Lk]キーを押すと機能が有効になります。文字キーの上部に数字が書いてあるキーをテンキーとして使用できるようになります。

### ● [Scr Lk] キー

[Fn] キーを押しながら [Scr Lk] キーを押すと機能が有効になります。ソフトウェアによって実行される機能が異なります。

## ⑨ Shift (シフト) キー

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

## ⑩ 矢印キー

カーソルを移動させたり、複数ページの画面のページを戻したり、進めたりします。また、Fn (エフエヌ) キーとの組み合わせで、Windows Media Center または Windows Media Player で DVD や CD を再生時の「再生ボタン」、「一時停止ボタン」や「チャプタースキップボタン」、「STOP ボタン」としての働きもあります。(注:Express Gate 使用時にはこれらマルチメディアキーとしての機能は利用できません)

## ⑪ Ctrl (コントロール) キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

## ⑫ アプリケーションキー

右側のタッチパッドボタンを押したときと同じ動作をします。プロパティメニューを表示します。

## ⑬ Alt (オルト) キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

#### ⑭ Windows（ウィンドウズ）キー

Windows のスタートメニューが表示されます。

#### ⑮ Fn（エフエヌ）キー

キー上に青い文字で書かれている機能を使用する場合は、[Fn] キーを使用します。[Fn]キーを使う機能について詳しくは、「ホットキーを使う」（71 ページ）をご覧ください。

### □ ホットキーを使う

[Fn] キーを押しながら使用する機能（キー上に青い文字で書かれている機能）は以下のとおりです。

- [Fn] キー +  キー（[F1] キー）

本機をスリープ状態にします。

- [Fn] キー +  キー（[F2] キー）

「Wireless Console 2」を起動します。「Wireless Console 2」とは、本機内蔵の無線 LAN と Bluetooth のオン / オフを切り換えるソフトウェアです。[Fn] キー +  キーを押すたびに、設定が以下のように切り換わります。

「Wireless LAN ON」 → 「Bluetooth ON」 → 「WLAN & Bluetooth OFF」 → 「WLAN & Bluetooth ON」 → 「Wireless LAN ON」 → ……  
 「Wireless Console 2」の機能について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

- [Fn] キー +  キー（[F3] キー）

メールソフトを起動します。

- [Fn] キー +  キー（[F4] キー）

ブラウザ（インターネットエクスプローラ）を起動します。

- [Fn] キー +  キー（[F5] キー）

液晶ディスプレイの輝度を下げます。

- [Fn] キー +  キー（[F6] キー）

液晶ディスプレイの輝度を上げます。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

- [Fn] キー +  キー ([F7] キー)  
液晶ディスプレイ表示のオン / オフを切り換えます。
- [Fn] キー +  キー ([F8] キー)  
外部ディスプレイを接続した場合に、本機と外部ディスプレイの表示を切り換えます（現在の設定が画面に表示されます）。[Fn] キー +  キーを押すたびに、表示が以下のように切り換わります。「本機の液晶ディスプレイ」→「外部ディスプレイ」→「両方」→「本機の液晶ディスプレイ」→・・・。  
外部ディスプレイの接続について詳しくは、「外部ディスプレイを接続する」(97 ページ) をご覧ください。
- [Fn] キー +  キー ([F9] キー)  
タッチパッドのオン / オフを切り換えます。
- [Fn] キー +  キー ([F10] キー)  
スピーカーのオン / オフを切り換えます。
- [Fn] キー +  キー ([F11] キー)  
スピーカーのボリュームを下げます。
- [Fn] キー +  キー ([F12] キー)  
スピーカーのボリュームを上げます。
- [Fn] キー + [Num Lk] キー  
文字キーの上部に数字が書いてあるキーをテンキーとして使用できるようになります。
- [Fn] キー + [Scr Lk] キー  
ソフトウェアによって実行される機能が異なります。使用するソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。
- [Fn] キー + [C] キー  
「Splendid Video Intelligent Technology」を起動します。「Splendid Video Intelligent Technology」とは、液晶ディスプレイの色彩モードを切り換えるソフトウェアです。コントラスト、明るさ、色調、彩度を調節することができます。[Fn] キー + [C] キーを押すたびに、設定が以下のように切り換わります。  
「Normal Mode」→「Gamma Correction」→「Vivid Mode」→「Theater Mode」→「Soft Mode」→「Normal Mode」→・・・。

- [Fn] キー + [Space] キー

「Power4Gear eXtreme」を起動します。「Power4Gear eXtreme」とは、低電力モードの設定を切り換えるソフトウェアです。[Fn]キー + [Space] キーを押すたびに、設定が以下のように切り換わります。

「High Performance」 → 「Entertainment Mode」 → 「Quiet Office」 → 「Battery Saving」 → 「High Performance」 → ……。

「Power4Gear eXtreme」の機能について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

- [Fn] キー + [T] キー

「PowerForPhone」を起動します。「PowerForPhone」とは、Skype やダイヤルアップを効率よく利用するためのソフトウェアです。

「PowerForPhone」の機能について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

- 日本語で文字入力を行う

日本語で入力するには、キーボードの入力モードを日本語入力モードにする必要があります。日本語入力モードと英字入力モードのどちらが選ばれているか確認してください。日本語入力モードと英字入力モードは、[半角/全角]キーで切り換えられます。

また、システムトレイに表示される言語バー上のAのボタンを押すと入力切り替えが可能です。選択されている入力方法によりボタンに表示される文字が変化します(右図参照)。

なお、文字入力に関する不具合がある場合は、「押したとおりの文字が入力されない」(184ページ)をご覧ください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

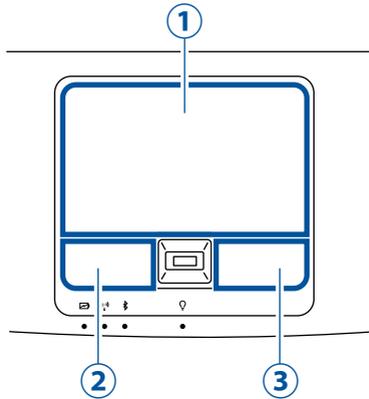
セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## タッチパッドを使う

- タッチパッドの各部の名称を無効にする



### ① タッチパッド

指先で軽く触れて動かすと、動かした指先と同じ軌道でマウスポインタが動きます。

### ② タッチパッドボタン（左側）

マウスの左ボタンと同じ働きをします。

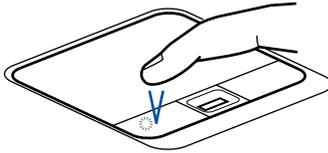
### ③ タッチパッドボタン（右側）

マウスの右ボタンと同じ働きをします。

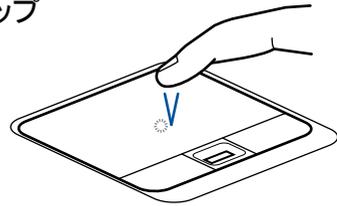
## □ タッチパッドの使いかた

## ● クリックする／タップする

## クリック



## タップ



マウスポインタを希望の位置にあわせて、左側のタッチパッドボタンを1回押します（クリック）。または、タッチパッドを指で1回軽くたたきます（タップ）。

[OK] や [キャンセル] などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。

## ● ダブルクリックする／ダブルタップする

## ダブルクリック



## ダブルタップ



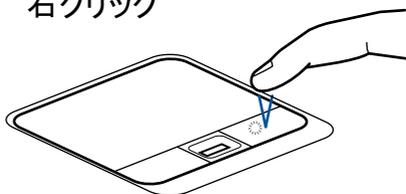
マウスポインタを希望の位置にあわせて、左側のタッチパッドボタンを2回続けて押します（ダブルクリック）。または、タッチパッドを指で2回続けて軽くたたきます（ダブルタップ）。

ソフトウェアを実行したり、作成したファイルを開くときなどに使います。

## ● 右クリックする

---

### 右クリック



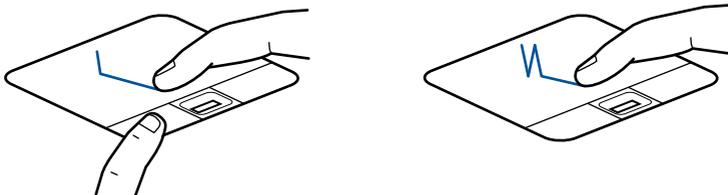
マウスポインタを希望の位置にあわせて、右側のタッチパッドボタンを1回押します。

押したときのマウスポインタの位置によって、さまざまな内容のメニューが表示されます。

## ● ドラッグする

---

### ドラッグ



マウスポインタを希望の位置にあわせて、左側のタッチパッドボタンを押したまま、タッチパッド上で指を動かします。または、タッチパッドを指で2回続けて軽くたたき、そのままタッチパッド上で指を動かします。ファイルの移動やウィンドウの移動、またウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。

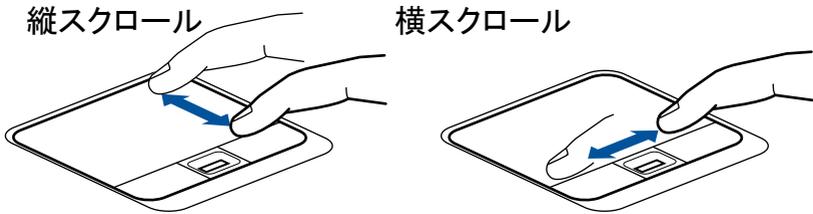
## ● ドラッグアンドドロップする

---

アイコンをドラッグして移動させ、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左側のタッチパッドボタンを離します。タッチパッドを利用してドラッグしている場合は、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で指を離します。

ファイルの移動やコピーなどをするときに使います。

## ● スクロールする



タッチパッドの右端に指をあてて上下に動かします。選択しているウィンドウの垂直方向のスクロールバーを上下に動かすことができます。また、タッチパッドの下端に指をあてて左右に動かすと、選択しているウィンドウの水平方向のスクロールバーを左右に動かすことができます。

**ご注意**

- タッチパッドを強くタップしないでください。タッチパッドは力ではなく動きに反応します。
- 先端のとがったものなどは使用しないでください。タッチパッドが傷つき、故障の原因になります。
- 汚れた指、濡れた指でタッチパッドに触れないでください。また、ほこり、液体、油分などを付着させないでください。感度が悪くなります。
- タッチパッドやタッチパッドボタンの上に物を置かないでください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## □ タッチパッドを無効にする

外付けの USB マウスを接続したときに、自動的にタッチパッドを無効にすることができます。

### 1. (スタート) ボタン [コントロールパネル] をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

### 2. [ハードウェアとサウンド] をクリックする。



「ハードウェアとサウンド」画面が表示されます。

### 3. [マウス] をクリックする。



「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

## 4. [デバイス設定] タブをクリックする。



## 5. [USB マウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする。] のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックする。



### ヒント

以下のホットキーでも、タッチパッドのオン／オフを切り換えることができます。

- ・ [Fn] キー +  キー ([F9] キー)

## 音を出す

本機はスピーカーシステムを内蔵しており、お買い上げ時から音の出る設定になっています。また、マイクも内蔵しているため、外付けのマイクを接続しなくてもビデオ会議や簡単な録音に使用することができます。

### □ 音声入力／出力について

#### ● マイク入力ジャック

---

外付けマイク、またはオーディオデバイスの出力端子と接続します。  
入力された音声は、内蔵スピーカー、または外付けのスピーカーから出力されます。

#### ● S/PDIF 出力ジャック

---

S/PDIF (Sony/Philips Digital Interface) デバイスと接続し、hi-fi ホームエンターテイメントとして楽しむことができます。

#### ● ヘッドホン出力ジャック

---

ヘッドホン、または外付けスピーカーを接続します。  
音声は自動的に接続した機器から出力されます（内蔵スピーカーは無効になります）。

### ヒント

各インターフェイスの場所については、「本体各部の名称」－「前面」（34 ページ）をご確認ください。

## □ 音量を調整する

Windows の音声ミキサで、スピーカー音量や出力ジャックからの出力音量、Windows サウンドの音量などのシステム音量を調整できます。

### 1. (スタート) ボタン [コントロールパネル] をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

### 2. [ハードウェアとサウンド] をクリックする。



「ハードウェアとサウンド」画面が表示されます。

### 3. [サウンド] の [システム音量の調整] をクリックする。



「音声ミキサ」画面が表示されます。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【準】

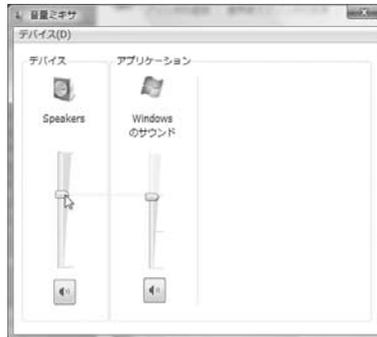
パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## 4. バーをドラッグして上下させ、音量を調整する。



スピーカーアイコンのボタンをクリックすると、ミュート（消音）に設定することができます。再度クリックするとミュート（消音）は解除されます。

### ヒント

以下のホットキーでも、音量の調整をすることができます。

- ・ [Fn] キー + [▼] [🔊] キー ([F11] キー)
- ・ [Fn] キー + [▲] [🔊] [🔊] [🔊] [🔊] キー ([F12] キー)

## CD と DVD を使う

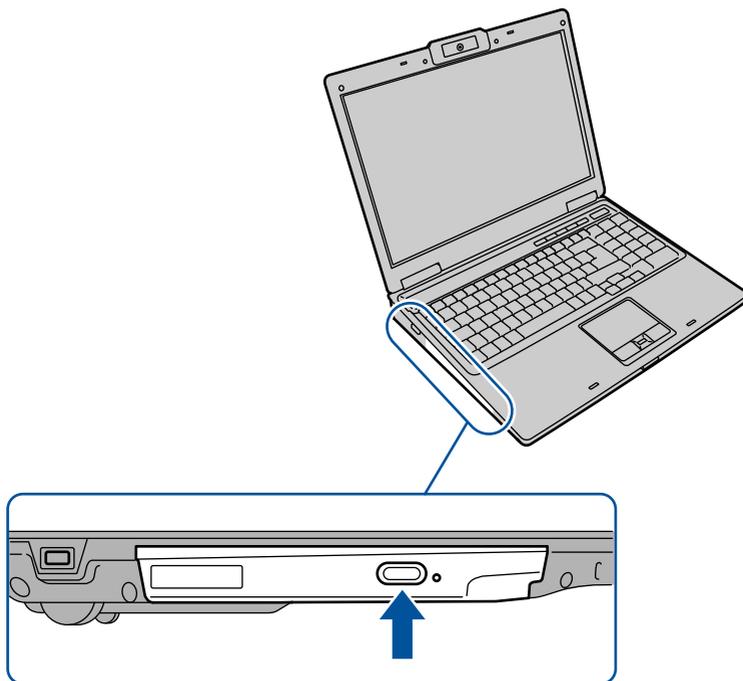
本機には、光学ドライブ（DVD スーパーマルチドライブ）が搭載されています。本機の左側面にあります。

DVD の再生や動画の編集、またオリジナルの DVD、CD の作りかたについて詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

### □ ディスクを入れる／取り出す

#### ● ディスクを入れる

1. 本機の電源が入っていることを確認する。
2. 電子イジェクトボタンを押す。



ディスクトレイが出てきます。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

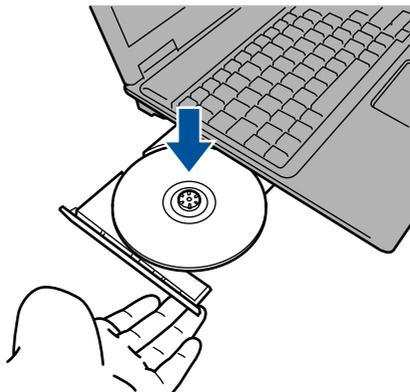
パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

3. ディスクの記録面を下にしてディスクトレイにのせ、ディスクトレイの底部を手で支えながら、「カチッ」と音がするまでディスクをしっかりとはめ込む。



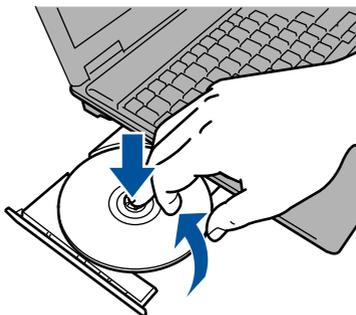
#### ご注意

- ディスクの記録面には触れないようにご注意ください。
- 「カチッ」と音がするまでディスクをしっかりとはめ込まないと、ディスクトレイを閉じるときにディスクを傷つけてしまう場合があります。また、そのままディスクトレイを閉じてしまうと、ディスクトレイが出てこなくなる場合があります。
- ディスクをしっかりとはめ込むときは、ディスクトレイに無理な力がかからないよう、ディスクトレイの底部を手で支えてください。

4. ディスクトレイを軽く押して閉じる。  
自動的にディスクが読み込まれます。

## ● ディスクを取り出す

1. 電子イジェクトボタンを押す。  
ディスクトレイが出てきます。
2. 中央部分を押さえながらディスクの端を上を持ち上げるようにしてディスクを外す。



### ご注意

ディスクを取り出すときは、ディスクトレイに無理な力がかからないようにご注意ください。

## ● ディスクトレイが出てこないときは

電子イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこないときは、光学ドライブ緊急イジェクトボタンを押します。光学ドライブ緊急イジェクトボタンは、光学ドライブの小さな穴の中にあります。クリップなどの先端の細いものを挿入して押してください。

光学ドライブ緊急イジェクトボタンの場所については、「本体各部の名称」－「左側面」(39 ページ) をご確認ください。

### ご注意

電子イジェクトが正常に動作しているときは使用しないでください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときは

その他の情報

## □ 使用できるディスクについて

本機の光学ドライブ(DVD スーパーマルチドライブ)で再生、記録できるディスクは以下のとおりです。

ディスクの種類	再生	記録
DVD-ROM	可	不可
DVD-Video	可	不可
DVD+R DL (Double Layer)	可	可 *1
DVD-R DL (Double Layer)	可	可 *2
DVD+R/RW	可	可
DVD-R/RW	可	可
DVD-RAM	可	可 *3
CD-ROM	可	不可
音楽 CD	可	不可
CD-EXTRA	可	不可
CD-R/RW	可	可
Video CD	可	不可

\*1 「DVD+R Double Layer」に対応した DVD+R ディスクのみ。

\*2 「DVD-R Double Layer」に対応した DVD-R ディスクのみ。

\*3 カートリッジタイプではないもの、またはカートリッジから取り出すことができるタイプのみ。

## □ ディスクの使用に関する注意について

- 一部の再生や記録に対応していないディスクもあります。
- 本機の光学ドライブ（DVDスーパーマルチドライブ）は8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 変形ディスク（ハート型、カード型など）を入れないでください。故障の原因になります。
- DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWはDVDビデオ形式、DVD-RW、DVD-RAMはDVDビデオレコーディング規格（VR）で記録することができます。
- CD-R、CD-RWで作成した音楽CDは、CDプレーヤーによって再生できない場合があります。
- DVD+R DL、DVD+R、DVD+RW、DVD-R DL、DVD-R、DVD-RW、DVD-RAMで作成したDVDは、DVDプレーヤーによって再生できない場合があります。
- ディスクの書き込みに失敗した場合でも、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

はじめに お読みください
安全規制 安全上の注意
本体各部の名称
【準備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## メモ리카ードを使う

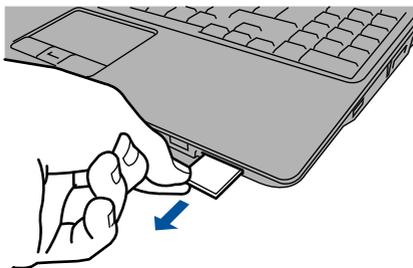
本機には、数種類のフラッシュメモ리카ードの読み書きができる高速のメモ리카ードリーダーが内蔵されています。本機の前面にあります。

### □ メモ리카ードを入れる／取り出す

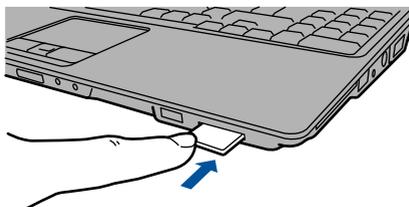
#### ● メモ리카ードを入れる

お買い上げ時はメモ리카ードリーダーにダミーカードが入っています。メモ리카ードリーダーを保護するために、使用していないときはダミーカードを入れておくようにしてください。

1. ダミーカードを奥まで押し込んではずす。  
ダミーカードが少し出てきます。
2. ダミーカードの端を持って、ゆっくりと引き抜く。



3. メモ리카ードをメモ리카ードリーダーに「カチッ」と音がするまで押し込む。



**ご注意**

- ・ メモリカードを入れる前にごみやほこりが付着していないことを確認してください。
- ・ メモリカードの表裏、前後を間違えないように入れてください。間違えて入れると故障の原因になります。

**●メモリカードを取り出す**

1. デスクトップ右下の通知領域にあるをダブルクリックする。  
「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。
2. リストから取り出すメモリカードをクリックして選び、[停止]をクリックする。  
確認画面が表示されます。
3. 選ばれているメモリカードを確認し、[OK] をクリックする。  
安全に取り外すことができることを知らせるメッセージが表示されます。
4. [OK] をクリックする。
5. メモリカードを奥まで押し込んではずす。  
メモリカードが少し出てきます。
6. メモリカードの端を持って、ゆっくりと引き抜く。
7. ダミーカードをメモリカードリーダーに「カチッ」と音がするまで押し込む。

**ご注意**

データの読み込み中や書き込み中にメモリカードを取り出さないでください。記録したデータが消えたり壊れたりする場合があります。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## □ 使用できるメモリカードについて

本機のメモリカードリーダーは以下のメモリカードに対応しています。

- xD-Picture Card
- MMC (マルチメディアカード)
- MMCplus
- RS-MMC (アダプタが必要です)
- SDメモリーカード
- miniSDカード (アダプタが必要です)
- “メモリースティック”
- “メモリースティック デュオ” (アダプタが必要です)
- “メモリースティック PRO”
- “メモリースティック PRO デュオ” (アダプタが必要です)
- “メモリースティック マイクロ” (アダプタが必要です)

### ご注意

- 本機のメモリーカードスロットはSDメモリーカードの著作権保護機能に対応しています。
- 本機のメモリーカードスロットはSDIOに対応していません。

## ExpressCard を使う

本機には ExpressCard スロットが搭載されています。本機の右側面にあります。

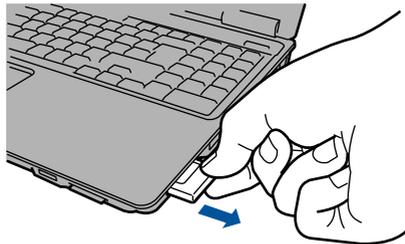
ExpressCard とは、次世代 PC カードとして発表され、従来の PC カードよりも高速化、簡易化されたものです。ExpressCard モジュールのサイズは幅が 34 mm と 54 mm のものがあり、本機は両サイズに対応しています。

### □ ExpressCard を入れる／取り出す

#### ● ExpressCard を入れる

お買い上げ時は ExpressCard スロットにダミーカードが入っています。スロットを保護するために、使用していないときはダミーカードを入れておくようにしてください。

1. ダミーカードを奥まで押し込んではずす。  
ダミーカードが少し出てきます。
2. ダミーカードの端を持って、ゆっくりと引き抜く。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【備】

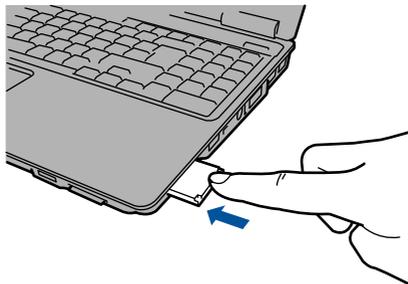
パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

3. ExpressCard を ExpressCard スロットに「カチッ」と音がするまで押し込む。



取り付け後の使いかたについては、ExpressCard に付属の取扱説明書をご覧ください。

#### ご注意

ExpressCard の表裏、前後を間違えないように入れてください。間違えて入れると故障の原因になります。

#### ● ExpressCard を取り出す

---

1. デスクトップ右下の通知領域にある  をダブルクリックする。  
「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。
2. リストから取り出す ExpressCard をクリックして選び、[停止] をクリックする。  
確認画面が表示されます。
3. 選ばれている ExpressCard を確認し、[OK] をクリックする。  
安全に取り外すことができることを知らせるメッセージが表示されます。
4. [OK] をクリックする。

5. ExpressCard を奥まで押し込んではずす。  
ExpressCard が少し出てきます。
6. ExpressCard の端を持って、ゆっくりと引き抜く。
7. ダミーカードを ExpressCard スロットに「カチッ」と音がするまで押し込む。

□ ExpressCard の使用に関する注意について

- ・ じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置すると ExpressCard モジュールの部品が壊れてしまう場合があります。
- ・ コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- ・ ExpressCard モジュールを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ・ ExpressCard モジュールを水でぬらさないでください。
- ・ 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - ・ 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - ・ 直射日光のあたる場所
  - ・ 湿気が多い場所や腐食性のある場所
  - ・ ほこりの多い場所
- ・ ExpressCard モジュールを入れた状態で、本機をカバンやキャリングバッグなどの中へ入れないでください。ExpressCard モジュールに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準 備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## USB 機器を接続する

本機の前面、後面、右側面に合計 4 箇所の USB ポートがあります。本機の USB ポートは、USB2.0 規格に対応しています。USB1.1 規格に対応した機器もつなぐことができます。

USB の接続方法は、本機の電源が入っている入っていないにかかわらず、USB 機器を本機の USB ポートに接続するだけです。接続した機器を自動的に認識します。

### ご注意

- USB 機器の取り扱いかたについては、お使いの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- USB 機器の取り外しかたについて詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB 機器を接続した状態で本機を移動する場合は、USB ポート部に衝撃や力が加わらないようご注意ください。本機または USB 機器の破損の原因になります。
- USB 機器を接続した状態で、本機をカバンなどの中に入れてください。本機または USB 機器の破損の原因になります。

## IEEE 1394 機器を接続する

本機の右側面に IEEE 1394 ポートがあります。IEEE 1394 とは、IEEE 1394 ポートを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。複数の IEEE 1394 対応機器を接続した場合、直接接続している機器だけでなく、他の機器を介して接続している機器に対しても、データのやりとりが可能です。IEEE 1394 は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。IEEE 1394 対応機器は、数珠つなぎ（ダイジー・チェーン）に接続します。デジタル信号は、接続したすべての機器に流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないように（接続が輪にならないように）ご注意ください。接続のしかたや画像の取り込みかたは、接続する IEEE 1394 対応機器や使用するソフトウェアによって異なります。詳しくは、IEEE 1394 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

### ご注意

- 接続する機器の特性や仕様によっては、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- IEEE 1394 対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度が IEEE 1394 ポートの周辺に表記されています。最大データ転送速度は、約 100/200/400Mbps が定義されており、200Mbps のものは S200、400Mbps のものは S400 と表記されます。
- IEEE 1394 は、すべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。
- IEEE 1394 で接続を行うパソコン周辺機器類（ハードディスクドライブなど）は、OS によっては対応していない場合があります。あらかじめ動作環境をご確認ください。

はじめに お読みください
安全規制 安全上の注意
本体各部の名称
【備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## Bluetooth 機能を使う

### □ Bluetooth 機能とは

Bluetooth 機能とは、近距離間の無線通信を実現する技術です。Bluetooth 機能対応のパソコンやマウス、ヘッドセットなどをケーブル無しで手軽に使用することができます。

#### ご注意

- Bluetooth 機能対応機器は、お使いの機器やソフトウェアのバージョンなどによって、正しく動作しない場合があります。Bluetooth 機能対応機器をお買い求めになる際は、あらかじめ動作環境をご確認ください。
- 機器によっては、認証されていない機器間の接続を拒否するように設定されています。接続するには、接続する機器との認証が必要です。
- Bluetooth 規格の制約上、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合があります。

### □ Bluetooth 機能で通信する

1. 無線スイッチを [ON] に合わせる。
2. [Fn] キーを押しながら [(📶)] キー（[F2] キー）を数回押し、「Bluetooth ON」または「WLAN & Bluetooth ON」を選ぶ。
3. デスクトップ右下の通知領域にある  を右クリックして、「Bluetooth デバイスの追加」をクリックする。



「Bluetooth デバイスの追加ウィザード」画面が表示されます。



以降は、画面の指示に従って使用する Bluetooth 機能対応機器を追加してください。また、使用する Bluetooth 機能対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

### ヒント

- ・ [Fn] キー + [(無線)] キー ([F2] キー) を押すと「Wireless Console 2」機能が起動します。操作について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。
- ・ 無線スイッチの場所については、「本体各部の名称」－「前面」(34 ページ) をご確認ください。

## 外部ディスプレイを接続する

本機右側面のディスプレイ出力ポートに外部ディスプレイ（モニターやプロジェクタなど）を接続すると、本機の表示内容を大きな画面に表示させたり、画面を広く使ったりすることができます。本機には以下 2 種類のディスプレイ出力ポートが搭載されています。

### ● HDMI ポート

「DVI」をベースにさらに発展させた規格で、1本のケーブルで映像・音声・制御信号を合わせて送受信可能で、取り回しが容易になっています。特に設定を行わない場合、音声はノートパソコンから出力されます。モニター内蔵スピーカーから音声出力を行う場合はサウンド機能のデジタル出力を設定する必要があります。

### ● ディスプレイ出力ポート (D-sub15 ピン)

ディスプレイやプロジェクタなどの標準の VGA 互換デバイスを接続できます。

はじめに	お読みください
安全規制	安全上のご注意
本体各部の名称	
[ 準 ]	
パソコンを使う	
セキュリティを 設定する	
インターネットに 接続する	
保守・ メンテナンス	
困ったときには	
その他の情報	

## □ 本機の表示内容を外部ディスプレイに表示する

プレゼンテーションのときなど、本機の表示内容を外部ディスプレイ（プロジェクタなど）に表示させたいときは、以下の設定を行います。

**1.** 本機と外部ディスプレイの電源が入っていることを確認する。

**2.** 外部ディスプレイのディスプレイケーブルを本機のディスプレイ出力ポートに接続する。

外部ディスプレイに本機のデスクトップが表示されます。

外部ディスプレイをはじめて接続したときは、「検出された新しいディスプレイ」画面が表示されます。

[すべてのディスプレイにデスクトップを複製する（ミラー）] を選んで、[OK] をクリックしてください。



### ヒント

設定を完了した外部ディスプレイは、次回以降も同じ設定で接続されます。

## □ マルチモニタにして使う

マルチモニタにして使うと、複数のディスプレイをひとつのデスクトップとして使えるため、作業スペースが拡大し作業効率が上がります。マルチモニタとして使うときは以下の設定を行います。

1. 本機と外部ディスプレイの電源が入っていることを確認する。
2. 外部ディスプレイのディスプレイケーブルを本機のディスプレイ出力ポートに接続する。

外部ディスプレイに本機のデスクトップが表示されます。

### ヒント

外部ディスプレイをはじめて接続したときは、「検出された新しいディスプレイ」画面が表示されます。[各ディスプレイにデスクトップの異なる部分を表示する(拡張)]を選んで、[OK] をクリックすれば、マルチモニタとして使用できるようになります。

3. デスクトップ画面上で右クリックし、表示されたメニューの「個人設定」をクリックする。



「個人設定」画面が表示されます。

## 4. 「画面の設定」をクリックする。



「画面の設定」画面が表示されます。

## 5. 画面のイラストの [2] をクリックして選択する。



6. 「デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、「適用」をクリックする。



確認画面が表示されます。

7. 「はい」をクリックする。  
マルチモニタとして使用できるようになります。

8. 「OK」をクリックする。

### ヒント

- ・ 設定を完了した外部ディスプレイは、次回以降も同じ設定で接続されます。
- ・ マルチモニタ画面の各種調整について詳しくは、Windows のヘルプをご覧ください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## Web カメラを使う

本機には Web カメラが搭載されています。

メッセージソフトなどを利用したテレビ電話やビデオ会議などで手軽に使用できるだけでなく、画像の撮影、動画の録画なども可能です。その他にもさまざまな機能が楽しめるソフトウェアを搭載しています。

Web カメラの使いかたについて詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

### ご注意

- カメラを回転させるときに、カメラのレンズ部分を直接触れないようにご注意ください（カメラは 240 度回転させることができます）。

# セキュリティを設定する

## セキュリティの重要性

パソコンをインターネットに接続することが当たり前になった現在、ネットワークを経由した第三者から大切なデータや個人情報を守るためには、セキュリティの設定が必須です。パソコンをインターネットに接続していても、無断で操作して個人情報を持ち出すような悪意のある第三者からパソコンを保護しなくてはなりません。

本機を安心してお使いになるためにセキュリティについての認識を深め、使用状況に合わせてセキュリティの設定を行ってください。

### □ コンピュータウイルスからパソコンを守る

パソコンに被害を与えるソフトウェアをコンピュータウイルスと呼びます。コンピュータウイルスに感染したときの被害として、以下のような例が挙げられます。

- ファイルが勝手に消去される。
- ファイルの内容が勝手に改変される。
- 第三者（ウイルスの作成者など）に、個人のデータ（電子メール、アドレス帳、WordやExcelなど）がインターネットを通じて勝手に送信される。
- 自分が保持しているメールアドレス宛に、ウイルス付きの電子メールを勝手に送信される。
- 第三者（ウイルスの作成者など）に、違法な広告メールの発信元として勝手に利用される。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

感染経路として、以下のような例が挙げられます。

- **コンピュータウイルスに感染した文書を開く**  
WordやExcelで作られたファイルに、マクロと呼ばれる機能を悪用して作られたコンピュータウイルスが組み込まれている可能性があります。このような文書を開くと、パソコン内の他の文書にもコンピュータウイルスが組み込まれてしまいます。見知らぬ送信元からのメールに添付されている文書は開かないでください。
- **電子メールに添付された実行ファイルを開く**  
電子メールに添付されたファイルを安易に開いてしまうと、実は通常のファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。感染後は、コンピュータウイルスを添付した電子メールを勝手に送信するようになる場合があるため、添付ファイルを開くときはご注意ください。知り合いが送信元の場合でも、相手が既にコンピュータウイルスに感染している可能性があるため、細心の注意が必要です。
- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**  
インターネットで公開されているフリーウェアなどのソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。そのソフトウェアの作成者のパソコンがコンピュータウイルスに感染している可能性があると考えられます。

## ● 対策

---

### ① アンチウイルスソフトを導入する

アンチウイルスソフトとは、パソコン内にコンピュータウイルスが存在していないか、また、開こうとしているファイルが安全かどうかなどを検査して安全に処理してくれるソフトウェアです。

本機には、アンチウイルスソフトとして「Norton Internet Security」があらかじめ搭載されています。

アンチウイルスソフトは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、パソコンにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。

コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」では、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。

「Norton Internet Security」については詳しくは、「アンチウイルスソフトを導入する」（109ページ）をご覧ください。

## ご注意

- 設定について詳しくは、「アンチウイルスソフトを導入する」（109ページ）をご覧ください。
- 本機をコンピュータウイルスから守るために定期的に「LiveUpdate」を実行し、ウイルス定義ファイルを最新の状態に保ってください。

### ② Windows Update を実行する

Windows Update では、Windows に関して新たに発見された欠陥などを修正するためのプログラムが配布されています。Windows Update を行うと、それらのプログラムが実行され、Windows が更新されます。Windows の欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、アンチウイルスソフトを使っても対処できないことがあるため、Windows Update で最新の状態を保つようにしてください。

「Windows の準備」（54ページ）を完了すると、Windows Update の自動更新機能が有効になります。インターネットに接続していれば、Windows Update で配布されているプログラムを定期的に確認し、自動的に実行することができます。

また、（スタート）ボタン - [すべてのプログラム] - [Windows Update] をクリックすると、Windows Update のサイトが表示されます。このページで新たに配布されているプログラムを確認することもできます。

はじめに お読みください
安全規制 安全上の注意
本体各部の名称
【準 備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## □ 不正アクセスからパソコンを守る

悪意のある第三者にネットワーク経由でお使いのパソコンに直接アクセスされてしまうと、情報を勝手に引き出されたり、ファイルを壊されたりする場合があります。

### ● 対策

---

#### ① ファイアウォール機能を設定する

ファイアウォール機能とは、第三者が不正な方法でお使いのパソコンに接続しようとしたときに、それを阻止する機能です。本機は、Windows に搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」のファイアウォール機能を搭載しています。

### ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書、またはヘルプをご覧ください。

## □ 個人情報を守る

インターネットのユーザー登録やアンケートなど入力した名前や住所、あるいはクレジットカード番号や銀行の口座番号などの個人情報が勝手に流用されている場合があります。

### ● 対策

---

#### ① 自己管理する

インターネットのサイトに個人情報を入力する場合は、サービスを提供している側の個人情報管理方針や社会的信用度などを必ず確認してください。少しでも不審な点があれば入力をやめるなどの対応が必要です。個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

## □ 詐欺を見極める

インターネット特有の詐欺として、以下のような例が挙げられます。

### ・ フィッシング詐欺

金融機関などを装って電子メールを送りつけて、その電子メール内に書かれたアドレスのリンクから偽のホームページを開かせ、クレジットカード番号や接続ID、パスワードなどを入力させるという悪質な詐欺です。本物と同じデザインですが、偽のホームページなので個人情報は一切入力しないでください。

### ・ 架空請求詐欺

ホームページを開いたときに、突然「ご登録が完了いたしました」などと表示され、同時に画面上で利用料を請求してくることがあります。これは悪質な架空請求詐欺ですので、請求に応じる必要はありません。画面上には実際に利用しているプロバイダ名などが表示されるため、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが心配ありません。もしも不安なときは、ホームページのアドレスや連絡先などをメモした上で、国民生活センターなどにお問い合わせください。

## ● 対策

### ① メール内のリンクをクリックしない

インターネットのサイトに個人情報を入力する場合などは、電子メール内に書かれたアドレスのリンクから入力ページを開かないでください。対象の金融機関などのホームページは自分で開いてください。

### ② 怪しいリンクをクリックしない

ネットサーフィン中に、怪しい広告やキャッチコピーなどの表示されたリンク先を開かないでください。

## □ パソコンの無断使用を防ぐ

インターネットに接続していないからといって安心はできません。パソコン本体の盗難や悪意のある第三者が無断でパソコンを操作し、保存されている情報を持ち出すなどの危険性があります。

### ● 対策

---

#### ① パスワードを設定する

パスワードを設定することにより、パスワードを知るユーザーのみが操作対象となるため、第三者の無断使用を防ぐことができます。

本機には「Windows パスワード」、「パワーオン・パスワード」、「ハードディスク・パスワード」の3種類のパスワードを設定することができます。さらに本機には、「指紋認証」と「SmartLogon」というセキュリティ機能が搭載されています。

それぞれの役割や設定方法について詳しくは、「Windows パスワードを設定する」(110 ページ)、「パワーオン・パスワードを設定する」(117 ページ)、「ハードディスク・パスワードを設定する」(125 ページ)、「指紋認証を使用する」(131 ページ)、「SmartLogon を使用する」(135 ページ) をご覧ください。

## アンチウイルスソフトを導入する

アンチウイルスソフトを導入し、コンピュータウイルスやネットワークからの不正なアクセスによる被害からパソコンを守りましょう。

### □ 「Norton Internet Security」について

本機には、アンチウイルスソフトとして「Norton Internet Security」があらかじめ搭載されています。ただし搭載されているソフトウェアは「90日間の無償試用版」です。90日間は無償でウイルス定義ファイルを更新することができますが、それ以降はウイルス定義ファイルを更新することができません。無償試用期間終了後は、引き続きウイルス定義ファイルを更新するための手続き（有償）をし、正規版の「Norton Internet Security」を導入してください。

### □ 「Norton Internet Security」の初期設定

#### ご注意

初期設定を行うときは、最新版のデータを利用（LiveUpdate）するためにインターネットに接続する必要があります。インターネットに接続できていない場合は、「インターネットに接続する」（136ページ）をご覧ください。詳しくは別冊ソフトウェアマニュアルをご覧ください。

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準 備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## Windows パスワードを設定する

### □ Windows パスワードについて

Windows パスワードを設定すれば、パスワードを知っているユーザーのみが Windows にアクセスできるようになります。Windows パスワードは、Windows のログオン画面で入力します。

#### ご注意

Windows パスワードは忘れないようにご注意ください。念のためメモを取っておくことをおすすめします。

### □ Windows パスワードの設定方法

Windows パスワードの設定画面は、コントロールパネルから表示します。

#### ● Windows パスワードの登録

1.  (スタート) ボタンー [コントロールパネル] をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2. [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] または [ユーザーアカウント] をクリックする。



### 3. [ユーザーアカウント] をクリックする。



### 4. [アカウントのパスワードの作成] をクリックする。



はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
[準備]
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

5. [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] に登録するパスワードを入力する。



### ヒント

[パスワードのヒントの入力] に、パスワードのヒントになる言葉を入力しておくことができます。パスワードを忘れてしまったときのために入力しておくことをおすすめします。

6. [パスワードの作成] をクリックする。

## ● Windows パスワードの変更

1.  (スタート) ボタン— [コントロールパネル] をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2. [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] または [ユーザーアカウント] をクリックする。



3. [ユーザーアカウント] をクリックする。



はじめに	お読みください
安全規制	安全上のご注意
本体各部の名称	
【準】	
パソコンを使う	
セキュリティを	設定する
インターネットに	接続する
保守・	メンテナンス
困ったときには	
その他の情報	

## 4. [パスワードの変更] をクリックする。



## 5. [現在のパスワード] に現在登録されているパスワードを入力する。



## 6. [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] に新しく登録するパスワードを入力する。

### ヒント

[パスワードのヒントの入力] に、パスワードのヒントになる言葉を入力しておくことができます。パスワードを忘れてしまったときのために入力しておくことをおすすめします。

## 7. [パスワードの変更] をクリックする。



#### 4. [パスワードの削除] をクリックする。



#### 5. [現在のパスワード] に現在登録されているパスワードを入力する。



#### 6. [パスワードの削除] をクリックする。

## パワーオン・パスワードを設定する

### □ パワーオン・パスワードについて

パワーオン・パスワードを設定すると、パスワードを知っているユーザーのみが本機を使用できるようになります。本機の電源を入れてASUSのロゴマークが表示された後にパスワードを入力します。

パワーオン・パスワードには以下の2種類があります。

### ● スーパーバイザーパスワード

本機の管理者用（「コンピュータの管理者」など）のパスワードです。

スーパーバイザーパスワードを設定した場合、本機の起動時やBIOSのセットアップ画面ですべての設定を行うときに、スーパーバイザーパスワードの入力が必要になります。

### ● ユーザーパスワード

管理者以外のユーザー用のパスワードです。

ユーザーパスワードを設定した場合、本機の起動時やBIOSのセットアップ画面で一部の設定を行うときに、ユーザーパスワードの入力が必要になります。

### ご注意

- パワーオン・パスワードは忘れないようにご注意ください。念のためメモを取っておくことをおすすめします。
- ユーザーパスワードを忘れた場合は、スーパーバイザーパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定できます。
- スーパーバイザーパスワードを忘れた場合は、パスワードの設定を解除できません。修理（有償）が必要ですので、コールセンターまでお問い合わせください。

□ パワーオン・パスワードの設定方法

パワーオン・パスワードは BIOS のセットアップ画面で設定します。

● パワーオン・パスワード（スーパーバイザーパスワード）の登録

スーパーバイザーパスワードは 32 文字以内で入力してください。半角英数字とスペースを使用できます。アルファベットの大文字、小文字は区別されますのでご注意ください。

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F2] キーを数回押す。  
BIOS のセットアップ画面が表示されます。
3. キーボードの [←] または [→] キーで [Security] を選ぶ。

4. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Change Supervisor Password] を選び、[Enter] キーを押す。



パスワードの入力画面が表示されます。

5. 登録するパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。



この操作を 2 回繰り返すと確認画面が表示されます。

6. [Enter] キーを押す。



7. キーボードの [↓] キーで [User Access Level] を選び、[Enter] キーを押す。

8. キーボードの [↑] または [↓] キーでユーザーのアクセスレベルを選び、[Enter] キーを押す。



9. キーボードの [←] または [→] キーで [Exit] を選ぶ。

10. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す。確認画面が表示されます。

11. [Ok] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

はじめに	お読みください
安全規制	安全上のご注意
本体各部の名称	
[準備]	
パソコンを使う	
セキュリティを 設定する	
インターネットに 接続する	
保守・メンテナンス	
困ったときには	
その他の情報	

## ● パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)の登録

ユーザーパスワードは32文字以内で入力してください。半角英数字とスペースを使用できます。アルファベットの太文字、小文字は区別されますのでご注意ください。

1. 本機の電源を入れる。

2. ASUSのロゴマークが表示されたら、キーボードの[F2]キーを数回押す。

スーパーバイザーパスワードを登録している場合は、「Enter Password」と表示されますので、登録済みのスーパーバイザーパスワードを入力して[Enter]キーを押してください。

BIOSのセットアップ画面が表示されます。

3. キーボードの[←]または[→]キーで[Security]を選ぶ。

4. キーボードの[↑]または[↓]キーで[Change User Password]を選び、[Enter]キーを押す。



パスワードの入力画面が表示されます。

5. 登録するパスワードを入力し、[Enter]キーを押す。

この操作を2回繰り返すと確認画面が表示されます。

6. [Enter]キーを押す。

7. キーボードの[↓]キーで[Password Check]を選び、[Enter]キーを押す。

8. キーボードの [↑] または [↓] キーでユーザーパスワードを要求するタイミングを選び、[Enter] キーを押す。



[Always] を選ぶと、起動するたびにパスワードを要求します。[Setup] を選ぶと、BIOS の設定を行うときだけパスワードを要求します。

9. キーボードの [←] または [→] キーで [Exit] を選ぶ。
10. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す。確認画面が表示されます。
11. [Ok] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

## ● パワーオン・パスワード（スーパーバイザーパスワード）の変更

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F2] キーを数回押す。  
「Enter Password」と表示されます。
3. 登録済みのスーパーバイザーパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。  
BIOS のセットアップ画面が表示されます。
4. キーボードの [←] または [→] キーで [Security] を選ぶ。
5. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Change Supervisor Password] を選び、[Enter] キーを押す。  
パスワードの入力画面が表示されます。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準】備

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する

保守・メンテナンス

困ったときには

その他の情報

6. 新しく登録するパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。  
この操作を2回繰り返すと確認画面が表示されます。
7. [Enter] キーを押す。
8. キーボードの [←] または [→] キーで [Exit] を選ぶ。
9. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す。  
確認画面が表示されます。
10. [Ok] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

### ● パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード) の変更

---

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F2] キーを数回押す。  
「Enter Password」と表示されます。
3. 登録済みのスーパーバイザーパスワード、またはユーザーパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。  
BIOS のセットアップ画面が表示されます。
4. キーボードの [←] または [→] キーで [Security] を選ぶ。
5. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Change User Password] を選び、[Enter] キーを押す。  
パスワードの入力画面が表示されます。

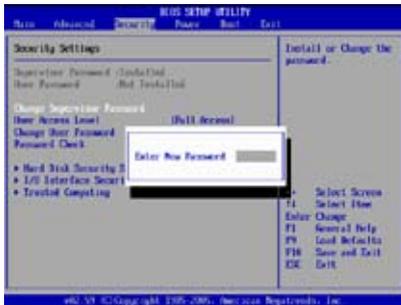
6. 新しく登録するパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。  
この操作を2回繰り返すと確認画面が表示されます。
7. [Enter] キーを押す。
8. キーボードの [←] または [→] キーで [Exit] を選ぶ。
9. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す。  
確認画面が表示されます。
10. [Ok] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

## ● パワーオン・パスワード(スーパーバイザーパスワード)の削除

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F2] キーを数回押す。  
「Enter Password」と表示されます。
3. 登録済みのスーパーバイザーパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。  
BIOS のセットアップ画面が表示されます。
4. キーボードの [←] または [→] キーで [Security] を選ぶ。
5. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Change Supervisor Password] を選び、[Enter] キーを押す。  
パスワードの入力画面が表示されます。

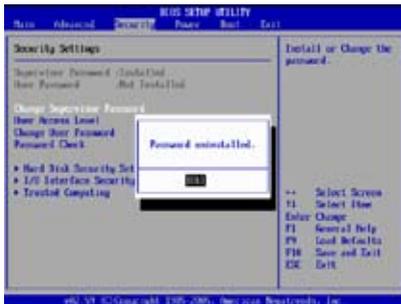
はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準 備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## 6. 何も入力せずに、[Enter] キーを押す。



確認画面が表示されます。

## 7. [Enter] キーを押す。



## 8. キーボードの [←] または [→] キーで [Exit] を選ぶ。

## 9. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す。 確認画面が表示されます。

## 10. [Ok] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

### ● パワーオン・パスワード (ユーザーパスワード) の削除

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F2] キーを数回押す。  
「Enter Password」と表示されます。
3. 登録済みのスーパーバイザーパスワード、またはユーザーパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。  
BIOS のセットアップ画面が表示されます。
4. キーボードの [←] または [→] キーで [Security] を選ぶ。

5. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Clear User Password] を選び、[Enter] キーを押す。  
確認画面が表示されます。
6. [Ok] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。
7. キーボードの [←] または [→] キーで [Exit] を選ぶ。
8. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す。  
確認画面が表示されます。
9. [Ok] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

## ハードディスク・パスワードを設定する

- ハードディスク・パスワードについて

ハードディスク・パスワードを設定すれば、パスワードを知っているユーザーのみが本機を使用できるようにするだけでなく、本機以外のパソコンで本機内蔵のハードディスクを不正使用することを防ぐことができます。企業内で使用しているパソコンからの情報漏洩防止など、特別なセキュリティが求められる場面で役立ちます。

ハードディスク・パスワードには以下の2種類があります。ハードディスクを保護するためには必ず両方のパスワードを設定する必要があります。

### ● マスターパスワード

本機の管理者用（「コンピュータの管理者」など）のパスワードです。

ユーザーパスワードを忘れた場合に、マスターパスワードでユーザーパスワードの解除をします。マスターパスワードは本機の起動時には必要ありません。

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準 備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## ● ユーザーパスワード

ハードディスクにロックをかけるためのパスワードです。マスターパスワードが設定されていないと、ユーザーパスワードを設定できません。

本機の電源を入れて ASUS のロゴマークが表示された後に入力します。パワーオン・パスワードを設定している場合は、パワーオン・パスワードを入力した後、ハードディスク・パスワードを入力します。

### ご注意

- ハードディスク・パスワードは忘れないようにご注意ください。念のためメモを取っておくことをおすすめします。ハードディスク・パスワードを忘れたことによる不都合につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ハードディスク・パスワードを忘れると、ハードディスク内のデータを使用できなくなります。
- ユーザーパスワードを忘れた場合は、マスターパスワードを入力することで、BIOS のセットアップ画面から再設定できます。ユーザーパスワードを再設定しないと、ハードディスク内のデータを

使用できません。また、ハードディスク内のデータをリカバリすることもできません。本機を起動できなくなり、他のドライブから起動することもできません。

- マスターパスワードを忘れた場合は、パスワードの設定を解除できません。ハードディスクの交換修理（有償）が必要ですので、コールセンターまでお問い合わせください。その場合、ハードディスク内のデータはすべて失われます。
- ハードディスク・パスワードは本機内部のハードディスクに対してのみ有効です。外付けのハードディスクに対しては機能しません。
- ハードディスク・パスワードによる保護機能は、完璧に保護できるという保証ではありません。

## □ ハードディスク・パスワードの設定方法

ハードディスク・パスワードは BIOS のセットアップ画面で設定します。

### ● ハードディスク・パスワードの登録

マスターパスワードとユーザーパスワードの両方を登録します。

ハードディスク・パスワードは 32 文字以内で入力してください。半角英数字とスペースを使用できます。アルファベットの 大文字、小文字は区別されますのでご注意ください。

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F2] キーを数回押す。  
パワーオン・パスワードを登録している場合は、「Enter Password」と表示されますので、登録済みのパワーオン・パスワードを入力して [Enter] キーを押してください。  
BIOS のセットアップ画面が表示されます。

3. キーボードの [←] または [→] キーで [Security] を選ぶ。

4. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Hard Disk Security Setting] を選び、[Enter] キーを押す。  
「Hard Disk Security」画面が表示されます。

5. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Change HDD Master Password] を選び、[Enter] キーを押す。  
パスワードの入力画面が表示されます。

6. 登録するパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。  
この操作を 2 回繰り返すと確認画面が表示されます。

7. [Enter] キーを押す。  
「Hard Disk Security」画面に戻ります。

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準 備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

8. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Change HDD User Password] を選び、[Enter] キーを押す。  
パスワードの入力画面が表示されます。
9. 登録するパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。  
この操作を2回繰り返すと確認画面が表示されません。
10. [Enter] キーを押す。
11. [ESC] キーを押す。  
BIOS のセットアップ画面に戻ります。
12. キーボードの [←] または [→] キーで [Exit] を選ぶ。
13. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す。  
確認画面が表示されます。

14. [Ok] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

#### ●ハードディスク・パスワードの変更

---

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F2] キーを数回押す。  
パワーオン・パスワードを登録している場合は、「Enter Password」と表示されますので、登録済みのパワーオン・パスワードを入力して [Enter] キーを押してください。  
BIOS のセットアップ画面が表示されます。
3. キーボードの [←] または [→] キーで [Security] を選ぶ。
4. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Hard Disk Security Setting] を選び、[Enter] キーを押す。

「Hard Disk Security」画面が表示されます。

5. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Change HDD Master Password] または [Change HDD User Password] を選び、[Enter] キーを押す。  
パスワードの入力画面が表示されます。
6. 現在登録されているパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。  
パスワードの入力画面が表示されます。
7. 新しく登録するパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。  
この操作を2回繰り返すと確認画面が表示されます。
8. [Enter] キーを押す。
9. [ESC] キーを押す。  
BIOSのセットアップ画面に戻ります。
10. キーボードの [←] または [→] キーで [Exit] を選ぶ。

11. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す。  
確認画面が表示されます。
12. [Ok] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

### ●ハードディスク・パスワードの削除

マスターパスワード、ユーザーパスワードの一方を削除すると、ハードディスク・パスワードの設定は解除されます。再度、マスターパスワード、ユーザーパスワードの両方を登録してください。

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUSのロゴマークが表示されたら、キーボードの [F2] キーを数回押す。  
パワーオン・パスワードを登録している場合は、「Enter Password」と表示されますので、登録済みのパワーオン・パスワードを入力して [Enter] キーを押してください。

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
[準備]
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

BIOS のセットアップ画面が表示されます。

**3.** キーボードの [←] または [→] キーで [Security] を選ぶ。

**4.** キーボードの [↑] または [↓] キーで [Hard Disk Security Setting] を選び、[Enter] キーを押す。

「Hard Disk Security」画面が表示されます。

**5.** キーボードの [↑] または [↓] キーで [Change HDD Master Password] または [Change HDD User Password] を選び、[Enter] キーを押す。

パスワードの入力画面が表示されます。

**6.** 現在登録されているパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

パスワードの入力画面が表示されます。

**7.** 何も入力せずに、[Enter] キーを押す。

確認画面が表示されます。

**8.** [Enter] キーを押す。

**9.** [ESC] キーを押す。  
BIOS のセットアップ画面に戻ります。

**10.** キーボードの [←] または [→] キーで [Exit] を選ぶ。

**11.** キーボードの [↑] または [↓] キーで [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す。  
確認画面が表示されます。

**12.** [OK] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

## 指紋認証を使用する

本機には、セキュリティ機能のひとつとして「指紋認証」が搭載されています。指紋認証を使用すれば、登録した指紋を指紋スキャナーでスキャンするだけで、Windows にログオンすることができます。

指紋認証の設定について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

### ご注意

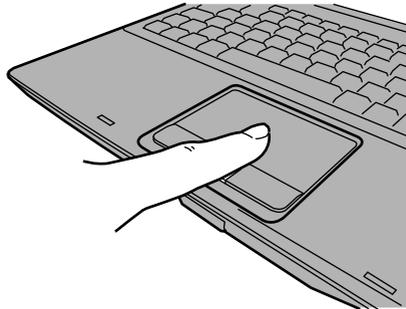
- 指紋認証技術は、完全な本人認証、照合を保証するものではありません。
- 指紋認証による保護機能は、完璧に保護できるという保証ではありません。本機の指紋認証を使用したことによる損害などにつきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### □ 指紋認証の操作方法

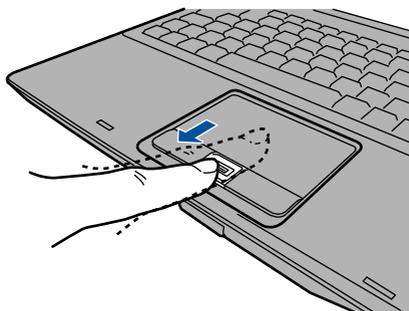
#### ● 指紋をスキャンする

指紋を登録するときや認証するときは、指紋スキャナーで登録した指紋をスキャンします。

1. スキャンする指の第一関節を指紋スキャナーの上に置く。



## 2. 指を手前にまっすぐ引く。



### ご注意

- 指の状態が以下のような場合、指紋を読み取れない場合があります。
  - － 乾燥している
  - － 濡れている
  - － ふやけている
  - － 荒れている、傷がある
  - － 汚れている
- スキャン中は指を指紋スキャナーから離さないでください。
- 指を動かすスピードが速すぎたり遅すぎたりすると、指紋を読み取れない場合があります。
- 指を斜めに動かすと、指紋を読み取れない場合があります。
- 指紋スキャナーが汚れていると、指紋を読み取れない場合があります。柔らかい布などで汚れを落としてください。

## TPM を使用する

本機には、「TPM (Trusted Platform Module)」と呼ばれるセキュリティを強化する機能が搭載されています。

### □ TPM 使用時の注意について

- TPM機能は、データやハードウェアの完全な保護を保証するものではありません。本機のTPM機能を使用したことによる損害などにつきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- TPMの初期化を行うときに設定したパスワードは忘れないようにご注意ください。念のためメモを取っておくことをおすすめします。ただし、メモを取った場合は他人に知られないように管理してください。パスワードを忘れた場合、TPMで保護されたデータを復元することはできなくなります。
- TPMに関するデータの保守、運用について、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### □ TPM を有効にする

BIOS のセットアップ画面で、TPM を有効に設定します。

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F2] キーを数回押す。  
BIOS のセットアップ画面が表示されます。
3. キーボードの [←] または [→] キーで [Security] を選ぶ。
4. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Trusted Computing] を選び、[Enter] キーを押す。

5. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。



6. キーボードの [←] または [→] キーで [Exit] を選ぶ。
7. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す。  
確認画面が表示されます。
8. [OK] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

□ TPM を初期化／設定をする

BIOS のセットアップ画面で、TPM を有効にした後は、TPM の初期化、設定を行います。

TPM の初期化、設定について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

## SmartLogon を使用する

本機には、セキュリティ機能のひとつとして「SmartLogon」という機能が搭載されています。SmartLogon を使用すれば、本機に搭載されている Web カメラと連動して、顔認証で Windows にログオンすることができます。Windows に設定したログオンパスワードを顔認証に置き換えられるため、どんなに長いパスワードを設定しても、Web カメラに顔を映すだけでログオンすることができます。

SmartLogon について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

### ご注意

- SmartLogon 機能は、完全な本人認証、照合を保証するものではありません。
- SmartLogon 機能による保護機能は、完璧に保護できるという保証はありません。本機の SmartLogon 機能を使用したことによる損害などにつきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

## CopyProtect を使用する

本機には、セキュリティ機能のひとつとして「CopyProtect」という機能が搭載されています。CopyProtect を使用すれば、USB メモリや各種メディア、また外付けハードディスクやネットワークドライブの利用を禁止することができます。禁止を解除するにはパスワードが必要なため、パスワードを知らない第三者にデータをコピーされる心配はありません。

CopyProtect について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

# インターネットに接続する

## インターネットについて

インターネットとは、地域や国をまたいでコンピュータ同士が接続されている、世界規模のコンピュータネットワークです。さまざまな規模のネットワーク同士がつながった「ネットワークのネットワーク」ともいえます。

インターネットに接続すると、以下のようなことを利用できるようになります。

### □ ホームページ

ホームページとは、さまざまな形態（文字、音、写真、動画など）で発信されている情報媒体です。Web サイト、Web ページなどと呼ぶ場合もあります。

ニュースや天気予報を確認する、動画や音楽を楽しむ、知りたい情報を調べる、買い物をする、などホームページにはその他にもさまざまな使いかた、楽しみかたがあります。

また、利用者自身がホームページを公開し、情報の発信元になることも可能です。

### □ 電子メール

インターネットに接続しているパソコン同士でメールのやり取りができます。メールソフト（メールをやり取りするためのソフトウェア）を利用すれば、文章を書いたり、送信したり、受信したりという操作を手軽に楽しめます。

### □ 電話サービス

インスタントメッセージ（ソフトウェア）の利用者同士で、無料の音声通話、ビデオ通話、チャット（文字会話）などを楽しめます。

- インターネットオークション  
インターネットを利用したオークションに参加して、入札して出品物を購入したり、自身の所有物を出品したりすることができます。
- インターネットバンキング／株式取引  
銀行のホームページや証券会社のホームページから、セキュリティで保護された利用者自身のページを開き、振込みなど銀行の取引や、株の取引などをすることができます。

## インターネットを利用するには

### □ プロバイダとの契約

インターネットを利用するには、まずインターネット接続サービスを提供する会社と契約をしなければなりません。このようなサービスを提供する会社を、プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ（ISP）など呼びます。多数あるプロバイダの中から利用条件に合ったプロバイダを選び、契約してください。

契約完了後、プロバイダからインターネット接続用の機器などが送られてきます。資料や取扱説明書をご覧ください、指示に従って設定してください。

### ご注意

- ・ 接続料金や接続サービスの内容はプロバイダによって異なります。
- ・ インターネット接続用の回線が用意されている建物（マンションなど）の場合、指定のプロバイダと契約しなくてはならない場合があります。

はじめに お読みください
安全規制 安全上の注意
本体各部の名称
【準備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

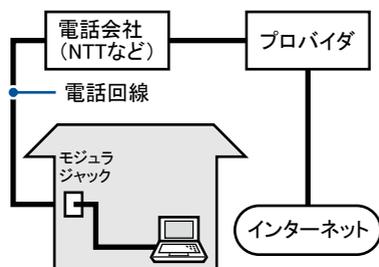
## □ インターネットの接続方法

インターネットの接続方法は複数あります。プロバイダによって提供している接続方法の種類が異なりますのでご注意ください。サービス内容について詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

### ● 一般電話回線

一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。

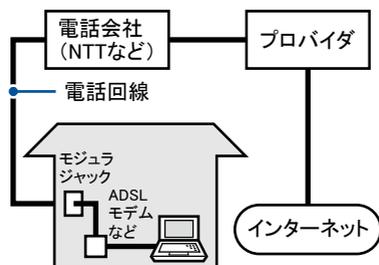
通信速度が低いので、文字だけの電子メールをお使いになる場合などに適しています。本機にはモデムが内蔵されており、電源ケーブルが付属されていますので、他に接続用の機器を用意する必要はありません。



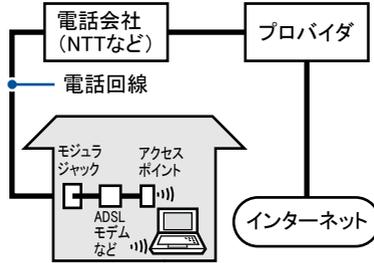
### ● ADSL

一般の電話回線を使って高速通信、常時接続でインターネットに接続します。

通信速度はFTTH（光）よりは劣りますが、料金が比較的に安いのでバランスの取れた接続方法といえます。また、電話回線を使用するため、導入しやすいサービスともいえます。



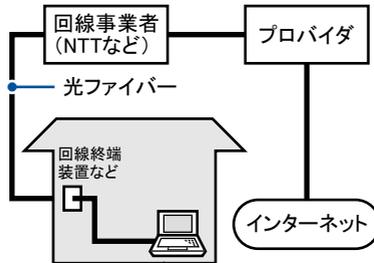
アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）を別途用意し、無線 LAN 接続することも可能です。



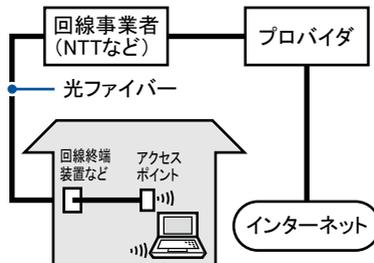
### ● FTTH (光)

光ファイバーケーブルの回線を使って高速通信、常時接続でインターネットに接続します。

通信速度が高いため、動画配信サービスを受けるときや容量の大きいファイルをやり取りする場合などに適しています。



アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）を別途用意し、無線 LAN 接続することも可能です。

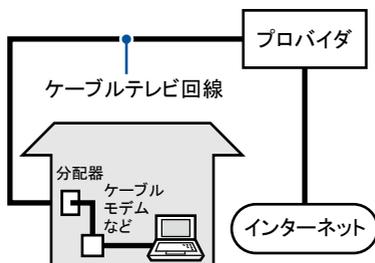


はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
[ 準 ]
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

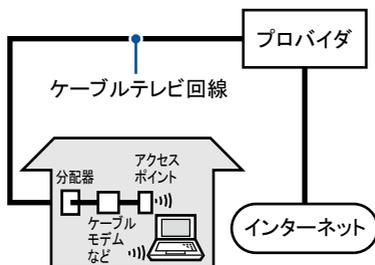
## ●CATV（ケーブルテレビ）インターネット

ケーブルテレビの回線を使って高速通信、常時接続でインターネットに接続します。

通信速度はケーブルテレビ事業者によって異なりますが、ADSL や FTTH（光）と同等の速度を得られます。すでにケーブルテレビのサービスを利用している場合には導入しやすい接続方法です。



アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）を別途用意し、無線 LAN 接続することも可能です。



## ●モバイル

携帯電話や PHS の回線を使って、データ通信サービスでインターネットに接続します。

多様なサービスがありますので、詳しくは各回線事業者にお問い合わせください。

### ご注意

本機は ISDN 回線には接続できません。

## ヒント

- ・ ケーブルの接続方法について詳しくは、「インターネット接続用の機器をつなぐ」(47 ページ) をご覧ください。
  - ・ プロバイダから送られてきたインターネット接続用の機器の接続方法、設定方法について詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
  - ・ 本機の無線 LAN 機能を使用するときは、無線スイッチをオンにしてください。無線スイッチの場所については、「本体各部の名称」－「前面」(34 ページ) をご確認ください。
  - ・ 本機の無線 LAN 接続の設定方法について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。
  - ・ アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）の接続方法、設定方法について詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- インターネットに接続できないときは  
インターネットに接続できないときは、以下の項目をご確認ください。

### ● プロバイダとの契約

プロバイダ（インターネット接続サービスを提供する会社）との契約がきちんと完了している必要があります。プロバイダから接続するための情報や接続機器が送られてきていることをご確認ください。

### ● ケーブル類の接続状態

接続ケーブル（電話ケーブルやイーサネットケーブル）がきちんと接続されていることをご確認ください。

ケーブルの接続方法について詳しくは、「インターネット接続用の機器をつなぐ」(47 ページ) をご覧ください。

接続用の機器（プロバイダから支給された機器、ご自身で用意された機器など）の接続方法について詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## ● 接続機器の設定

---

接続用の機器（プロバイダから支給された機器、ご自身で用意された機器など）の設定がきちんと完了していることをご確認ください。

設定方法について詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

## ● 無線 LAN 接続の設定（無線 LAN 接続の場合）

---

無線スイッチがオンになっていることをご確認ください。

無線スイッチの場所については、「本体各部の名称」－「前面」（34 ページ）をご覧ください。

本機の無線 LAN 接続の設定方法について詳しくは、付属の『ソフトウェア活用ブック』をご覧ください。

アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）の設定方法について詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

---

## インターネット接続における危険性

インターネットの接続を完了すると、パソコンは世界中のネットワークとつながります。その瞬間から、悪意のある第三者がネットワークを経由してアクセスしてくる可能性がある、ということを認識しなくてはなりません。本機を安心してお使いになるために、必ずセキュリティの設定を行ってください。

インターネット接続における危険性やセキュリティの設定について詳しくは、「セキュリティを設定する」（103 ページ）をご覧ください。

# 保守・メンテナンス

## メモリを増設する

本機はお買い上げ時の状態で、2GB（2GB×1）のメモリが搭載されています。本機にはメモリスロットが2つあり、最大4GB（2GB×2）までメモリを増設できます。ただし、プリインストールされている32bitOSが使用可能な領域は最大3GBです。

### □ メモリ増設時の注意について

- メモリモジュールの取り外し方や取り付け方を誤ると、本機の故障の原因になります。専門知識が必要な作業ですので、お買い上げ店などに作業を依頼されることをおすすめします。
- メモリ増設作業は、本機の電源を切って1時間ほどおいてから行ってください。電源を切つてすぐは本機内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品などの角で手や指をけがしないようにご注意ください。
- 本機内部の基板や電子部品には手を触れないでください。故障の原因になります。
- 本機内部に異物（液体や金属など）が入ったまま電源を入れないでください。発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてから電源を入れてください。
- メモリ増設による以下のような事故や故障については、すべて保証対象外になりますのでご注意ください。
  - 静電気によるマザーボードの損傷およびASUS純正メモリモジュールの損傷
  - ネジの紛失
  - メモリスロットの破損
  - メモリ相性による動作の不具合

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

- ・ 本機が休止状態やスリープ状態のときにメモリ増設作業を行うと、データの消失や故障の原因になります。
- ・ 市販のメモリに関するご不明な点などは、メモリの販売元にご確認ください。

#### □ メモリモジュールを取り外す／取り付ける

お買い上げ時に取り付けられているメモリモジュールを取り外し、容量の大きいメモリモジュールを取り付けます。

#### ご注意

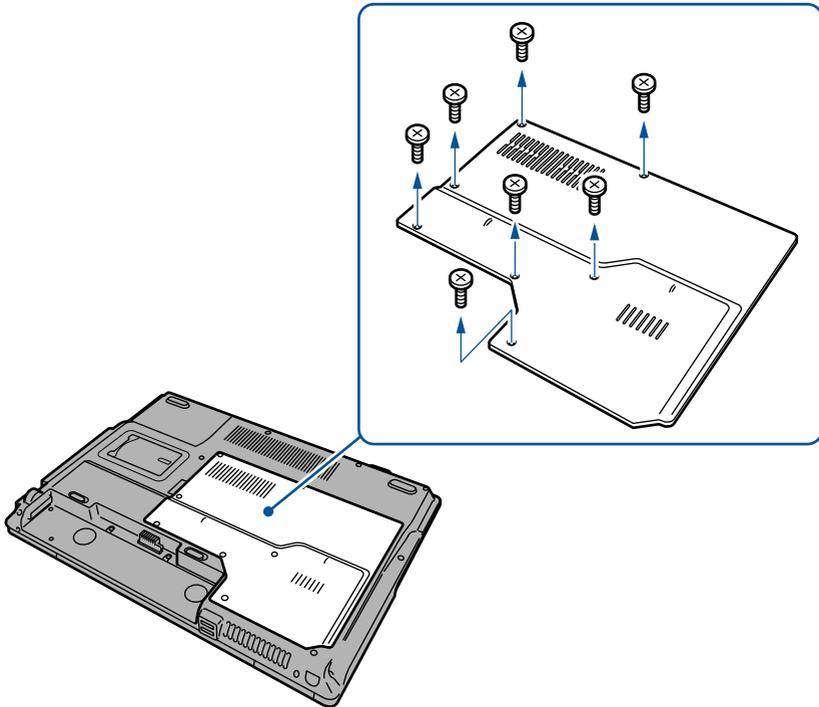
- ・ 電源コード、バッテリー、およびすべての周辺機器を取り外した状態で作業を行ってください。電源コード、バッテリーを接続したままで作業を行うと、メモリモジュールや本機が破損する場合があります。
- ・ メモリモジュールを取り扱うときは静電気にご注意ください。静電気による破損を防ぐために、次のことをお守りください。
  - － 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上等）で作業しないでください。
  - － 体から静電気を逃がすため、本機の金属部分に触れてからメモリモジュールを取り扱ってください。ただし本機内部の金属部分には触れないでください。
  - － メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り扱う直前まで袋から出さないでください。
- ・ メモリモジュールを取り扱うときは、半導体やコネクタ部分に触れないようにご注意ください。
- ・ 取り外した ASUS 純正のメモリモジュールは、必ずお客様にて保管してください。また、使用しないメモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1. 本機と周辺機器の電源を切り、電源コード、バッテリーパック、およびすべての接続ケーブルを取り外す。

**ヒント**

バッテリーパックの取り外しかたについては、「バッテリーパックの取り外しについて」（173 ページ）をご覧ください。

2. ディスプレイを閉じ、本機を裏返して安全な場所に置く。
3. 本機底面のネジ（7 か所）をドライバーで取り外し、保管する。

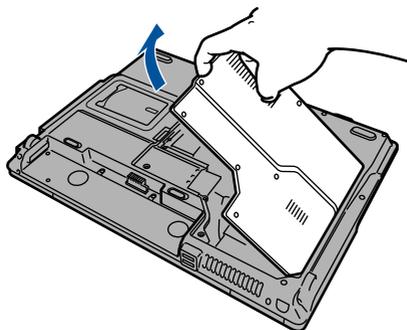


はじめに お読みください	安全規制 安全上の注意	本体各部の名称	【準 備】	パソコンを使う	セキュリティを 設定する	インターネットに 接続する	保守・ メンテナンス	困ったときには	その他の情報
-----------------	----------------	---------	-------	---------	-----------------	------------------	---------------	---------	--------

## ご注意

- 取り外したネジをなくさないようにご注意ください。
- ドライバーはネジのサイズに合ったものをお使いください。
- 指示以外の場所のネジを外さないでください。本機の故障の原因になります。

### 4. カバーをゆっくり引き上げて取り外す。



### 5. 本機の金属部分に触れて体内の静電気を逃がす。

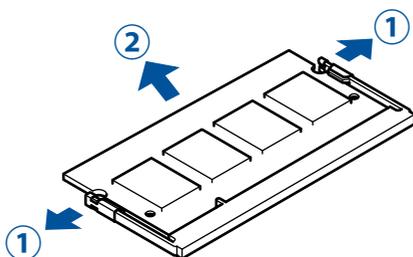
本機内部の金属部分には触れないでください。

### 6. スロットに取り付けられているメモリモジュールを取り外す。

#### ① メモリモジュールを固定している両サイドのタブを広げる。

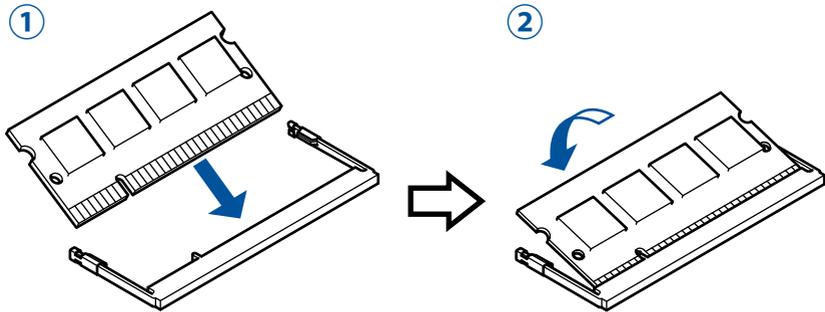
固定が解除され、メモリモジュールが少し浮き上がります。

#### ② 矢印の方向に引き抜く。



7. 本機の金属部分に触れて体内の静電気を逃がす。  
本機内部の金属部分には触れないでください。
8. 新しいメモリモジュールを静電気防止袋から取り出し、スロットに取り付ける。

- ① メモリモジュールの切り欠き部分とスロットの凸部分を合わせて、奥までしっかりと差し込む。
- ② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向に押し倒す。  
メモリモジュールが固定されます。  
倒れにくいときは、再度①を行ってください。



### ご注意

- ・ メモリモジュール以外の部分には触れないでください。
- ・ メモリモジュールを差し込む方向を間違えないよう、切り欠き部分の位置にご注意ください。
- ・ メモリモジュールがきちんと取り付けられていないと、パソコンが起動しないなど、動作が不安定になる場合があります。

9. カバーを取り付け、ネジ（7か所）をドライバーでしっかりと締める。
10. 電源コードやバッテリーなどを取り付け、本機の電源を入れる。



#### 4. 「システム」の「メモリ (RAM)」の項目を確認する。



数値が交換後の搭載容量になっていれば、メモリの増設は完了です。搭載容量が増えていない場合は、再度、取り外しと取り付けの手順をやり直してください。

#### ヒント

Windows を起動しなくても、BIOS の画面でメモリの搭載容量を確認できます。

本機の電源を入れて数秒後に、ASUS のロゴマークが表示されます。そのときに、キーボードの [F2] キーを数回押すと、BIOS 画面が表示されます。

「Main」画面の [System Memory] の [Size] に表示されている数値が、メモリの搭載容量です。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## データをバックアップする

### □ バックアップとは

バックアップとは、パソコンに保存されているデータを、パソコンとは別の場所（外付けのハードディスクや各種メディアなど）にコピーして保存することです。パソコンが予想外のトラブルなどで起動しなくなってしまうと、保存していたデータを救い出すことができなくなる場合があります。また救い出せたとしても、ファイルが破損していることなどもあります。このような場合でもデータを元に戻せるように、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

### □ バックアップする

「バックアップと復元センター」という機能を使って、本機に保存したデータを、本機とは別の場所（外付けのハードディスクや各種メディアなど）にバックアップします。

1.  (スタート) ボタン - [すべてのプログラム] - [メンテナンス] - [バックアップと復元センター] をクリックする。  
「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

2. [ファイルのバックアップ] をクリックする。



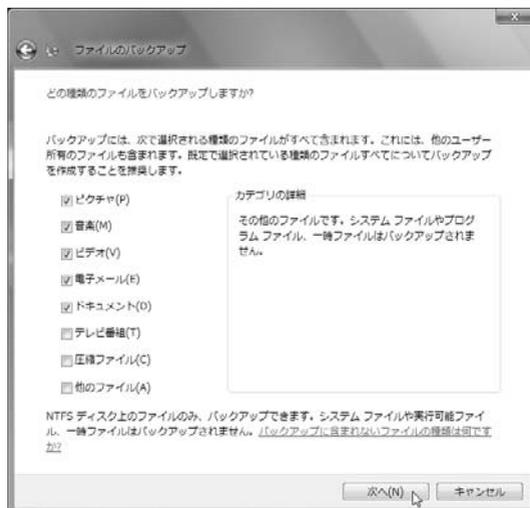
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行] をクリックしてください。

「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

### 3. バックアップデータの保存先を指定し、[次へ] をクリックする。



### 4. バックアップするファイルの種類を選び（チェックボックスにチェックマークを付け）、[次へ] をクリックする。



はじめに  
お読みください

安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準 備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定する

インターネットに  
接続する

保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

5. 日時を設定して定期的に自動バックアップを実行したい場合は、スケジュール（頻度、日、時刻）を設定する。

定期的な自動バックアップを実行しない場合は、そのまま次の手順に進んでください。

6. 「設定を保存しバックアップを開始」をクリックする。



バックアップが開始されます。

定期的な自動バックアップを実行する場合は、これで完了です。

定期的な自動バックアップを実行しない場合は、次の手順に進んでください。

7. 「バックアップと復元センター」画面の「ファイルのバックアップ」の下の「設定の変更」をクリックする。



「バックアップの状態と構成」画面が表示されます。

## 8. 画面下部の「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側の「無効にする」をクリックする。



「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

定期的な自動バックアップを実行しない場合は、これで完了です。以降は、「バックアップと復元センター」画面で [ファイルのバックアップ] をクリックするだけで、同様の設定でバックアップが実行されます。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【準備】

インターネットに接続する

セキュリティを設定する

インターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続する

□ バックアップしたデータを復元する

バックアップしたデータを、本機にコピーします。

1.  (スタート) ボタン – [すべてのプログラム] – [メンテナンス] – [バックアップと復元センター] をクリックする。  
「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

2. [ファイルの復元] をクリックする。

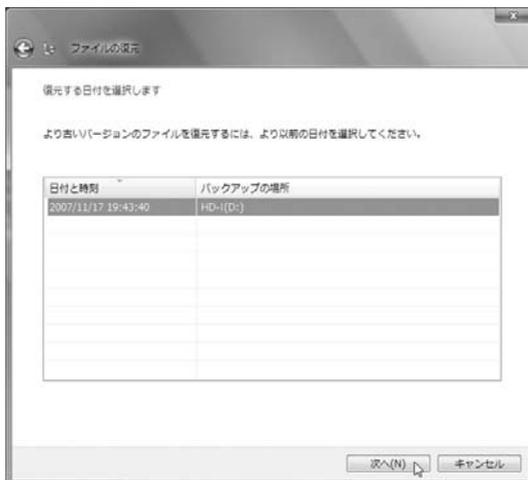


「ファイルの復元」画面が表示されます。

3. 復元したいバックアップデータの作成日を指定し、[次へ] をクリックする。



[古いバックアップのファイル] を選んだ場合は、表示される画面の [日付と時刻] から復元したいバックアップファイルの日付を選んで [次へ] をクリックしてください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【備】

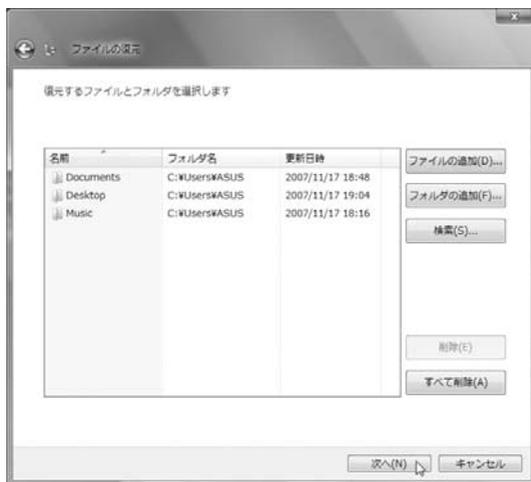
パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

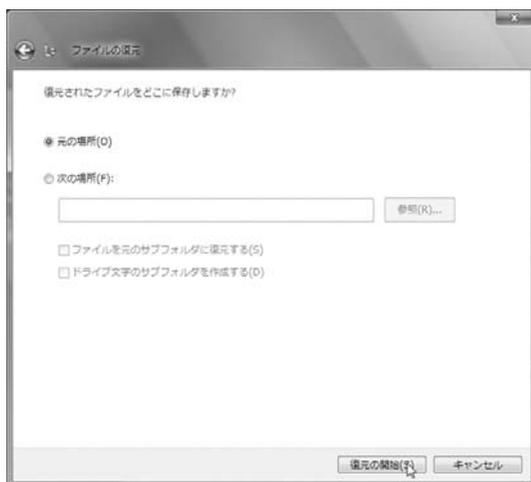
困ったときには

その他の情報

4. 復元するバックアップデータを指定し、[次へ] をクリックする。



5. 復元するバックアップデータの保存先を指定し、[復元の開始] をクリックする。



復元が実行されます。復元が完了すると、正常に復元されたことを確認するメッセージが表示されます。

## 6. [完了] をクリックする。



### ヒント

市販のバックアップソフトでも同様の作業を行うことができます。

## システムの復元をする

### □ システムの復元とは

システムの復元とは、現在のシステム状態を捨てて、過去のある時点のシステム状態に戻すことです。過去のある時点に「復元ポイント」と呼ぶポイントを設定しておけば、いつでもその時点のシステム状態に戻すことができます。

### □ 復元ポイントを作成する

Windows の設定を変更したり、新たにソフトウェア（ドライバソフトなど）をインストールしたりした後に、パソコンに不具合が起きる場合があります。そこで、このような作業をするときは、作業前に「復元ポイント」を作成しておくことをおすすめします。「復元ポイント」を作成しておけば、作業後にもし不具合が起きてしまった場合でも、作業前の状態（復元ポイントを作成したときの状態）に戻すことができます。

1.  (スタート) ボタン – [すべてのプログラム] – [メンテナンス] – [バックアップと復元センター] をクリックする。  
「バックアップと復元センター」画面が表示されます。
2. 画面左側のタスクから [復元ポイントの作成または設定の変更] をクリックする。



「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行] をクリックしてください。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

### 3. [システムの保護] タブが選択されていることを確認する。



### 4. [自動復元ポイント] で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスをクリックしてチェックマークを付ける。

### 5. [作成] をクリックする。

「システムの保護」画面が表示されます。

### 6. 復元ポイントを識別するためのキーワードを入力し（例：ネットワーク設定変更前）、[作成] をクリックする。



復元ポイントの作成が開始されます。作成が完了すると、正常に作成されたことを確認するメッセージが表示されます。

はじめに  
お読みください安全規則  
安全上の注意

本体各部の名称

【準  
備】

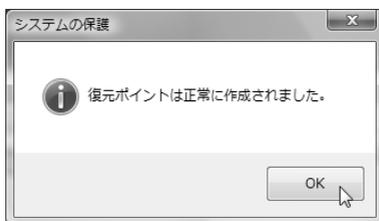
パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## 7. [OK] をクリックする。



「システムのプロパティ」画面の [自動復元ポイント] の [最新の復元ポイント] の日時が更新されます。

### □ 復元ポイントの状態に戻す (Windows が起動する場合)

#### 1. (スタート) ボタン – [すべてのプログラム] – [メンテナンス] – [バックアップと復元センター] をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

#### 2. 画面左側のタスクから [復元ポイントの作成または設定の変更] をクリックする。



「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行] をクリックしてください。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3. [システムの保護] タブが選択されていることを確認する。



4. [システムの復元] をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。

5. [別の復元ポイントを選択する] を選び、[次へ] をクリックする。



はじめに  
お読みください

安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定する

インターネットに  
接続する

保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

6. 一覧から使用する復元ポイントを選び、[次へ] をクリックする。



7. 選んでいる復元ポイントが間違いないことを確認し、[完了] をクリックする。

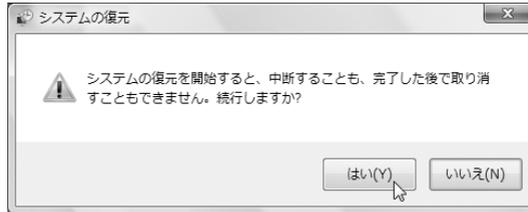


実行を確認するメッセージが表示されます。

## 8. [はい] をクリックする。

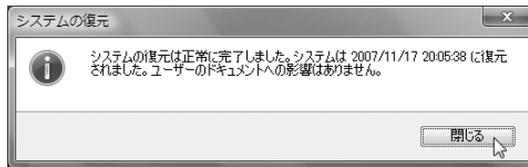
### ご注意

[はい] をクリックすると本機は自動的に再起動します。



システムの復元が開始され、本機は自動的に再起動します。再起動後、正常に復元されたことを確認するメッセージが表示されます。

## 9. [閉じる] をクリックする。



### □ 復元ポイントの状態に戻す (Windows が起動しない場合)

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F8] キーを数回押す。  
「詳細ブート オプション」画面が表示されます。
3. [コンピュータの修復] を選び、[Enter] キーを押す。
4. コンピュータの管理者のユーザー名とパスワードを入力する。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## 5. [システムの復元] をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。

## 6. [別の復元ポイントを選択する] を選び、[次へ] をクリックする。



## 7. 一覧から使用する復元ポイントを選び、[次へ] をクリックする。



8. 選んでいる復元ポイントが間違いないことを確認し、[完了] をクリックする。

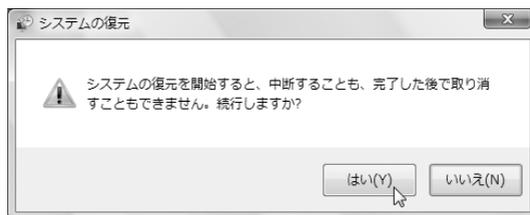


実行を確認するメッセージが表示されます。

9. [はい] をクリックする。

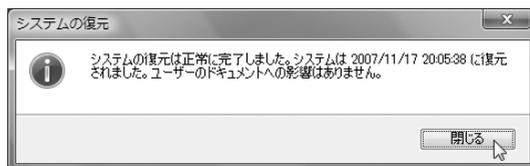
### ご注意

[はい] をクリックすると本機は自動的に再起動します。



システムの復元が開始され、本機は自動的に再起動します。再起動後、正常に復元されたことを確認するメッセージが表示されます。

10. [閉じる] をクリックする。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## Windows をお買い上げ時の状態に戻す（リカバリ）

### □ リカバリとは

本機をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。

本機の動作が不安定になったときに、原因と思われるソフトウェアを削除したり、「システムの復元」を実行しても不具合が解消されない場合は、リカバリを実行して本機をお買い上げ時の状態に戻します。ただし、リカバリ後は保存していたデータなどはすべて消去されますので、ご注意ください。

リカバリは、ハードディスクのリカバリ領域、または付属の「Recovery DVD」から実行します。リカバリ領域とは、リカバリを実行するために必要なデータが収められているハードディスク内の領域のことです。この領域のパーティション情報を変更したり、消去したりすると、ハードディスクからのリカバリが実行できなくなりますのでご注意ください。

### □ リカバリに関する注意について

- ご自分でインストールしたソフトウェアや、お買い上げ後に作成、保存したデータは復元できません。リカバリを実行する前に、必ずバックアップしてください。
- ご自分で変更された設定は、すべてお買い上げ時の状態に戻ります。リカバリ後に再度設定してください。
- パーティションを操作するようなプログラムをインストールすると、リカバリ領域からのリカバリができなくなる場合があります（「Recovery DVD」からのリカバリは可能です）。
- リカバリを実行するときは、周辺機器をすべて外してください。リカバリ後に再度接続してください。
- リカバリを実行するときはAC電源を使用してください。途中で電源が切れると、故障の原因になります。

- ・ 「Recovery DVD」からのリカバリは緊急時に行ってください。通常は、ハードディスクのリカバリ領域から行ってください。「Recovery DVD」からリカバリを行うと、一部のプレインストールソフトが以下のような状態になります。
  - NIS2008：英語表記になります。
  - Adobe Reader 8：英語版がインストールされます。
- ・ リカバリ中に問題が発生した場合は、コールセンターまでお問い合わせください。
- ・ ハードディスクのリカバリ領域の復旧をご希望の場合は、コールセンターまでお問い合わせください（有償対応）。

#### □ リカバリ領域からリカバリする

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F9] キーを数回押す。  
「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。
3. [Enter] キーを押す。  
「ASUS Preload Wizard」画面が表示されます。
4. 表示内容を確認し、[Next] をクリックする。
5. パーティションオプションを選び、[Next] をクリックする。  
以降は画面の指示に従ってリカバリを完了させてください。パーティションオプションについて詳しくは、以下をご覧ください。

- Recover Windows to first partition only.

1 つ目のパーティション（パーティション C 部分）のみを削除し、リカバリします。他のパーティションはそのまま残します。

- Recover Windows to entire HD.

ハードディスクドライブからすべてのパーティションを削除し、新しいシステムパーティション「C」を作成します。

- Recover Windows to entire HD with 2 partition.

ハードディスクドライブからすべてのパーティションを削除し、新しいシステムパーティション「C」（60%）と「D」（40%）を作成します。

### ヒント

最新のドライバソフトやユーティリティについては、ASUS の Web サイトでご確認ください。ASUS の Web サイトについて詳しくは、「ASUS の Web サイトについて」（3 ページ）をご覧ください。

#### □ 「Recovery DVD」 からリカバリする

1. 本機の電源が入っている状態で、ドライブに「Recovery DVD」を入れて電源を切り、再度電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [Esc] キーを数回押す。  
ブートデバイスを選択する画面が表示されます。
3. キーボードの [↑] または [↓] キーで [CD/DVD] を選び、[Enter] キーを押す。  
「ASUS Preload Wizard」画面が表示されます。
4. 表示内容を確認し、[Next] をクリックする。

- 5.** パーティションオプションを選び、[Next] をクリックする。  
以降は画面の指示に従ってリカバリを完了させてください。途中でドライバCDの挿入を要求するメッセージが表示された場合は、付属の「M51Sn driver CD」を挿入してください。  
パーティションオプションについて詳しくは、以下をご覧ください。

- Recover Windows to first partition only.

1つ目のパーティション（パーティションC部分）のみを削除し、リカバリします。他のパーティションはそのまま残します。

- Recover Windows to entire HD.

ハードディスクドライブからすべてのパーティションを削除し、新しいシステムパーティション「C」を作成します。

- Recover Windows to entire HD with 2 partition.

ハードディスクドライブからすべてのパーティションを削除し、新しいシステムパーティション「C」（60%）と「D」（40%）を作成します。

## 警告

**リカバリ中に本機の電源を切ったり、「Recovery DVD」を取り出したりしないでください。故障の原因になります。**

## ヒント

最新のドライバソフトやユーティリティについては、ASUSのWebサイトでご確認ください。ASUSのWebサイトについて詳しくは、「ASUSのWebサイトについて」（3ページ）をご覧ください。

## BIOS を設定する

### □ 起動デバイスを設定する

本機の起動デバイスの優先順位を設定できます。

1. 本機の電源を入れる。
2. ASUS のロゴマークが表示されたら、キーボードの [F2] キーを数回押す。  
BIOS のセットアップ画面が表示されます。
3. キーボードの [←] または [→] キーで [Boot] を選ぶ。
4. キーボードの [↑] または [↓] キーで [Boot Device Priority] を選び、[Enter] キーを押す。



5. 各順位で [Enter] キーを押し、キーボードの [↑] または [↓] キーでデバイスを選び、[Enter] キーを押す。



6. [F10] キーを押す。  
確認画面が表示されます。

7. [Ok] が選ばれていることを確認し、[Enter] キーを押す。

#### □ セキュリティを設定する

BIOS 画面で、パワーオン・パスワードとハードディスク・パスワードを設定できます。Windows パスワードと合わせて設定すれば、より強固なセキュリティで本機を保護することができます。

BIOS 画面でのセキュリティ設定について詳しくは、「パワーオン・パスワードを設定する」(117 ページ)、「ハードディスク・パスワードを設定する」(125 ページ) をご覧ください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## お手入れについて

### □ 本機のお手入れについて

- お手入れをするときは、本機の電源を切り、ACアダプタとバッテリーを取り外してください。
- 汚れを落とすときは、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のクリーナーやベンジン、アルコール、シンナーなどは、本機の表面処理を傷めますので使わないでください。
- キーボードの隙間のほこりなどは、市販のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。
- 掃除機などで吸引すると故障の原因になります。
- キーボードのキートップは外さないでください。

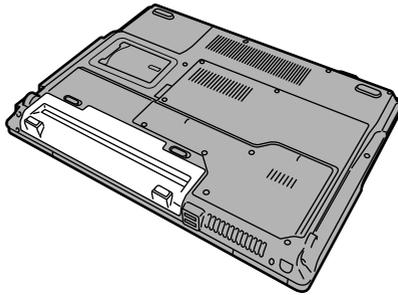
### □ 液晶ディスプレイのお手入れについて

- 液晶ディスプレイの表面には触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず付属のクリーニングクロスで軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに付属のクリーニングクロスで水気を拭き取ってください。
- 市販のクリーナーやベンジン、アルコール、シンナーなどは、液晶の表面を傷めますので使わないでください。
- 使用後のクリーニングクロスはきれいにして保管してください。

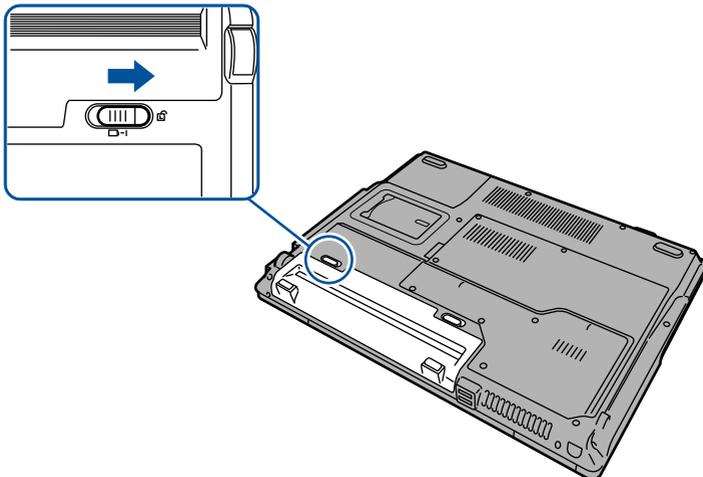
## □ バッテリパックの取り外しについて

バッテリーパック取り扱い時の注意事項については、「バッテリーの取り扱いについてのご注意」(191 ページ) をご覧ください。

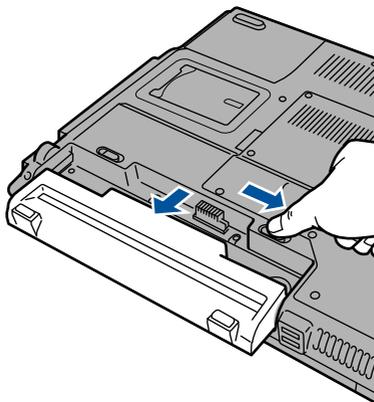
1. 本機の電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタ、またすべての周辺機器を取り外す。
2. ディスプレイを閉じた状態の本機を、底面を上にして安全な場所に置く。



3. バッテリロック (手動式) を解除側 (🔓) にスライドさせる。



4. バッテリロック（バネ式）を解除側（）にスライドさせたまま、バッテリーパックを水平にゆっくり引き抜く。



#### ヒント

バッテリーパックの取り付けかたについては、「バッテリーパックを取り付ける」（44 ページ）をご覧ください。

#### □ ディスクのお手入れについて

- ディスクの読み取り面がきれいな状態で光学ドライブに入れてください。汚れがあると、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。
- ディスクの読み取り面は、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷める場合がありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、エアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。

## 廃棄時の注意について

パソコンを廃棄するときには、保存されている重要なデータを消去する必要があります。データを消去する場合、通常はデータを「ごみ箱」に捨てて空にする、初期化（フォーマット）する、リカバリしてお買い上げ時の状態に戻す、など行います。

これらの作業を行えばデータが完全に消去されたように見えますが、実は大元のデータはまだ残っているのです。そのため、データ回復機能を備えた特殊なソフトウェアを利用すれば、消去したはずのデータを吸い上げることが可能な場合があります。このように、悪意のある第三者によって、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するためには、保存されている全データを、ご自分の責任で完全に消去する必要があります。

不明な点その他お困りのことが起きたときは、コールセンターまでお問い合わせください。

はじめに	お読みください
安全規制	安全上のご注意
本体各部の名称	
【準】	
パソコンを使う	
セキュリティを 設定する	
インターネットに 接続する	
保守・ メンテナンス	
困ったときには	
その他の情報	

## 困ったときには

本機をご使用中に不具合が起きたときは、以下のいずれかの方法で解決方法を調べてください。

**取扱説明書（本書）で調べる**

まずは、本書の「トラブルシューティング」（177 ページ）をご覧ください。

**インターネットで調べる**

ASUS サポートのサイトをご覧ください。

詳しくは、「お問い合わせ先」（185 ページ）をご覧ください。

**メールで問い合わせる**

ASUS テクニカルメールサポートへ不具合の内容をご連絡ください。

詳しくは、「お問い合わせ先」（185 ページ）をご覧ください。

**電話で問い合わせる**

どうしても不具合が解消されないときや、修理をご依頼の場合はコールセンターにお電話ください。

詳しくは、「お問い合わせ先」（185 ページ）をご覧ください。

## トラブルシューティング

よくある不具合と解決方法は以下のとおりです。なお、トラブルシューティングで不具合が改善しない場合は、コールセンターまでお問い合わせください。

### □ 電源に関する不具合

#### ● 電源が入らない。

- ・ バッテリーパックが正しく装着されているか確認してください。
- ・ 本機と AC アダプタ、AC アダプタと電源ケーブル、電源ケーブルとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。
- ・ 通常の操作で電源を切らなかった場合、内部のプログラムが正常に動作していない可能性があります。AC アダプタとバッテリーパックを取り外して1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。
- ・ 本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。寒いところから暖かいところへ急に移動したり、湿度の高い場所（80%以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。
- ・ 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、コールセンターにお問い合わせください。

#### ● 電源が切れない。

- ・ 使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- ・ ネットワークに接続していたり、USB 機器などの周辺機器が接続されているときは、すべて取り外してください。Windows Vista は、ネットワーク通信や周辺機器とのやり取りを行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。
- ・ 「設定を保存しています」または「Windows をシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Del] キーを押してください。

- 上記の操作を行っても電源が切れない場合は、[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Del] キーを押し、画面右下の  をクリックしてください。それでも回復しない場合は、本機の電源ボタン (  ) を 4 秒以上押し続けたままにしてください。それでも回復しない場合は、AC アダプタとバッテリーパックを外してください。

#### ●電源が勝手に切れる。

---

- バッテリーで本機を使用中にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。AC アダプタで使用するか、バッテリーを充電してください。

#### ●電源は入っているが画面に何も表示されない。

---

- 外部ディスプレイに表示が切り換えられている可能性があります。[Fn] キー +  キー ([F8] キー) を押して、本機と外部ディスプレイの表示を切り換えてください。[Fn] キー +  キーを押すたびに、「本機の液晶ディスプレイ」→「外部ディスプレイ」→「両方」→「本機の液晶ディスプレイ」→・・・と表示が切り換わります。
- メモリモジュールの交換が正しく行われていない場合は、起動できないことがあります。メモリの増設などを行った場合は、メモリモジュールの取り付け直しを行ってください。
- 本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1 時間ほど待ってから電源を入れ直してください。寒いところから暖かいところへ急に移動したり、湿度の高い場所 (80%以上) でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。
- 上記の操作を行っても画面に何も表示されない場合は、本機の電源ボタン (  ) を 4 秒以上押し続けたままに電源を切り、再度電源を入れ直してください。それでも回復しない場合は、AC アダプタとバッテリーパックを取り外して 1 分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直してください。

## □ パスワードに関する不具合

## ● Windows パスワード（ユーザーアカウントのパスワード）を忘れた。

- ・ パスワードの大文字と小文字は区別されます。よく確認しながら再度入力してください。
- ・ パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー（Administrators に属するユーザー）が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

## ● パワーオン・パスワードを忘れた。

- ・ パワーオン・パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
- ・ ユーザーパスワードを忘れた場合は、スーパーバイザーパスワードを入力することで、BIOS セットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- ・ スーパーバイザーパスワードを忘れた場合は、パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となりますので、コールセンターまでお問い合わせください。

## ● ハードディスク・パスワードを忘れた。

- ・ ハードディスク・パスワードを忘れると、本機の起動やハードディスク内のデータ使用ができなくなります。
- ・ ユーザーパスワードを忘れた場合は、マスターパスワードを入力することで、BIOS セットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。ユーザーパスワードを再設定できれば、ハードディスク内のデータを使用できるようになります。再設定できないと、本機を起動することもできなくなり、光学ドライブなど、他のドライブから起動することもできません。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

- ・ マスターパスワードを忘れた場合は、パスワード設定を解除することができなくなります。ハードディスク内のデータはすべて失われます。コールセンターまでお問い合わせください。

## □ ディスプレイに関する不具合

### ● 画面に何も表示されない。

---

- ・ 本機の電源が入っているか確認してください。
- ・ ディスプレイの電源が切れている場合があります。タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。
- ・ 外部ディスプレイに表示が切り換えられている可能性があります。[Fn] キー +  /  キー ([F8] キー) を押して、本機と外部ディスプレイの表示を切り換えてください。[Fn] キー +  /  キーを押すたびに、「本機の液晶ディスプレイ」→「外部ディスプレイ」→「両方」→「本機の液晶ディスプレイ」→・・・と表示が切り換わります。
- ・ スリープモードに移行している可能性があります。キーボードのいずれかのキーを押してください。ご使用中に低電力状態へ移行しないように設定することもできます。
- ・ 休止状態に移行している可能性があります。本機の電源ボタン () を押してください。ご使用中に低電力状態へ移行しないように設定することもできます。

### ● 画面が固まって動かない。

---

- ・ [Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Del] キーを押し、[タスク マネージャの起動] をクリックしてください。「Windows タスク マネージャ」画面で、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択して [タスクの終了] をクリックしてください。
- ・ [Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Del] キーを押し、画面右下の  をクリックしてください。本機の電源が切れたあと、約 30 秒後に本機の電源ボタン () を押して、再度電源を入れてください。

- 上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の電源ボタン (⏻) を4秒以上押して電源を切ってください。

### ● 画面が暗い。

- [Fn] キー + [☀️] キー ([F5] キー)、[Fn] キー + [⚙️] キー ([F6] キー) を押すと、液晶ディスプレイの輝度を調節できます。

### ● 画像が乱れる。

- 近くに磁気を発生するもの（ラジオなど）や磁気を帯びているものがある場合は、本機から離してください。

### ● 色がきれいに表示されない。

- 一度シャットダウンしてから、本機の電源ボタン (⏻) を押して、再度電源を入れてください。
- 画像を扱うソフトウェアによっては、色の設定を勝手に変更してしまうものがあります。ソフトウェアの色の設定をご確認ください。場合によっては、画面設定の項目を無効にしてください。

### ● 液晶画面上に光る点や黒い点がある。

- 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶ディスプレイは構造上、画面の一部にごくわずかの「点灯しない画素」や「常時点灯する画素」がある場合があります。また見る角度によって、すじ状のむらが見える場合があります。

状態によっては保証の対象になる場合があります。詳しくは「TFT LCD 不良品に関するポリシー」(227 ページ) をご覧ください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## □ 文字入力に関する不具合

### ● 押したとおりの文字が入力されない。

---

- ・ 日本語入力モードと英字入力モードのどちらが選ばれているか確認してください。日本語入力モードと英字入力モードは、[半角/全角] キーで切り換えられます。
- ・ Caps Lock インジケータが点灯していないか確認してください。Caps Lock インジケータが点灯していると大文字が入力されます。Shift キーを押しながら [Caps Lock] キーを押してランプを消灯させてから入力してください。
- ・ Num Lock インジケータが点灯していないか確認してください。U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock (ナムロック) が有効になっています。[Num Lk] キーを押してランプを消灯させてから入力してください。

## □ タッチパッドに関する不具合

### ● タッチパッドが反応しない。

---

- ・ タッチパッドが無効になっています。タッチパッドを使用する設定に変更してください。設定を変更してもタッチパッドが反応しないときは、本機を再起動してください。タッチパッドの設定は、「コントロールパネル」画面の [ハードウェアとサウンド] の [マウス] をクリックして表示される、「マウスのプロパティ」画面で行います。

### ● マウスポインタが動かない。

---

- ・ 使用中のアプリケーションによっては、一時的にマウスポインタが動きにくくなる場合があります。しばらく時間をおいてから再度マウスポインタを動かしてください。それでもマウスポインタが動かない場合は、[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Del] キーを押し、画面右下の  をクリックして本機の電源を切ってください。電源が切れない場合は、本機の電源ボタン (  ) を 4 秒以上押して電源を切ってください。

## ● 画面上のすべてのものが動かない。

- ・ [Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Del] キーを押し、画面右下の  [再起動] をクリックして本機を再起動してください。再起動できない場合は、本機の電源ボタン (🔌) を 4 秒以上押して電源を切ってください。

## ● タッチパッドを無効にしたい。

- ・ タッチパッドを使用しない設定に変更してください。それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。タッチパッドの設定は、「コントロールパネル」画面の [ハードウェアとサウンド] の [マウス] をクリックして表示される、「マウスのプロパティ」画面で行います。タッチパッドを自動的に無効にすることもできます。設定について詳しくは、「タッチパッドを無効にする」(78 ページ) をご覧ください。

## ● タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。

- ・ タッチパッドを使用しない設定に変更してください。または、タッピング機能を無効に設定してください。タッチパッドの設定は、「コントロールパネル」画面の [ハードウェアとサウンド] の [マウス] をクリックして表示される、「マウスのプロパティ」画面で行います。

## □ ハードディスクに関する不具合

### ● ハードディスクから異常な音がする。

- ・ 何も操作していないときでも、OS の処理などによりハードディスクの読み書きが行われ、動作音や、まれに「カチャン」という音がする場合があります。これらは正常な動作であり、異常や故障ではありません。ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。ディス

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

クデフラグやディスククリーンアップのツールは、 (スタート) ボタン - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] にあります。

### ● ハードディスクを初期化してしまった。

---

- ・ ハードディスクに保存されていたファイルを復元することはできません。ハードディスク内のリカバリ機能、または「Recovery DVD」を使って、本機をリカバリする必要があります。リカバリについて詳しくは、「Windowsをお買い上げ時の状態に戻す (リカバリ)」(166 ページ) をご覧ください。

## □ 光学ドライブに関する不具合

### ● 読み込み、再生ができない。ドライブが認識されない。

---

- ・ 本機で利用できるディスクかどうか確認してください。詳しくは、「利用できるディスクについて」(86 ページ) をご覧ください。
- ・ ディスクの入れかたが正しいか確認してください。また、ディスクに汚れや傷がないか確認してください。光学ドライブの使いかたについて詳しくは、「CD と DVD を使う」(83 ページ) をご覧ください。
- ・ BIOS を最新バージョンに更新してください。BIOS の最新バージョンは、ASUS サポートの Web ページからダウンロードできます。詳しくは、「お問い合わせ先」(185 ページ) をご覧ください。

## お問い合わせ先

### □ ASUS サポート

<http://support.asus.com/>

トラブルや疑問をスムーズに解決できる Web サイトです。

以下のメニューが用意されています。

#### ● FAQ

ソフト、ハード、スペック、FAQ に関する情報はこちらから

#### ● ダウンロード

製品の BIOS、ドライバ、ユーザーマニュアル、ユーティリティのダウンロードはこちらから

#### ● フォーラム

問題の解決だけでなく、使えるテクニック情報も満載

#### ● メンバー

メンバーだけのサービスが盛りだくさん

#### ● トラブルシューティング

解決策がきっと見つかります

### ヒント

その他の ASUS の Web サイトについて詳しくは、「ASUS の Web サイトについて」（3 ページ）をご覧ください。

- ASUS テクニカルメールサポート

<http://vip.asus.com/eservice/techserv.aspx>

24 時間受付しています。コールセンターの受付終了後でも安心です。  
連絡先、製品情報、不具合の内容を明記して送信してください。

### ご注意

返信が英語の場合があります。

- コールセンター

購入前のご相談から、購入後の使いかたや修理に関するお問い合わせまで対応しています。購入前も購入後も、すべて同じセンターで対応しているため、きめ細かいサポートを行うことが可能です。

フリーコール : 0800-123-2787

携帯電話、PHS、公衆電話から : 047-390-5630

(通話料がかかります)

ファックス : 047-390-5683

(通話料がかかります)

※受付時間：平日) 9:00～18:00 土日) 10:00～17:00

※祝祭日、年末年始、夏季休暇中は休業です。

※お電話いただく際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないように  
お願いいたします。

### ● お問い合わせの前に

---

- ・ エラーメッセージが表示されている場合は、症状とエラーの内容をメモしておいてください。
- ・ ASUS ノートパソコンのモデルネーム、シリアルナンバー、お買い上げ伝票とレシート、購入日が確認できるもの、保証書をお手元にご用意ください。

- ASUS ノートパソコンの OS と BIOS バージョンをご確認ください。
- ASUS ノートパソコンをお手元で起動した状態でご連絡ください。

保証サービスを受ける際には、購入したことを証明するものが必要です。購入日から 24 ヶ月間の国外保証、日本国内保証に加えて、日本国内の集荷・配達サービスを保証します。この保証の範囲外となるサービスには、ASUS 及び公認のサービス提供者が定める費用が適用されます。

## ご注意

修理品の海外発送は行っておりません。

### ● サービスの流れ：初期不良の場合（DOA）

- ① 納入時の欠品や初期不良（1 ヶ月以内）については、まずコールセンターにご連絡ください。スタッフが、症状を確認させていただきます。なお、症状確認後の交換作業等につきましては、お買い上げ店での対応となります。
- ② コールセンターで不良箇所を確認した後、コールセンターからお買い上げ店へ初期不良対応についての確認をします。お買い上げ店での対応確認が取れ次第ご連絡いたしますので、商品が梱包されていた箱に入れてお買い上げ店へお持込みください。お買い上げ店へのお持込手段は、お買い上げ店の指定した手段（お客様ご自身での持込み、または指定の宅配便業者）のみとなります。お持込みの際は、伝票やレシート等の購入証明、保証書、付属品を必ず同梱してください。また、お買い上げ店のポイントカード等が必要な場合もあります。お客様より商品がお買い上げ店に到着次第、速やかに対応いたします。

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

初期不良対応時に必要なものは以下のとおりです。

- 故障内容をご記載いただいたメモ書き。
  - 梱包箱、緩衝材、取扱説明書、保証書、付属品など、購入時製品に同梱されていたものすべて。
  - 購入日が記載されたお買い上げ伝票、もしくは購入日記載の領収書（お買い上げ店のポイントカード等も必要になる場合があります）。
- ※ 初期不良交換には、お買い上げ商品のノートパソコン本体、箱等すべての付属品が必要になります。付属品に欠品がある場合、初期不良交換を承ることができず、修理での対応となります。

### ● サービスの流れ：修理の場合（RMA）

---

保証期間内の場合は、当社指定の宅配業者が修理品の引き取りにお伺いいたします。保証期間外の場合は、片道の送料はお客様ご負担になります。5営業日以内を目標に修理対応させていただいております。

- ① コールセンターの担当者にトラブルの詳細をお知らせください。修理の必要が有るかを確認させていただきます。修理が必要な場合は、修理品のお引取り日程をご相談させていただきます（お引取りは翌日以降）。
- ② 保証書をご用意ください（保証書がお手元にはない場合は、ASUSからの出荷日をお客様の購入日とさせていただきます）。
- ③ ハードディスク内のすべてのデータをバックアップしてください。ASUS GSM はサービス中のいかなるデータの損失に対しても責任を負いません。ASUS はサービスと検査に対してのみ責任を負います。
- ④ 修理依頼品を ASUS より指定された集荷サービスの運送業者にお渡しく下さい。
- ⑤ 修理後、コールセンターより修理完了をご連絡し、お客様の住所へノートパソコンを返送いたします。

※ 本サービスでは、データのリカバリやバックアップのソリューション等は提供しておりません。あらかじめご了承ください。また、BIOS のパワーオン・パスワードを設定の際は必ず解除してください。ご不明な点はコールセンターまでお問い合わせ下さい。

ASUS ノートパソコンをコールセンターに送付する際は、事前に以下の事項をご確認ください。

- 販売店が購入日を記入し、且つ、販売店印または販売店の保証シールが存在する保証書の原本（コピー不可）を修理依頼品に必ず同梱してください。コールセンターは原本を要求する権利を有します。
- ASUS 指定の集荷サービスをご利用いただかない場合、購入時にノートパソコンが梱包されていたパッケージをご利用頂くか、宅配業者のパソコン輸送専用パッケージをご利用ください。不適切な梱包状態により輸送中に破損事故が発生した場合、ASUS ではその責任を一切負いません。
- 修理に不要な部品は送付しないでください。万が一不要な部品を送付された場合、その部品が紛失しても ASUS はその責任を負いかねます。
- BIOS のパワーオン・パスワードを解除した状態で修理依頼品を送付してください。
- すべての個人データをバックアップし、機密情報や個人情報などをハードディスクから削除してください。ASUS およびコールセンターはユーザーのプログラムやデータ、個人情報の損失および漏洩に対しては一切責任を負いません。
- サービスの進行状況等の照会に必要となりますので、製品型番およびシリアルナンバーをお控えください。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

# 使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

---

## 本機の取り扱いについてのご注意

- 本機に体重をかけるなどしないでください。
- 本機を落とすなどして衝撃を与えないでください。保存されているデータが消滅したり、本機の故障の原因となります。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機の内部に金属物などを入れないでください。
- 異常な高温や多湿になる場所で使用したり、放置したりしないでください。本機が変形したり、故障の原因となる場合があります。
- 本機は精密機器です。ほこりの多い場所で使用したり、放置したりしないでください。故障の原因となる場合があります。
- キーボードの上に物を置いたりしないでください。また、キートップをむやみに外さないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイを閉じるときは、液晶ディスプレイとキーボードの間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

## ACアダプタの取り扱いについてのご注意

- 本機に付属、または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ケーブルが断線したアダプタは危険です。そのまま使用しないでください。
- AC電源をつながない状態で、本機の電源を入れたままバッテリーパックを取り外すと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- AC電源をつながない状態で、本機がスリープモードのときにバッテリーパックを取り外すと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。

## バッテリーの取り扱いについてのご注意

### □ バッテリーパックについて

- 付属のバッテリーパックは本機専用です。
- 本機に付属、または指定された別売りのバッテリーパックをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリーパックを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されています。
- AC電源をつながない状態で、本機の電源を入れたままバッテリーパックを取り外すと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取り外してください。
- AC電源をつながない状態で、本機がスリープモードのときにバッテリーパックを取り外すと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取り外してください。
- バッテリーパックは消耗品です。バッテリー駆動時間が短くなってきた場合には、弊社指定の新しいバッテリーパックと交換してください。

### □ はじめてバッテリーパックをお使いになるときは

付属のバッテリーパックは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリーが消耗している状態になっている場合があります。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

#### □ バッテリーの充電について

バッテリーは使用していないときでも、少量ずつ自然に放電します。長時間放置した場合などは使用可能時間が短くなる場合があります。使用前に、再度充電することをおすすめします。

また、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。このため、十分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなる場合があります。この場合には、弊社指定の新しいバッテリーパックと交換してください。

#### □ 低電力モードでお使いのときは

スリープモード時にバッテリーがなくなると、スリープモードに移行する前の作業状態や保存していないデータは失われます。スリープモードに移行する前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお、休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリーがなくなってもデータが消失することはありません。長時間 AC アダプタを使わない場合は、休止状態へ移行することをおすすめします。

#### □ バッテリーの残量が少ないときは

本機はお買い上げ時の状態から、通常モードでバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるように設定されています。しかし、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、この機能が正しく働かないことがあります。長時間席をはずすときなどにバッテリーが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。バッテリーでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態に移行するようにしてください。

## 液晶ディスプレイについてのご注意

- 液晶ディスプレイは構造上、画面の一部にごくわずかの「点灯しない画素」や「常時点灯する画素」がある場合があります。また見る角度によって、すじ状のむらが見える場合があります。  
状態によっては保証の対象になる場合があります。詳しくは「TFT LCD 不良品に関するポリシー」(227 ページ)をご覧ください。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、体重をかけるなどしないでください。
- 液晶ディスプレイの表示面を鋭利な刃物などで傷つけないでください。
- 液晶ディスプレイを保護するために、持ち運びの際などは、お買い上げ時に敷かれていたキーボード部分を保護するシートを敷くことをおすすめします。

## ハードディスクの取り扱いについてのご注意

本機には、ハードディスクが内蔵されています。

ハードディスクに不具合が生じて故障した場合、データの修復はできません。保存されているデータを失うことのないように、以下の点に特にご注意ください。

- ハードディスクを取り外さないでください。
- 本機を落とすなどして衝撃を与えないでください。
- 電源を入れた状態で、本機を移動させないでください。
- 本機を不安定な場所（振動する場所など）で使用しないでください。
- データの書き込み中や読み込み中に、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時 10℃ 以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- 磁気を帯びたもの（テレビ、スピーカー、磁気ブレスレットなど）を本機に近づけないでください。

はじめに	お読みください
安全規制	安全上のご注意
本体各部の名称	
【準 備】	
パソコンを使う	
セキュリティを	設定する
インターネットに	接続する
保守・	メンテナンス
困ったときには	
その他の情報	

## ハードディスクのバックアップについてのご注意

ハードディスクが故障すると一度に多量のデータが失われることとなります。万一の場合に備えて、ハードディスクに保存しているデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。ハードディスクのバックアップ、バックアップしたデータの戻しかたについて詳しくは、「データをバックアップする」(150 ページ)をご覧ください。データの損失について、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

---

## 無線機能の取り扱いについてのご注意

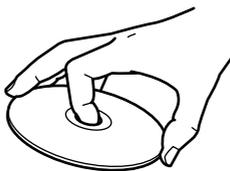
- 無線対応機器が使用する 2.4GHz 帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、状況によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断する場合があります。
- 5GHz 無線 LAN 機器の屋外での使用は、法令により禁止されています。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波の状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波の状況、壁の有無や素材など、周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4GHz 帯の無線 LAN 機能と 5GHz 帯の無線 LAN 機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11g は、IEEE 802.11b 製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下する場合があります。また、自動的に通信速度を落として IEEE 802.11b 製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急で無線機能を停止させる必要がある場合には、本機の無線スイッチを [OFF] に合わせてください。

- Bluetooth 対応機器が使用する 2.4GHz 帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため状況によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断する場合があります。
- Bluetooth 規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth 一般の特性として、複数の Bluetooth 機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth 機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio 機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth 機能の性質上、音声映像とずれて再生される場合があります。

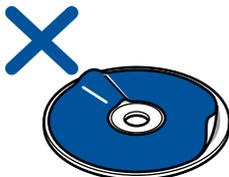
はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準 備】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## ディスクの取り扱いについてのご注意

- ディスクは下図のように持ち、記録面（再生面）に触れないようにしてください。



- ディスクにラベルを貼り付けた場合の不具合やメディアの損失について、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。ご使用になるラベルやラベル作成ソフトウェアのご注意をよくご確認の上、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼り付けたディスクを使用するときは、ラベルが正しく貼られていることをご確認ください。下図のような状態（ラベルの端が浮いている状態、粘着力が弱い状態）で光学ドライブに挿入すると、内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。



- ほこりやちりの多いところには保管しないでください。
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くには保管しないでください。
- 湿気の多いところには保管しないでください。

## CD 再生／録音についてのご注意

本機はコンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの音楽ディスクの中には CD 規格に準拠していないものもあります。そのような音楽ディスクについては、本機での再生を保証できません。

## DualDisc の取り扱いについてのご注意

DualDisc とは、DVD 規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。ただし、音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本機での再生を保証できません。

## ドライブの地域番号書き換えについてのご注意

地域番号は「リージョンコード」とも呼ばれ、DVD ディスクの再生できる地域を限定するためのコードです。この地域番号は初回の設定を含めて合計 5 回の書き換えが可能です。なお、「コード 2」から「コード 2」のように、同じコードに書き換えた場合は書き換えとはなりません。

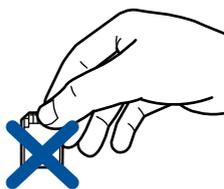
お買い上げ時の状態では、本機のドライブの地域番号は「未定義」であり、設定されていません。初めて DVD ディスクを再生する際は、以下の点にご注意ください。

- 地域番号が設定されている DVD ディスクの場合  
DVD と同じ地域番号が自動的に選択されます。
- 複数のリージョンコードが設定されている DVD の場合  
リージョンコードの設定画面が表示されます（表示されない場合もある）。

一部のソフトウェアに地域番号を書き換える機能を持つものがありますが、そのようなソフトウェアはお使いにならないでください。そのようなソフトウェアをお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

## 各種メモリカードの取り扱いについてのご注意

- 各種メモリカードを本機以外の機器（デジタルスチルカメラやオーディオ機器など）で使用する場合は、それらの機器でメモリカードをフォーマット（初期化）してからご使用ください。その場合、メモリカード内のデータをいったん本機にコピーしてください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 静電気や電機的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが消えたり壊れたりする場合があります。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 異常な高温や多湿になる場所で使用したり、放置したりしないでください。変形したり、故障の原因となる場合があります。
- 端子部には手や金属で触れないでください。



- 持ち運びや保管の際は、メモリカードに付属の収納ケースに入れてください。

## ExpressCard の取り扱いについてのご注意

- 静電気の発生しやすいところ（じゅうたんの上など）に放置しないでください。静電気の影響で ExpressCard の部品が壊れる場合があります。
- ExpressCard を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ExpressCard のスロットの中に異物を入れしないでください。
- ExpressCard を水でぬらさないでください。
- ExpressCard を、異常な高温や多湿になる場所、またほこりの多い場所で使用したり、放置したりしないでください。変形したり、故障の原因となる場合があります。
- ExpressCard のコネクタ部には手や金属で触れないでください。
- ExpressCard がスロットからはみ出した状態でお使いの場合は、以下の点にご注意ください。
  - ExpressCard を挿入したまま本機を移動しないでください。移動時に ExpressCard に強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - はみ出した ExpressCard を持って本機を持ち上げるなど、ExpressCard に力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard を挿入したまま本機をキャリングバッグなどの中へ入れしないでください。ExpressCard に負荷が加わり、本機が破損するおそれがあります。

## ソフトウェアと周辺機器の動作についてのご注意

一般的に Windows Vista 用、DOS/V 用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器でも、本機で使用できない場合があります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。また、本機に付属の OS 以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上のご注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## ソフトウェアの不正コピー禁止についてのご注意

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

---

## 結露についてのご注意

結露とは空気中の水分が水滴となる現象です。

本機を寒いところから暖かいところへ急に移動させたり、湿度の高い場所（80%以上）で使用すると、本機の表面や内部に結露が生じる場合があります。そのままご使用になると故障の原因となりますので、結露が生じたときは、まずティッシュペーパーなどで水滴をよく拭き取ってください。本機が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいますので、全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間程放置してください。

---

## 有寿命部品についてのご注意

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用していくうちに磨耗や劣化が進行する可能性のある部品のことです。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化や磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合があります。あらかじめご了承ください。

# 用語集

## あ行

### アイコン

パソコンの画面に表示される絵記号のことです。直感的にわかるデザインになっています。

### アカウント

ユーザーを識別するために使われます。ユーザーごとにアカウントを割り当てれば、ユーザーごとに機能をカスタマイズすることもできます。

### アクセスポイント

- 電話回線からインターネットに接続するために、プロバイダが設けている接続地点のことです。
- 無線 LAN から有線 LAN へ、または無線 LAN 機能を持った機器同士の通信を中継する装置のことです。

### イーサネット

データ通信方式のことです。複数のパソコンを LAN（ネットワーク）でつないで、データをやりとりするときに使われます。

### インストール（プリインストール）

ソフトウェアなどをパソコンに組み込んで使えるようにすることです。「プリインストール」とは、ソフトウェアなどがお買い上げ時にインストールしてあることです。

### インターネット

地域や国をまたいでコンピュータ同士が接続されている、世界規模のコンピュータネットワークのことです。さまざまな規模のネットワーク同士がつながった「ネットワークのネットワーク」ともいえます。

## インターネットサービスプロバイダ

インターネットへの接続サービスなどを提供する業者のことです。

→ 「ISP」をご覧ください。

## インフラストラクチャモード

無線 LAN のアクセスポイントを中心にして機器間で通信を行うときに使う通信モードのことです。

## ウィザード

ソフトウェアなどの設定をするときに、ガイダンスに従って設定を進めることで、簡単に設定を完了することができる機能のことです。Windows には、いろいろなウィザードがあります。

## ウイルス

→ 「コンピュータウイルス」をご覧ください。

## お気に入り

ブラウザで、自分がよく見るホームページの URL を登録しておくフォルダの名前のことです。

## オペレーティングシステム

→ 「OS」をご覧ください。

---

## か行

### カーソル

文字を入力したり、画像などを挿入する位置を示す記号のことです。

### 拡張子

ファイル名に付いている「.」（ピリオド）の後ろにある半角 3 文字の英数字のことです。Windows では、拡張子によってファイルの種類を識別しています。例えば、テキストファイルには「.txt」、ビットマップファイルには「.bmp」という拡張子が付きます。

## 拡張ボード

拡張スロットに追加することができるボード（カード）のことです。パソコンにさまざまな機能を追加したり性能を向上させることができます。

## カスタマイズ

ユーザーの使いかたに合わせて、ハードウェアやソフトウェアの設定や機能を変更することです。

## かな入力

キーボードの各キーに印字されているひらがなを使って、日本語を入力する方法のことです。

## 壁紙

デスクトップ画面の背景画像のことです。

## キーボード

文字を入力したり、パソコンに命令を与えるために使う、キーが並べられた装置のことです。

## 起動

- ・ パソコンの電源を入れて使用できる状態にすることです。
- ・ ソフトウェアを実行することです。

## 休止状態

メモリの内容（作業中の状態）をハードディスクに保存し、パソコンを低電力状態にすることです。長時間パソコンを使わないときなどに便利です。

## クリック

マウスの左ボタンやタッチパッドボタン（左側）を1回押す動作のことです。2回続けてすばやく押す動作のことを「ダブルクリック」といいます。

## クリップボード

データをコピー、または移動するときに、一時的にそのデータを保管するための場所のことです。

はじめに  
お読みください

本体各部の名称

安全規制  
安全上のご注意【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## ごみ箱

いらなくなったファイル（文書や画像など）を捨てる場所のことです。ごみ箱に捨てたファイルは、ごみ箱を右クリックして [ごみ箱を空にする] をクリックするまでごみ箱の中に残ります。

## コントロールパネル

各種環境を設定するために Windows に標準で装備されているツールのことです。

## コンパクトフラッシュ

小型メモ리카ード規格のひとつです。デジタルカメラなどの記憶媒体として利用されています。

## コンピュータウイルス

コンピュータに被害を与えるソフトウェアのことです。単に「ウイルス」ともいいます。インターネットなどネットワークを経由して感染したり、各種メディアから直接感染したりします。アンチウイルスソフトを導入することにより、感染を未然に防ぐことができます。また Windows Update をこまめに実行することも感染を防ぐひとつの手段です。

## コンピュータの管理者

ユーザーアカウントの追加や削除、システムの変更など、Windows のすべての設定を行うことができるユーザーのことです。

---

## さ行

### サーバ（サーバコンピュータ）

ネットワークの中心となるコンピュータのことです。ネットワーク上のファイルを共有できるようにするファイルサーバ、メールの送受信を行うメールサーバなどがあります。

### 再起動

Windows を終了し、もう一度起動することです。

## 最適化

→「デフラグ」をご覧ください。

## システムの復元

現在のシステム状態を捨てて、過去のある時点のシステム状態に戻すことです。システムが正しく動作しなくなったときに実行します。

## シャットダウン

Windows を完全に終了し、電源を切ることです。

## 周辺機器

プリンタや USB 機器など、パソコンに接続する機器全般のことです。

## 初期化

ハードディスクや各種メディアにデータの書き込みができるようにする作業のことです。「フォーマット」ともいいます。データが保存されている状態で初期化を実行するとデータが完全に消去されますのでご注意ください。ハードディスクの中身をすべて消去してお買い上げ時の状態に戻したいときは、リカバリを実行してください。

## スクリーンセーバー

長時間同じ状態で表示したままの画面を、保護するためのソフトウェアのことです。画面を同じ状態のまま長時間放置すると、輝いている部分のみが劣化して、画面上に跡が残る場合があるため、その現象を防ぎます。

## スクロール

ウィンドウの中の情報が一度に表示できないときに、表示部分を上下や左右に移動することです。表示しきれない情報がある場合、ウィンドウの右側または下部にスクロールバーが表示されます。このバーを上下、または左右に動かすことで、隠れている情報を表示できます。

## スタートボタン

デスクトップ画面左下にあるボタンのことです。スタートボタンをクリックするとスタートメニューが表示されます。インストールされているプログラムや、コントロールパネルなどはスタートメニューから起動します。また、シャットダウンやスリープなども、スタートメニューから行います。

## スプリッター

ADSL を利用する場合に使用する分配器のことです。ADSL で電話回線を使用する場合は、通話で使う回線と ADSL で使う回線とを分離する必要があります。

## スマートメディア

小型メモリカード規格のひとつです。デジタルカメラなどの記録媒体として利用されています。

## スリープ

メモリの内容を保持したまま、パソコンを低電力状態にすることです。パソコンの使用を再開したときに、「スリープ」に設定する前のデスクトップの状態をすばやく復元します。作業中、しばらくの間パソコンから離れる場合などに便利です。ただし、メモリの内容はハードディスクに保存されないため、電源障害（停電など）が発生したときはメモリ内の情報が失われる場合がありますのでご注意ください。

## セキュリティ

パソコンへのアクセスを限定することで、悪意のある第三者からのアクセスを排除し、パソコンを守ることです。

## セットアップ

周辺機器の接続、初期設定などを行い、パソコンを使用できるようにすることです。

---

## た行

### ダイヤルアップ

電話回線を通じてインターネットに接続することです。

### タスクバー

デスクトップ下部に表示される、スタートボタンのある横長のバーのことです。使用中のソフトウェアやフォルダがボタン化されて、横に並んだ状態で表示されます。ボタンをクリックするだけで、ウィンドウを切り換えることができます。

## タッチパッド

指を軽く触れて動かすことで、画面上のマウスポインタを希望の位置に移動させる装置のことです。左右のタッチパッドボタンとあわせて使うことにより、マウスと同様の操作を行うことができます。

## タップ

タッチパッド上で指を軽く触れてすぐに離す動作のことです。マウスやタッチパッドボタンではクリックにあたる動作です。

## ダブルクリック

マウスの左ボタンやタッチパッドボタン（左側）を2回続けてすばやく押す動作のことです。

## ダブルタップ

タッチパッド上で指を軽く触れてすぐに離す動作を2回連続で行うことです。マウスやタッチパッドボタンではダブルクリックにあたる動作です。

## ターミナルアダプタ

パソコンや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機などを、ISDN回線に接続するための機器のことです。

## 断片化

ハードディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。「フラグメンテーション」ともいいます。データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれる場合があります。

→「デフラグ」をご覧ください。

## チェックボックス

項目を選択するときに、クリックしてチェックマークを付けるタイプの四角い枠のことです。四角い枠の中にチェックマークが付いている場合、選択されていることを示します。

## 通知領域

タスクバーの右端にある、各種アイコンや時計が表示される部分のことです。

はじめに  
お読みください

本体各部の名称

安全規制  
安全上のご注意【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## ディスプレイ

パソコンの文字や画像を表示するための装置のことです。

## テキスト

文字の修飾属性（大きさや種類など）を持たず、シンプルな文字列で構成されている文書のことです。異なるパソコン間で文字のみの互換をとることができます。

## データ

パソコンで扱う情報のことです。

## デスクトップ

パソコンを起動したときに表示される画面のことです。

## デバイス

パソコンに接続して使用するディスプレイやプリンタなどの装置のことです。

## デフラグ

ハードディスク内の断片化したデータをきれいに並べてまとめることです。デフラグにより、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

## 電子メール

インターネットなどのネットワークを使ってパソコン同士でメッセージをやりとりするシステムのことです。「Eメール」ともいいます。

## 電子メールアドレス

電子メールをやり取りするときに必要な、世界にひとつだけの住所にあたるものです。「Eメールアドレス」ともいいます。

## ドライバ

パソコンに接続している周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのことです。Windowsに含まれているドライバもありますが、機器によっては個別にドライバのインストールが必要です。

## ドライブ

ハードディスクなどの記憶装置や、DVD や CD などのディスクを駆動させる装置のことです。

## ドラッグ

マウスやタッチパッドなどを使って、ファイルなどを移動したり、ウィンドウの大きさを変更する操作のことです。マウスの場合は、マウスポインタをファイルなどに合わせて左ボタンを押したままの状態にし、マウスを動かして希望の位置で左ボタンを離すことで実行できます。タッチパッドの場合は、マウスポインタをファイルなどに合わせて、タッチパッドボタン（左側）を押したままの状態にし、タッチパッド上で指を動かして希望の位置でタッチパッドボタン（左側）を離すことで実行できます。

## ドラッグアンドドロップ

ファイルなどのアイコンをドラッグして、フォルダやソフトウェアのアイコン、ウィンドウの上などで左ボタンまたはタッチパッドボタン（左側）を離すことです。文書ファイルなどをそのファイルを作成したソフトウェアのアイコン上にドロップすると、ソフトウェアを起動することができます。

## な行

### ナローバンド

インターネットの接続方法の中で、アナログ電話回線など、通信速度の遅いもののことです。

### 日本語入力システム

→ 「IME」をご覧ください。

### ネットワーク

データなどを伝送する通信網のことです。世界中のコンピュータをつないだインターネットや、職場などのコンピュータをつないだ LAN などがあります。

はじめに  
お読みください

本体各部の名称

安全規制  
安全上のご注意【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## ネットワークキー

IEEE 802.11a、IEEE 802.11b や IEEE 802.11g 準拠の無線 LAN の通信を暗号化するために用いられるキー情報のことです。「暗号キー」、「WEP キー」などともいいます。同じキー情報を使用するアクセスポイントやパソコン間でのみ無線 LAN 通信を行うことができます。

---

## は行

### パーティション

ハードディスクなどの記憶領域を分割することです。分割することで、1 台のハードディスクを複数台のハードディスクと同じように使うことができます。

### ハードディスク

パソコンに接続する補助記憶装置のひとつです。表面に磁性体を塗った平らな円盤（ディスク）を回転させ、それに磁気ヘッドを近づけてデータの書き込み／読み出しを行います。大容量のデータを保存でき、書き込み／読み出しを高速で行えます。

### パスキー

2 台の Bluetooth 対応機器がお互いに接続を許可するために、ユーザーが入力する暗証番号のことです。同一の文字列を双方の機器で入力すると、接続が許可されます。

### パスワード

パソコンを使うときやインターネットに接続するときなどに入力する文字列のことです。

### バックアップ

ハードディスクに保存してあるプログラムやデータを、別の記録メディアにコピーして保存しておくことです。

### ビットマップ

文字や図形を小さな点の集まりで表現することです。現在のパソコンの表示は、ほとんどがビットマップ方式です。

## ファイル

データのことです。

## フォーマット

→「初期化」をご覧ください。

## フォルダ

ファイルを整理、分類するための場所のことです。

## ブラウザ

→「Web ブラウザ」をご覧ください。

## プラグアンドプレイ

周辺機器を接続するだけで特別な設定をしなくてもすぐに使える状態になる機能のことです。

## フラッシュメモリ

電氣的にデータを読み書きする、記憶メディアのひとつです。通常の書き込み可能なメモリは、電源を切ると内容が消えてしまいますが、フラッシュメモリは電源を切っても内容が消えないという特長をもっています。

## プリンタ

パソコンで作成した文書や画像を紙に出力するための装置のことです。

## ブロードバンド

インターネットの接続方法の中で、ADSL、CATV、FTTH（光）など、通信速度の速いもののことです。

## プロバイダ

→「インターネットサービスプロバイダ」をご覧ください。

## ヘルプ

Windows やソフトウェアの操作方法などについて、画面上に表示する機能のことです。

## ポインティングデバイス

マウスやタッチ패드など、マウスポインタを動かすために使う、パソコンの入力装置のことです。

## ポイント

マウスポインタを希望の位置に合わせることです。

## 保存

作成した文書や画像などを、ファイルとしてハードディスクなどに記録することです。

---

## ま行

### マウス

画面上のマウスポインタを希望の位置に移動させる装置のことです。

### マウスポインタ

画面上で位置を示す記号のことです。マウスやタッチ패드などの動きに反応して動きます。通常は矢印の形をしていますが、目的や働きによってさまざまな形に変わります。

### マジックゲート

著作権保護に対応しているかどうかを判断する認証とデータの暗号化を行う、“メモリースティック”の著作権保護技術のことです。認証された機器以外では、著作権のあるデータは再生できません。

### マルチモニタ

複数のディスプレイをひとつのデスクトップとして使用することです。作業スペースが広がり、作業効率が上がるといった利点があります。

### 右クリック

マウスの右ボタンやタッチ패드ボタン（右側）を1回押す動作のことです。押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のショートカットメニューが表示されます。

## 無線 LAN

無線でデータの送受信をする LAN のことです。主に家庭内や企業内のネットワークなど比較的限られたエリア内のネットワークに使用されます。LAN ケーブルを敷設する必要がないため、配線に関する制約を受けずにネットワークを構築することができます。

## メニュー

実行できる機能が並んだ一覧のことです。

## メモリ

パソコンの中にあって、データを保存しておくための場所、あるいは装置のことです。メモリには主記憶装置と、補助記憶装置がありますが、通常は主記憶装置の RAM を示します。

## “メモリースティック”

小型メモ리카ード規格のひとつです。デジタルカメラなどの記憶媒体として利用されています。

## メーラー

電子メールをやりとりするためのソフトウェアのことです。

## メール

→「電子メール」をご覧ください。

## モジュラジャック

電話回線に電話、ファックス、モデムなどの通信機器を接続するための差し込み口のことです。

## モデム

パソコンの情報を電話回線を通じてやりとりするために必要な機器のことです。本機にはモデムが内蔵されています。

## や行

### ユーザー

パソコンを使用する人の情報のことです。1台のパソコンを複数の人が使う場合、それぞれの人が自分の情報を登録しておけば、パソコンが1台しかなくても自分専用のデスクトップを使うことができますようになります。

---

## ら行

### ライトプロテクト

各種メディアへのデータの書き込みを禁止することです。

### リカバリ

ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことです。何らかの原因でパソコンが起動できなくなったり、不安定になったときに行います。

### リムーバブルディスク

データを読み書きできる、取り外し可能なメディアのことです。

### ルータ

異なるネットワーク同士を接続するための接続機器のことです。ネットワークを介して送信されるデータを、目的の場所に最適な経路を選択して届ける役目を持っています。主にLANを外部のネットワークと接続する場合に使われます。

### ローマ字入力

キーボードの各キーに印字されているアルファベットを組み合わせ、ローマ字で日本語を入力する方法です。

### ログオフ

他のユーザーがそのパソコンにログオンできる状態にすることです。

### ログオン

これからパソコンを使うユーザーの情報をWindowsに伝え、Windowsを使える状態にするための操作のことです。

## アルファベット

### ADSL (エーディーエスエル)

一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できる接続サービスのことです。「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略称です。

### BIOS (バイオス)

パソコンの基本的な設定をするためのプログラムのことです。電源を入れると最初に BIOS の読み込みが始まります。BIOS が正常に働かないと、パソコンは起動しなくなります。

### Bluetooth (ブルートゥース)

小規模で低コストな無線通信技術の世界標準規格です。ノートパソコンや携帯電話、その他のモバイル機器を結び、さらにインターネットへの接続も可能にします。

### CATV インターネット (ケーブルテレビインターネット)

ケーブルテレビ網を利用したインターネットのサービスのことです。一般電話回線を使用せず、ケーブルテレビ用に敷設されている光ファイバーや同軸ケーブル網を使用してインターネットに接続します。

### CD-EXTRA (シーディーエキストラ)

音楽 CD に CD-ROM の機能を追加したコンパクトディスクのことです。CD プレーヤーおよびパソコンのドライブのどちらでも音楽を再生できるほか、パソコンのドライブを使って、文字や静止画、動画を見ることができます。

### CD-R (シーディーアール)

パソコンで扱うプログラムやデータを一度だけ書き込むことができるコンパクトディスクのことです。

### CD-ROM (シーディーロム)

パソコンで扱うソフトウェアやデジタルデータが記録された、読み取り専用のコンパクトディスクのことです。読み取り専用なので、自分で作ったファイルなどを書き込む（保存）することはできません。

はじめに  
お読みください

本体各部の名称

安全規制  
安全上の注意【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

### **CD-RW (シーディーアールダブルユー)**

パソコンで扱うプログラムやデータを何度も書き込んだり消去したりすることができるコンパクトディスクのことです。

### **CPU (シーピーユー)**

中央演算処理装置のことで、パソコンの中核部分のことです。入出力装置からデータを受け取り、演算し、記憶し、結果を出力します。パソコンでは、CPUの機能をひとつにまとめて、マイクロプロセッサとして使用されています。

### **DVD-R (ディーバイディーアール)**

パソコンで扱うプログラムやデータを一度だけ書き込むことができる DVD ディスクのことです。

### **DVD-R DL (ディーバイディーアール デュアルレイヤー)**

ディスクの片面に記録層を2層設け、それぞれの層にデータを記録することができる DVD ディスクのことです。

### **DVD-RAM (ディーバイディーラム)**

パソコンで扱うプログラムやデータを何度も書き込んだり消去したりすることができる DVD ディスクのことです。データの書き込み方式は DVD-RW や DVD+RW などと同じですが、DVD-RAM 専用のドライブが必要になるため、DVD-ROM ドライブや、DVD プレーヤーなどで再生することはできません。

### **DVD-ROM (ディーバイディーロム)**

パソコンで扱うソフトウェアやデジタルデータが記録された、読み取り専用の DVD ディスクのことです。

### **DVD-RW (ディーバイディーアールダブルユー)**

パソコンで扱うプログラムやデータを何度も書き込んだり消去したりすることができる DVD ディスクのことです。

**DVD-Video (ディーブイディービデオ)**

映像と音声を記録することができる DVD ディスクのことです。市販されている DVD の映画などは、この規格に沿って作られています。DVD-Video 対応の DVD プレーヤーで再生ができます。また、再生するには、DVD とプレーヤーのリージョンコード（再生可能地域を限定するコード）が一致している必要があります。

**DVD+R (ディーブイディープラスアル)**

パソコンで扱うプログラムやデータを一度だけ書き込むことができる DVD ディスクのことです。

**DVD+R DL (ディーブイディープラスアル デュアルレイヤー)**

ディスクの片面に記録層を 2 層設け、それぞれの層にデータを記録することができる DVD ディスクのことです。

**DVD+RW (ディーブイディープラスアルダブリュー)**

パソコンで扱うプログラムやデータを何度も書き込んだり消去したりすることができる DVD ディスクのことです。「DVD+ReWritable」の略称です。

**DVI (ディーブイアイ)**

パソコンとディスプレイを接続するためのインターフェイス規格のひとつです。液晶ディスプレイなどのデジタル駆動のディスプレイにパソコンから直接デジタル信号を送ることができるため画質が向上します。「Digital Visual Interface」の略称です。

**E メール (イーメール)**

→ 「電子メール」をご覧ください。

**E メールアドレス (イーメールアドレス)**

→ 「電子メールアドレス」をご覧ください。

**ExpressCard (エクスプレスカード)**

従来の PC カードよりも高速化、簡易化された、次世代の PC カードのことです。ExpressCard モジュールのサイズは幅が 34 mm と 54 mm のものがあり、本機は両サイズに対応しています。

## **FTTH (エフティーティーエイチ)**

「Fiber To The Home (ファイバートゥザホーム)」の略称で、情報通信環境を整備するという構想のことです。高速かつ大容量の光ファイバーを家庭まで敷設し、家庭から高速データ通信を可能にするというものです。

## **HTML (エイチティーエムエル)**

ホームページを作成するためのページ記述言語のことです。「HyperText Markup Language」の略称です。

## **IEEE 1394 (アイトリプルイーイチサンキュウヨン)**

IEEE 1394 ポートを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりするためのデジタルシリアルインターフェイスのことです。複数の IEEE 1394 対応機器を接続した場合、直接接続している機器だけでなく、他の機器を介して接続している機器に対しても、データのやりとりが可能です。IEEE 1394 は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

## **IEEE 802.11a**

5GHz 帯の電波を使用する無線 LAN の規格のことです。最大 54Mbps の通信速度を実現しています。

## **IEEE 802.11b**

2.4GHz 帯の電波を使用する無線 LAN の規格のことです。最大 11Mbps の通信速度を実現しています。

## **IEEE 802.11g**

2.4GHz 帯の電波を使用する無線 LAN の規格のことです。最大 54Mbps の通信速度を実現しています。

## **IME (アイエムイー)**

「日本語入力システム」とも呼ばれ、日本語を入力するためのソフトウェアの総称です。Windows には、「MS-IME」という日本語入力システムが標準で装備されています。

### ISDN (アイエスディーエヌ)

NTTのデジタル通信網を使った電話のことです。通信速度が速く、1回線で従来の2回線分が使えます。

### ISP (アイエスピー)

インターネット接続サービスを提供する通信事業者のことです。「Internet Service Provider (インターネットサービスプロバイダ)」の略称で、一般にはプロバイダと呼ばれます。

### Kensington (ケンジントン)

パソコンのセキュリティ関連商品を取り扱っているメーカーのことです。Kensington社の製品には通常メタルケーブルと鍵が含まれており、ノートパソコンを固定した場所から取り外せないようにすることができます。一部のセキュリティ製品にはモーションディテクタが組み込んであり、動かすとアラームが鳴るものもあります。

### LAN (ラン)

同一の建物内など、比較的限られた人だけが利用できる地域に分散設置されたパソコンをつないだネットワークのことです。「Local Area Network」の略称です。

### MMC (マルチメディアカード)

小型メモ리카ード規格のひとつです。デジタルカメラなどの記録媒体として利用されています。

### OS (オーエス)

パソコン全体を管理し、パソコンを操作するのに必要な基本ソフトウェアのことです。本機はOSとしてWindowsを使っています。「オペレーティングシステム (Operating System)」の略称です。

### PC カード (ピーシーカード)

PC Card規格に準拠した、着脱可能な機能拡張デバイスのことです。PCカードを装着すると、他のパソコンとデータをやりとりしたり、さまざまな機能を拡張したりできます。メモ리카ード、ネットワークカードなど、さまざまな種類があります。

はじめに  
お読みください

本体各部の名称

安全規制  
安全上のご注意

【備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

## **POP (ポップ)**

電子メールサーバから電子メールを受信するためのプロトコルのことです。「Post Office Protocol」の略称です。

## **SD メモリーカード (エスディーメモリーカード)**

小型メモリーカード規格のひとつです。デジタルカメラなどの記録媒体として利用されています。

## **SMTP (エスエムティーピー)**

電子メールサーバへ電子メールを送信するためのプロトコルのことです。「Simple Mail Transfer Protocol」の略称です。

## **TA (ティーエー)**

→ 「ターミナルアダプタ」をご覧ください。

## **TCP/IP (ティーシーピーアイピー)**

インターネットなどによるネットワークで使用されている標準的な通信プロトコルのことです。「TCP」は「Transmission Control Protocol」の略称で、送受信などの伝送を制御するプロトコルです。「IP」は「Internet Protocol」の略称で、データグラム転送を制御するプロトコルです。

## **TPM (ティーピーエム)**

データを暗号化するためのキーを作成するセキュリティハードウェアデバイスのことです。ハードウェアベースのソリューションで、悪意のある第三者から大切なデータを保護します。「Trusted Platform Module」の略称です。

## **URL (ユーアールエル)**

インターネット上で使われるホームページの住所のことです。

## **USB (ユーエスピー)**

キーボードやマウスなどの周辺機器を接続するインターフェイス規格のことです。USB 機器は電源が入ったままの状態でも接続または取り外しができます。

**Web (ウェブ)**

インターネットのホームページを結びつける方法のことです。ハイパーリンクによって、蜘蛛の巣 (Web) のように張りめぐらされています。「World Wide Web」(ワールドワイドウェブ) の略称です。

**Web ブラウザ (ウェブブラウザ)**

インターネットに接続してホームページを見るための専用ソフトウェアのことです。

**Windows キー (ウィンドウズキー)**

キーボード上にある、Windows マークの印字されたキーのことです。このキーを押すと、Windows のスタートメニューが表示されます。

**Wizard (ウィザード)**

→ 「ウィザード」 をご覧ください。

**WPA (ダブルユーピーイー)**

無線 LAN のセキュリティ方式のひとつです。WEP などの従来のセキュリティ方式と比較して、より安全なデータ暗号方式とネットワーク認証方式を使用しています。「Wi-Fi Protected Access」の略称です。

→ 「ネットワークキー」 をご覧ください。

**xD-Picture Card (エクスディーピクチャーカード)**

小型メモ리카ード規格のひとつです。デジタルカメラなどの記録媒体として利用されています。

# 索引

## アルファベット

### A

AC 電源アダプタ 50  
ADSL 47, 138  
ASUS サポート 185  
ASUS テクニカルメールサポート 186

### B

BIOS 170  
Bluetooth 96  
Bluetooth インジケータ 30

### C

Caps Lock インジケータ 29  
CATV 47  
CATV (ケーブルテレビ) インター  
ネット 140  
CD 83  
CopyProtect 135

### D

DVD 83  
DVD スーパーマルチドライブ 83

### E

ExpressCard 91  
ExpressCard スロット 37

### F

FTTH 47  
FTTH (光) 139

### I

IEEE 1394 95  
IEEE 1394 ポート 37

### K

Kensington® ロックポート 39

### L

LAN ポート 38

### N

Norton Internet Security 109  
Num Lock インジケータ 29

### O

OPEN ボタン 34

### P

Power4Gear eXtreme ボタン 30

### R

Recovery DVD 168

### S

S/PDIF 出力ジャック 35, 80  
Scr Lock インジケータ 29

SmartLogon 135  
 Splendid Video Intelligent  
 Technology 30

## T

TPM 135  
 TV 出力ポート 38

## U

USB 94  
 USB (2.0) ポート 35, 36, 37

## W

Web カメラ 29, 102  
 Web サイト 3  
 Windows 54  
 Windows Media Center ボタン 30  
 Windows Update 105  
 Windows パスワード 110

## かな

## あ

安全規制 15  
 安全上のご注意 18  
 アンチウイルスソフト 104, 109

## い

一般電話回線 140  
 インターネット 47, 136  
 インターネットボタン 30

## え

液晶ディスプレイ 29

## お

お手入れ 172  
 お問い合わせ先 185  
 音声入力／出力 80  
 音量 81

## か

外部ディスプレイ 97  
 架空請求詐欺 107

## き

キーボード 29, 69  
 休止状態 63

## く

クーリングファン 33, 36  
 クリック 75  
 グローバルサービス 4

## こ

光学ドライブ 39, 83  
 光学ドライブ緊急イジェクト  
 ボタン 39  
 コールセンター 186  
 個人情報 106  
 コンピュータウイルス 103

## さ

サポートサービス 3

## し

システムの復元 157  
 指紋スキャナー 31, 131  
 指紋認証 131  
 シャットダウン 61

シャットダウンボタン（緊急時） 33  
使用上のご注意 190

## す

スーパーバイザーパスワード 117  
スキャン 131  
スクロール 77  
スリープ 64

## せ

製品情報 6  
セキュリティ 103  
設置場所 42

## そ

ソフトウェア活用ブック 1

## た

タッチパッド 31, 74  
タッチパッド切り換えボタン 30  
タッチパッドボタン 30, 31, 74  
タップ 75  
ダブルクリック 75  
ダブルタップ 75

## つ

通気孔 33, 36

## て

ディスプレイ出力ポート  
（D-sub15ピン） 38, 97  
ディスプレイ出力ポート  
（DVI） 38, 97  
電源 52  
電源インジケータ 30

電源ジャック 36  
電源ボタン 30  
電子イジェクトボタン 39

## と

ドライブアクティビティ  
インジケータ 30  
ドラッグ 76  
ドラッグアンドドロップ 76  
トラブルシューティング 177  
取扱説明書 1

## な

内蔵型オーディオスピーカー  
システム 29  
内蔵型マイク 29

## は

ハードディスクドライブ固定場所 33  
ハードディスク・パスワード 125  
廃棄 175  
パスワード 108  
バックアップ 150  
バッテリー充電インジケータ 31  
バッテリーパック 32, 37, 44, 173  
バッテリーロック（手動式） 33  
バッテリーロック（バネ式） 32  
パワーオン・パスワード 117

## ふ

ファイアウォール 106  
フィッシング詐欺 107  
復元 154  
復元ポイント 157  
不正アクセス 106

付属品 40  
プロバイダ 137

## へ

ヘッドホン出力ジャック 35, 80

## ほ

保護材 41  
保守 143  
保証 226  
ホットキー 71  
本体 40  
本体各部の名称 28

## ま

マイク入力ジャック 34, 80  
マスターパスワード 125  
マルチモニター 99

## む

無線 LAN インジケータ 31  
無線スイッチ 34

## め

メモリカード 88  
メモリカードリーダー 35  
メモリ増設 143  
メモリモジュール (RAM) / CPU  
固定場所 33  
メンテナンス 143

## も

モデムポート 38  
モバイル 140

## ゆ

ユーザー登録 5, 65  
ユーザーパスワード 117, 126  
有寿命部品 200

## よ

用語集 201

## り

リカバリ 166  
リカバリ領域 167

はじめに  
お読みください安全規制  
安全上の注意

本体各部の名称

【準  
備】

パソコンを使う

セキュリティを  
設定するインターネットに  
接続する保守・  
メンテナンス

困ったときには

その他の情報

# 保証について

## ASUS ノートパソコンの保証について

本製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、販売店からお受け取りください。保証書は保証サービスを受ける際に必要です。大切に保管し迅速で完全なサービスを受けるためにも、以下の点にご留意ください。

- ・ 購入後 1 ヶ月以内にオンライン製品登録を済ませてください。
- ・ 保証書の「販売店記入欄」に「購入年月日」や「販売店印」が存在しない場合、保証サービスには購入日発行される領収書または購入証明が必要となります。購入証明を紛失した場合は製品の工場出荷日を製品ご購入日とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

## ASUS ノートパソコンの保証期間

ASUSTeK COMPUTER INC. (以下 ASUS という。) は、購入日から 24 ヶ月間、ASUS ノートパソコンの品質と材質における故障・欠陥を無料で保証いたします。本製品を保証期間内に通常使用した場合に万一故障・欠陥等の不都合があった場合、ASUS では個別の症例を確認し、製品の修理または交換を無料で行います。取り付け方法や取り扱い・メンテナンス・お手入れに不適切な点があった場合、またソフトウェアの欠陥及び事故・ダメージ・誤用に起因する故障、ASUS 以外による修理に起因する故障、通常の摩滅や傷、あるいは ASUS の管理範囲外でのあらゆる事象、不履行または不作為による故障はすべてこの保証の範囲外となります。

この保証サービスは ASUS 保証書に記載された個人にのみ適用され、転得者には適用されません。

ASUS ノートパソコンのバッテリーの保証期間は購入日から 12 ヶ月間とし、日本国内のみの保証とします。またキャリングバッグとマウスは保証の対象外です。(初期不良については購入後 1 ヶ月間といたします。)

ASUS ノートパソコンサービスセンターで修理・パーツ交換したコンピュータは、残りの保証期間内あるいは3ヶ月間その保証サービスを継続します。

ASUS ノートパソコンにはあらかじめインストールされているソフトウェアがあります。これらソフトウェアの欠陥が証明された場合は、ASUS では個別の症例を確認し修理または交換を行います。ソフトウェアの保証サービスは購入日から1ヶ月間です。

## TFT LCD 不良品に関するポリシー

製品の品質には万全を期していますが、TFT（薄型トランジスタ）LCD（液晶）スクリーンの特殊な製造方法を採用しても、肉眼で確認できるレベルの黒点等が確認される場合があります。これらはASUS ノートパソコンのパフォーマンスを損なうものではありませんが、ASUS はお使いのASUS ノートパソコンのTFT LCDスクリーンに以下のような問題があった場合にも保証サービスを適用します。

- ・ 輝点が3つ、または黒点が6つ、または両者の合計が8つ以上ある場合。
- ・ 隣接する輝点が2ヶ所、または隣接する黒点が2ヶ所ある場合。
- ・ 直径15mmの範囲に輝点/黒点が3つある場合。

これらTFT LCDスクリーンの保証の条件は、TFT LCD製造元が提供しているものです。

ASUS では個別の症例を確認し修理または交換を行います。

(注意:輝点とは常に点灯する白またはサブピクセルのドットです。黒点とは、点灯しない黒またはサブピクセルのドットまたはその現象をさします)

はじめに お読みください
安全規制 安全上のご注意
本体各部の名称
【準】
パソコンを使う
セキュリティを 設定する
インターネットに 接続する
保守・ メンテナンス
困ったときには
その他の情報

## 保証規定

本保証サービスは該当する製品が永久に使用できる、あるいは問題が起こらないことを保証するものではありません。また、保証対象の製品に提供されるあらゆる技術的なサポート（電話を通じての具体的なアドバイスや製品のセットアップや情報に関するアドバイス等）は保証サービスの内容には含まれません。

---

## 保証条件

本保証サービスは、保証期間内の通常の使用条件における製品の材質や製品の不具合を原因とする故障と誤動作にのみ適用されます。以下の場合、保証サービスは適用されません。

- ASUS以外またはASUS非公認の第三者が製品に修理、変更、改ざんを加えた場合。
- ノートパソコン本体、コンポーネント、アクセサリ等のシリアルナンバーに変更、失効、取り外しがある場合。
- 保証シールが破損または改ざんされている場合。
- 不慮の事故、自然災害、故意・不慮による誤使用、乱用、放置、不適切な取り扱い、想定外の使用環境に起因するダメージがある場合。
- 周辺機器（プリンター、光学ドライブ等）の不適切な取り付けや接続に起因するダメージがある場合。
- 外部電力の異常や事故によるダメージがある場合。
- 取扱説明書に記載されている使用方法や注意事項に反するオペレーションや保存条件、環境下での使用に起因するダメージがある場合。
- ASUSが生産販売するパーツ以外の使用により起きたダメージがある場合。
- プログラムやデータ、リムーバブルストレージメディアの損失やダメージ、データやプログラムを回復するために必要な費用が生じた場合。
- サードパーティのソフトウェアやウイルスによるダメージがある場合。
- 修理または交換作業中に生じるソフトウェアやデータの損失がある場合。

## 保証制限

ASUS ノートパソコンは、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、国家の安全保障に関わる防衛関連機構、その他人命に関わる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。ASUS ノートパソコンをこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。

保証期間内にノートパソコンをコールセンターへ送付することは、自動的に無料で修理が受けられることを意味するものではありません。お客様から製品を受け取った後、保証有効期限と保証サービスの適用の可否を確認する権利はコールセンターにあります。

ASUS 公認のサービスセンター及び販売店は ASUS 公認のサービスセンター及び販売店に送られた製品内部に保存されているお客様の個人情報や機密情報には一切責任を負いません。これらの情報は製品をコールセンターに送る前に製品からすべて削除してください。

## 国外での保証とサポート

日本国外で ASUS のサービスが必要な場合は、ASUS の Global Service Member (GSM) Web サイトで詳細をご覧ください。

<http://support.asus.com/service/service.aspx>

「保証について」(226 ページ) の記載内容は「YOUR ASUS NOTEBOOK WARRANTY」の日本語訳であり参照用です。「保証について」に記載したすべての内容・条項は、原文の「YOUR ASUS NOTEBOOK WARRANTY」に基づき適用・処理されます。

本製品に添付されている「ASUSTeK COMPUTER INC. 製品保証書」に所定の事項をご記入いただき、大切に保管してください。

## 責任制限

この責任制限は ASUS の、あるいは他の責任の不履行により、ユーザーが ASUS から損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーの ASUS に損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUS は肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。あるいは、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作为または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUS は「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUS の供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUS とその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUS とその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUS はいかなる賠償及び保証を行いません。

- ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- ユーザーの個人情報やデータの損失
- 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害